市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事

久米•村田設計共同企業体

		構造図図面番号			電気設備図面番号	
		S - 1		構造特記仕様書	E - 1	
		S - 2 S - 3		鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-2	
		S – 4		鉄骨工作標準図(1)	E-4	
ŧ		S - 5 S - 6		鉄骨工作標準図(2) デッキ設計施工標準仕様書	E-5 E-6	
		S - 7	- 1	柱脚工法設計施工標準図(1)	E - 7	照明器具姿図
		S - 8 S - 9		柱脚工法設計施工標準図(2) 小梁仕口・大梁継手標準図	E - 8	
		S - 9 S - 10	_	小楽在口・大楽様手標学図 落下防止鉄骨詳細図	E-9 E-10	
		S - 11	3	落下防止鉄骨・外壁支柱詳細図	E-11	弱電設備 2 · R階平面図
		S - 12		R C ・ S 詳細図リスト ボーリング柱状図(1)	E-12	
		S - 13 S - 14	_	ボーリング柱状図(1) ボーリング柱状図(2)	E-13	
		S - 15	ē	基礎伏図	E-15	融雪設備 機器仕様図·制御盤結線図
		S - 16	_	基礎リスト(1)	E-16	
		S - 17 S - 18	_	基礎リスト(2) 基礎リスト(3)	E-17	
		S - 19	_	基礎リスト(4)	E-19	
		S - 20		基礎リスト(5)	E-20	
		S - 21 S - 22	_	2階床梁伏図 R階床梁伏図	E - 21	
		S - 23		PH階梁伏図	E -23	
		S - 24	į	軸組図(1)	E-24	屋外弱電設備 平面図(改修)
		S - 25		軸組図(2)	E - 25	
		S - 26 S - 27	_	軸組図(3)	E-26	空調屋外機電源 2階平面図(既存)
		s - 28		軸組図(5)		
図	図・断面図	S - 29	_	軸組図(6)	機械設備	
		s - 30 s - 31	_	軸組図(7) 軸組図(8)	図面番号 M-1	
		S - 32		軸組図(9)	M - 2	
		S - 33		鉄骨部材リスト	M – 3	
		s - 34 s - 35		合成スラブリスト 鉄骨詳細図(1)	M - 4 M - 5	
		S - 36		鉄骨詳細図(2)	M - 6	
			I		M - 7	
		渡り廊下		構造概要書・構造特記仕様書	M - 8	
)			_	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	M - 10	
				鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	M-11	
			_	鉄骨構造基準図 溶接標準図	M - 12 M - 13	給水設備 R階平面図・断面図 給水設備 各階詳細図
置図	11図・詳細図		_	デッキ合成スラブ設計 施工標準仕様書	M - 14	
		_	_	柱脚工法設計 施工標準図	M - 15	
		S - 108 S - 109	_	小梁仕口詳細図・大梁継手詳細図 R C 関係部品図	M - 16 M - 17	
		s - 110	0 1	鉄骨関係部品図		
		S - 111	_	柱状図(1) 柱状図(2)	E+ 赤 40 ~	音制装置
				基礎伏図・基礎断面図	図面番号	
		S-114	4 }	梁伕図・軸組図・部材リスト	P - 1	
		S - 115	5 1	鉄骨詳細図	P - 2	
		1	+		P - 3	
					P - 5	駐車場管制装置 R階プロット図
					P - 6	駐車場管制装置 機器姿図 1
					P - 6 P - 7	駐車場管制装置 機器姿図 1 駐車場管制装置 機器姿図 2
					P - 6	駐車場管制装置 機器姿図 1 駐車場管制装置 機器姿図 2
					P - 6 P - 7	駐車場管制装置 機器姿図 1 駐車場管制装置 機器姿図 2
					P - 6 P - 7	駐車場管制装置 機器姿図 1 駐車場管制装置 機器姿図 2

### 15-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-	共通設計概要書						
Part	・選択記入事項は	●のついたものを適用し、〇印は適用しない。	設計条件(建築	物等)			
Part			許容面積				
West Married State Marri				最低限度 : m 最高限度 : m			
The column The	工事概要			高耐震設計 ○採用 ●非採用			
Page	工事場所		_	構造体 : ○Ⅰ類 ○Ⅱ類 ●Ⅲ類			
Section Proceedings Proceedings Procedure Pr	工事種別		-				
Part	工事内容特記		-				
Company Comp				設計用層間変形角 中地震時 : ●1/200 ○1/			
## 1	工期		-	エキスパンション 地上部 : ●高さの1/50 ○高さの1/			
Part	117.2.11		-	必要クリアランス 免震層 (水平) : mm			
Part Column Part Colum	建築主		-	必要クリアランスは設計クリアランスの最小値を示し、多層に及ぶ場合は確			
March Marc	代理者	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央3丁目10番19号		確保された寸法を示す。			
March Marc		一級建築士 登録番号266585号 高橋 創					
The content of the			-1				
The content of the		博道設計一級建業工 登録番号 339号 原田 俗り	特殊な室の仕様				
Total Tota	の設計に関し意見を聞いた者			〇防音室 レベル (
Part		未定		Oクリーンルーム レベル ()			
April Apri	工事受注者	未定		No. 1 (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4			
### 1			_ 建築物等の概要				
### PROTECTION # FIRST CONTROLOGY CONTROLO	設計条件(動地)		建築基準法 用途区分記号 08490 自動車車庫			
2.	都市計画区域	●都市計画区域内 (●市街化区域 ○市街化調整区域 ○区域区分非設定)	建築面積	申請部分申請以外部分合計備考			
### 1							
## 1500000000000000000000000000000000000	その他の区域	●法第22条区域 O法第52条第7項適用区域	延べ面積				
### 15 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	道路		-	地階の住宅の部分 ㎡ ㎡ ㎡			
************************************		西側: 市道川尻八橋線 幅員: 15.0 m (敷地と接する部分の長さ 112.24 m)	_	共同住宅の共用の廊下等の部分 mi mi mi			
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	敷地面積	敷地面積 (1) 19,002.23 m	_	備蓄倉庫の部分 m m m m m m m m m m m m m m m m m m m			
1.		用途地域等(第一種住居地域)() ()()	<u> </u>	自家発電設備の設置部分 ㎡ ㎡ ㎡			
日本の日本 1							
株式市のウロ 11 ボー 株式市のウロ 12 ボー 株式市の		(%) () (
### 1862 日本 1972 日本		敷地面積の合計 (1) ㎡		申請部分 1棟申請以外部分 1棟			
日本日本		敷地に建築可能な延べ面積を敷地面積で除した数値 200 %	-	最高の高さ 7.85 m 32.10 m			
語言語	駐車場附置義務	○有(台) ●無	-	構造 鉄骨造 一部 造			
20 日本 1 日本	公共下水道	○雨水/汚水分流 ●雨水/汚水合流	- -	適用がある場合の特例の区分:			
日本の利 日本の利 日本の利 日本の利 日本の日	道路切り下げ	○有(位置出し、長さ 等) ●無		O住宅用途設置台数 普通車用 台(内 機械式 台)			
日本	環境		m m				
データング () 日本			-				
株式銀子 ①		() デシベル以下(早朝、夜間 時~ 時)	-	O非住宅用途設置台数 普通車用 165台(内 機械式 台)			
おお放射		雨水流出抑制 ○要 ●不要	_	障害者用 18台(内 機械式 台)			
数値封大設計用: mu.9時間		排水規制 ○有 ●無		≧附置義務台数 (台)			
日本の		敷地排水設計用 : mm/時間	一 何工平衡 が巴 古又 一	傾斜ラック式 台(内 機械式 台)			
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		風荷重 基準風速 (Vo) : 32 m/sec	_	合 計 台(内 機械式 台)			
2 段式 台(内、機能式 台)		再現期間 : ○50年 ●100年 ○ 年	-	〇非住宅用途設置台数 平置式 台(内 機械式 台)			
# 位置書 : ● 20N/mf/cm		設計積雪量 : 100 cm	_				
2		単位重量 : ●20N/m²/cm ○30N/m²/cm	-	合計 台(内機械式台)			
野水板水レベル: P・ m (防水板高さ : 〇)開床高さ ○ 検証法運用の有無 ② 選供交給技法 ●なし 東京地対策 ●夏 ○不要 検定大井 ○ 有 (設計図による) ●無 対象を検証法 ○ (の有 (設計図による) ●無 対象を検証 : 地表仕上げ面 - 0.4 m 対象を検証 : ・ ○ 有 (設計図による) ●無 (公園をおう) ●無 (公園をおう) ● (公園をおう)		浸水対策 ○要 ●不要	許可認定等				
本語表定 : 地表化上げ面 - 0.4 m 耐震性能に配慮する居室 : O有 (設計図による) ●無 でA (空地の連帯等対策と範囲は設計図による		防水堤水レベル : TP+ m (防水板高さ : 〇1階床高さ 〇					
塩害対策		凍結深度 : 地表仕上げ面 - 0.4 m		耐震性能に配慮する居室 :○有(設計図による) ●無			
TI			- ONOBLE J J J	On Ob.			
TI							
TI							
************************************	文書番号673-23-20181001 月						
************************************	ar			な 米・ 村田 弥科 土同 企業 休 ^{田田}	平成30年12月14日 株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	R6 股份等9
*		•	KI	八木 打田畝町八円工米件	小倉 基延 ^編 高橋 創 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創		原面名 線尺 原面面母
			S E	(KEI 株式会社 入本 設計 有限云仙刊 中 加建架設計事務所			共通設計概要書 AI= 1/250 A∃= 1/500 A − 1

共通特記仕様書	d. 監理者に提出する書類(図面を除く)は、監理者と協議のうえ指定コンピュータソフト 作成し、電子的媒体による文書データを添えて提出する。	こより 1) 概略の工事基本工程 2) 工事必基本的な流れを左右する主な工種別施工計画書・製作図・施工図	1.3.13 [追加] a. 既存施設部分、工事目的物の施工済み部分等が汚損を受けた場合は、速やかに監理者に報告し、復旧方法について監理者と協議のうえ、復旧する。
特記仕様書の適用について ・ 本工事においては国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編)	e. 施工図や完成図を作成するために設計図のCADデータを利用する場合は、監理者に申し 株式会社久米設計と貸与についての契約を別途取り交わす。なお、設計図のCADデータ:	出て、 3) 発注者が意思決定しなければならない項目	b. 工事施工に際し、既存施設部分を汚損した場合は、監理者に報告し、補修方法・時期について 監理者の承認を受けたうえで、原状に準じて補修・復旧する。
平成29年版J (以下 標仕という)による。 - 設計図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、標仕による。 - 特記仕様書の章、節、項番号及び表番号は、違加の場合を除き各共仕の当該番号とする。 - 共連特記仕様書は全ての工事に適用する特記仕様書を示す。 - 特記仕様書の以下の表記は、次による。	1.1.6 [追加] a.別に定めのない限り、関連工事の受注者に対し、次のものについて便宜を供与する。こ: 別契約の関連工 事 1)関連工事を行う場所への出入り及び安全管理 2)足場・運搬設備・揚重設備・工事用電力・工事用給排水等の利用	g. 概成工期は次による。 竣工前(〇1ヶ月前 〇2ヶ月前 〇3ヶ月前 〇) れらに	1.3.14 [追加] a. 工事の完成に際しては、共仕[1.6.1]による通知又は請求に基づく検査までに次の損傷復旧等を行う。 (1) 工事に伴い損傷を生じた既存の施設・工作物・舗装・樹木等は、原状に復旧する。 (2) 工事目的物の施設又は設備の一部を工事用に使用した場合は、設計図書の定める条件のとおりに復旧する。
[読替]:標仕の当該章、節、項の規定を特配の規定に読み替える。 (追加〕:標仕の章、節、項の規定を特配の規定に新たに章、節、項を追加する。 ・ 予頭に●のある節を適用し、〇印がある節は適用しない。 ・ 選択記入事項は●のついたものを適用し、〇印は適用しない。 ・ 特記仕様書に記載する製品名(製造会社付記)は程度を表すものとする。ただし、指定メーカーリストは除く。	3) 障害となる仮設物の取除き、貫通孔等の設置、ボルト・インサート等の取付け 4) 関連工事用の機器・材料の取込みに必要な搬入口・通路等の設置・確保 b. 施工図・施工計画書等の作成に際し、関連工事との取合い・納まり等について必要な記う。 c. 施工上密接に関連する工事については、別契約であっても、監理者の調整に協力し、当関係者と共に工事全体の円滑な施工に務めること	施工計画書 監理者に提出し、承認を受ける。 b. 設計図書に記載のない仮設等の工法については、受注者の責任において決定し、監理者に報 告する。	○ 4節 機器及び材料 1.4.2 [追加] 材料の品質等
1章 一般共通事項	1.1.7 [追加] a. 設計図書に関する疑義は、工事請負契約前に質問回答書をもって確かめておかねばなら 疑義に対する協議 等 原則として請負代金額の増額及び工期の延長は認めない。	場合、 ない。減額となる場合の処理については監理者と協議の上決定する。 d. 工事中及び竣工引渡しから開院に至るまでの、家具及び医療機器などの別途工事との関連を	が所定の品質及び性能を有することの証明となる資料を提出し、監理者の承認を受ける。 c. 材料・製品・機器類の色合いに関する見本塗板作成に際し、各製造者等への色調指示用の色見本帳として、次を準備する。 O日本塗料工業会 「塗料用標準色 最新版」 (ワイド版) 2冊
1.1.1	1.1.10 [追加] a. 第三者の特許権に対する注意: 材料、機構、構法などが第三者の所有する知的所有権に 特許権等 おような場合は、あらかじめその権利の使用に対する必要な手続きを行った後に、これを る。万が一、第三者の権利を侵害するようなことが生じた場合は、すみやかにその旨監理 告し、協議する。	採用す	○ (d. 工事期間中に、設計図書が準拠したJIS、JASの他の規格類の改訂及び追加、官公署及び電力、ガス、水道等の供給事業体の規格の改定、又は材料、機器製造者の製品番号の変更等が行われた場合は、監理者と協議する。 e. 内外装仕上サンブルボードの作成に協力する。
(2) 工事請負契約約款(3) 質疑回答書((4)から(7)に対するもの)・追加指示書(4) 現場説明書(見積要項書)(5) 特配仕様書	1.1.12 [追加] a. 関連法規等に該当する項目について調査、整理し、監理者に提出する。 関係法令等の遵 守	d. 発注者直接工事においても、監理者と協議の上、本工事全体工事工程に支障がでないよう総合図にその情報を盛り込む e. 総合図の承認を得た後、工事毎に作成する施工図、製作図及び躯体図にその内容を反映させる。 f. 分離発生の場合は建築工事母と者が主体となって他業種母注者との取合い調整を注かる	1.4.4 [追加] a. 機器・材料は、現場に搬入した時点あるいは必要に応じて製作工場における製造又は組立が完 材料の検査等 7した時点で、種別ごとに自主検査を行い、検査記録を監理者に提出する。 1) 量産品あるいは標準品で実測値等が整備されているものは、性能表又は能力計算書等性 能の証明となるものの確認をもって自主検査とすることができる。
(6) 設計図面 (7) 確認申請図書 (8) 工事共通仕様書 (9) 工事請負代金内訳書	1.1.13 [追加] a. 質疑回答書及び課題整理表にて整理した結果、設計変更となった内容は設計変更管理表 作成して整理する。その内容は、発注者、監理者及び受注者の同意が得られたものになっなければならない。 b. 発注者の指示による設計変更にかかわる工事は、監理者の指示によって行う。 c. 前号の場合において請負代金額の変更を伴う場合は、そのつど施工に着手する前に請負	てい	2) 配線・配管・小型器具・雑材料その他の軽微なものは、こん包等の表示による材質・呼称寸 法等の確認をもって自主検査とすることができる。 b. 設計図書に監理者の検査の定めがある場合、自主検査に合格後、検査記録を提出し、監理者 の検査を受ける。なお、監理者の検査に必要な資機材・労務等を提供する。 c. 場外立会検査及び場外試験の立会いについては各工事特記仕様書を参照する。
1. 1. 2 [追加] a. 特仕及び標仕において用いる用語の定義は、次による。 用語の定義 1) 「材料」とは、工事に使用する機器、材料、製品を総称していう。 2) 「自主検査」とは、材料又は施工等について、受注者等自らが設計図書等との適否を判断することをいう。 3) 「製造者」「製作者」とは、工事に組み込まれる機器、材料、製品等を製造・製作している	額の増減を明示した請負代金増減内訳書(以下、増減内訳書という)を提出し、監理者のを受ける。 d. 契約金額の増減が確認できる根拠資料には図面、計算書、数量調書、メーカー見積、内等がある。 e. 増減内訳書における工事単価は、見積要領書に別の定めのある場合を除き、工事請負契の工事単価とする。	確認 b. 立会いによる監理者の検査又は施工・試験等への監理者の立会いを受けた場合は、終了後速やかに記録を作成して監理者に報告する。 〇 3節 工事現場管理 - 2	d. 場外立会検査にあたり、試験内容は監理者の確認を得る。 e. 設計変更等により、監理者が騒音、振動や性能機能と、場外立会検査が必要と判断した場合 は、協議の上、上記以外の項目についても場外立会検査を行う。 f. 発注者、監理者の場外立会検査及び場外試験の立ち合いに要する交通費、宿泊費等の実費 は、受注者負担とする。 g. 見本施工箇所(施工時期はデザイン・設備含め図面等のフィードバックと確認が可能な時期)
会社等をいい、標性における「製造所」「製作所」はそれぞれ「製造者」「製作者」に読み替えるものとする。 4)「専門工事業者」とは、設計図書等で定める工事において、高い技術力と施工品質管理能力及び豊富な実績を持ち、受注者のもとで単独で責任施工を請け負う能力があり、また施工品質の保証を行う事ができる工事業者をいう。 [読替](11)「施工図」とは、設計図書等の定めにより受注者が作成した、この工事に必要な総合図、躯体	f. 設計変更の際には、下記の書類一式の作成支援、協力を行う。	b. 監理者が指示した場合は、それに基づいて工事運営及び施工管理を行う。 c. 現場勤務者: 工事請負契約書に定める現場代理人は、下記の資格を有するものとする。	工事種目 材料、工法 数量(見本) 施工場所
図、現寸図、工作図、製作図等その他これらに類するものをいう。 [読替] (20)「監理者に提出」とは、受注者等が監理者に対し、工事にかかわる書面又はその他の資料等 (図面・見本等)を説明し、日付を明記して受注者等押印のうえ、差し出すことをいう。なお、 工事約款の規定により、当該提出が発注者への提出事項となる場合がある。 1.1.3 [追加] a. 工事の各段階に必要な官公署その他への各種申請又は届出の種別・手続・期間等をあらかじ	はしない。 1.1.14 [追加] a. 工事用機器、材料等の取入れに必要な搬入口及び通路の設置とそれに伴う補強、養生・ ・後片付け等を受注者の責任において行う。 ま・材料等 b. 本工事を完成させるために本工事に付帯して当然必要な作業・材料などは、設計図書に がない場合でも本工事に合む。	電気主任技術者	h. 内外材料色調等検討用パネル作成: 〇あり 〇なし
- 1.3 (返加) は、上中が任実体に必要な自じ会者でいたいでが信件で請求した個点の信仰・子被・新川寺をめらかし 9の出土手続等	1.1.15 [追加] a. 機器・材料・工事についての施工図・見本等に対する整理者の承認は、次による。 1) 監理者の承認は、受注者による品質管理・確認の適切さを確認するために行う。 b. 機器・材料・工事に対する監理者の検査は、次による。 1) 監理者の検査は、工事請負契約及び設計図書に基づいて、受注者等による品質管理・そ		1.4.8 [追加] a. 海外製の機器・材料・製品等を使用する場合は、あらかじめそれらが日本国の関係法令に適合し、設計図書に定められた品質・性能を有していることを証明する資料を監理者に提出し、確認を得る。 b. 機器・製品において、国内の製造者が海外製の製品等を使用して国内製品として組立販売又は取扱いをし、補修・定期点検等のアフターサービスができる体制にある場合は、監理者の確認を得で使用することができる。
調査し、一覧表を作成して監理者に提出する。 d. 建築基準法87条の2による昇降機設備の確認申請手続きは、昇降機設備工事専門工事業者 が発注者の代理者として行う。ただし、確認申請書において「代表となる設計者」及び 「その他の設計者」は、次による。申請及びこれにかかわる検査に要する費用は、当該昇降機	・自主検査の適正さを確認するために行う。 2) 監理者の検査は、立会いにより、又は受注者等の自主検査記録・工事写真記録その他 査等の合理的方法により行う。なお、監理者の立会検査は、原則として全数ではなく抽 より行う。 c. 機器・材料・施工・工事が工事請負契約・設計図書に合致しない場合は、そのやり直し及	出に 1.3.3 (a) 電気保安技術者 (高田する 角海田」かり	c. 海外製の機器・材料・製品等を使用する場合は、完成引渡し後、通常の建築管理条件下で発生した不具合は受注者の責任において対応する。この場合の保証期間は国内製品と同等とする。 〇 5節 施工
設備工事受注者の負担とする。 代表となる設計者: 昇降機設備工事専門工事業者 (「作成した設計図書等」は、昇降機設備にかかわる設計図書等) その他の設計者: 株式会社久米設計 (「作成した設計図書等」は、建築物にかかわる設計図書等) e. 昇降機設備に関する省エネ法 (エネルギーの合理化に関する法律)による届出は昇降機設備 専門工事業者が発注者の代行者として行う。また、届出にかかる費用は当該昇降機工事の受 注者負担とする。	等の責は請負者が負う。それらについての施工図・工作図・製作図・見本などに対する監理 承認、あるいはそれらに対する監理者の検査・試験は、請負者の責を推演するものではない d. 工事に用いられた、又は工事目的物に組み込まれた製品の欠陥、又はこれに類する原因に 品質上・性能上・安全上の不具合がある場合は、そのやり直し及び修補等の責は受注者が負 それら当該部位についての施工図・工作図・製作図・見本などに対する監理者の承認、ある それらに対する監理者の検査・試験は、請負者の責を軽減するものではない。 e. 契約時に受注者の提案により採用されたVE提案等については、契約書への反映を受注 行い、監理者の確認を受ける。	1. 3. 5 [連川] a. 施工条件 施工条件	1.5.2 技能士の運用は、次による。
f. 関係官公署その他関係機関の立会い検査を必要とするものは、監理者と打ち合わせのうえ検査を受け、その結果を監理者に報告する。 g. 前号の検査の結果、不合称の個所がある場合は、すみやかに修補し、必要な手続を行い、その結果を監理者に報告する。 h. 前号の修補に直接要する費用は受注者の負担とする。 i. 工事に必要な諸手続(各種システム評定などを含む)及び費用(交通費、実験及び資料作成費用一式を含む)は、受注者負担とする。	1.1.16 [追加] a. 受注者は監理者が指示する各種会議・打合せ等に出席し、場所・機材を提供するなど、 協力する。 b. 前号の会議や発注者との総合図確認会議・ヒアリングまたは打合せを行った場合は、終 速やかに記録を作成し、監理者に提出する。 c. 前々号、前号で行う会議等の開催は、監理事務所に準備したICT環境を用いたTV会 よるものとする。	7後、 製造者及び専門 工事業者の選定 し、 設計図書に専門工事業者の記載がない機器・材料の世様が示されている場合は、これに適合する製造者を選定して、条件に適合することを証明する資料を提出し監理者の承認を受ける。 こ、 設計図書に専門工事業者の記載がない工種について、設計図書で「専門工事業者による」	●シート防水 Oシーリング防水 OFRP塗膜) 石工事 O石材施工 タイル工事 Oタイル張り 大工事 O建築大工 屋根及びとい工事 O瓦量 連接板金 Oスレート施工 金属工事 O内装仕上げ施工 (鋼製下地) 左官工事 ●左官
j. 「省工本基準監理報告書」を作成するために必要となる下記資料を提出する。 1) 外皮 (外壁、窓、断熱材等)に関する、施工計画書、施工記録書、製品ラベル等 2) 空頭・換気設備、照明設備、給湯設備、太陽光発電設備、コージェネレーション システム等 に関する、納入仕様書、施工記録書、自主検査記録等。 k. 受注者の起因により省エネ法の届け出に変更が生じた場合は、届出書類の作成は受注者にて 行う。	1.1.17 [追加] a. 工事目的物を発注者へ引き渡したのち、工事請負契約書に定める瑕疵担保の期間内に、全般について瑕疵及び損耗に関する調査を行う。なお、調査の回数及び時期は、特仕他尊記載によるほか、1年目及び2年目の2回行う。b. 前号の調査の実施時期及び具体的な実施要領は、受注者等が立案し、発注者及び監理者協議する。c. 調査終了後速やかに調査の結果を記録し、発注者及び監理者に提出する。d. 瑕疵担保期間中は受注者の責任において対応を行うこと。	の 1.3.12 (b) 発生材の処理は次による	建具工事
. 1. 4 [追加] a. 書面を提出する場合の書式 (提出部数含む) は、(a)に加え、監理者の指示する書類作成書式 は久米設計の「工事監理文書作成要領」による。また、工事期間中の「確認申請図(副本)」の 取り扱いについても同様とする。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		●ホートは上げ ○安表 (空表作来) J ●例組後看例注入施上
. 1.5 [追加] a. 設計図書等は、主要な部位・事項についての設計意図を示すものであり、受注者は、設計図書等の取及い		 配	空調工事
ても近にして生せる。	f. もの決め工程表は、次の内容を記載する。工程の作成に当たっては建築、電気設備、機 昇降機等の機器製作図の承認期限についても十分配慮する。		ルエの快直等 b. 監理者の検査の結果、修補又は改造が必要であると指摘された箇所がある場合は、監理者の 指示により速やかに修補又は改造し、監理者の再検査を受ける。

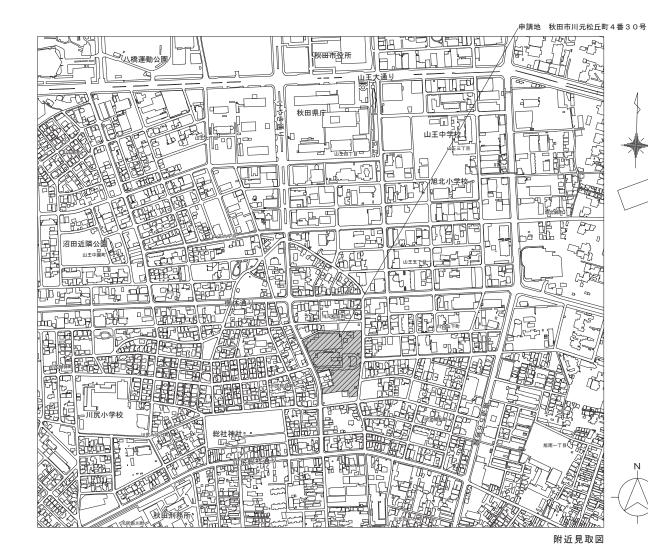
測定 (協加) (別元 (本) (別元 (本) (別元	上学物質、測定方法、測定対象室及び測定箇所: 物質 測定方法と測定対象物質は ●印とする 北化学物質 学 住 庁 の 他	(m3) (m3) (m3) (m3) (m3) (m3) (m3) (m3)	●断面図 階高、天井高等を表示し2面以上作成 標準地盤面 道路 隣地斜線 ●矩計図 基本的寸法 対応した平面図、立面図 ●各種詳細図 部分詳細図 平面詳細図 ○展開図 天井高 主要仕上げ ●各種伏図 天井代図 床伏図 屋根伏図 ●連具表 防火性能 ●その他 外構図 植栽図 ●確認申請図書 鏡を含む一式 (構造設計図) ●一式 (空調設備設計図) ●一式 (電気設備設計図) ●一式 (電気設備設計図) ●一式 (軍気設備設計図) ●一式 (原降機設備設計図) ●一式 (原降機設備設計図) ●一式 (原路 (東路 (東路)) ● 一式 (原路 (東路)) ● 一式 (原路 (東路)) ● 形工図・工作図 ●構造躯体 ○カーテンウォール ●その他監理者が指示するもの ●施工図・工作図 ●構造躯体 ○カーテンウォール ●その他監理者が指示するもの	完成パンフレット 1.7.8 [追加] 鍵合せ等	大会議計量器確認等を行う。その日程・方法は監理者と協議のうか立会いについては、監理者の指示による。 操制を出て発達者に提出する。 本様に登理・収納して発注者に提出する。 本様に登理・収納して発注者に提出する。 本様に発達・収納して発注者に提出する。 本様に発達・収納して発注者に提出する。 本様に記して発達者に対して発達者に対して発達者に対して発きる。表述を持ちます。 本様に対して発達者に対して発達者に対して対しては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者に提出する。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者の指示による。 といっては、監理者のは、これに発力のは	(データ 関覧用アル 写真データ	
よる自主中間に体権収はは d. 工事期間かける時期にこれであります。 このいては、審査に立ち会・前各号元を検護のう元。 に報告する。 1.5.9 化学物質の濃度 測定 測定 測定	物質 測定方法と測定対象物質は ●印とする	やか 1.7.2 [追加 完成図 適切 るもの) し、検査 る。 さと協 監理者	a 完成回は、設計図面を完成状態に修正したものとする。 b 完成回は、完成した建物に関する情報を整理、記録し、建物の維持管理及び将来改修、増改 業等を行う際に基本情報として活用することを目的として作成する。 c 完成回は設計図を基に、指示する期日までに作成し、監理者の承認を受ける。なお、設計図面 データ を利用する場合は1.1.5に準ずる。 d 完成回種類及び記入内容 種類 記入内容 (建築設計図) 申特記仕様書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 1. 7. 6 [追加 完成写真	工事項目 個所数 発注者 完成アルバ 閲覧用アル 写真ム (冊子) バム (PDF) (PDF) (PDF) (PDF)	ペルを付して提出する。 議の上決定する。 出部数 タ米・村田設計JV (データ 閲覧用アル 写真データ	

KUME 株式会社 久米設計 | 有限会社村田弘建築設計事務所 | □□ 川上 賢史、玄島 雄太 | □ニ木 重一、石井 康平 A1= -A3= - A-3 共通特記仕様書2

建	築 工 事 特 記 仕 様 書 I	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項		章 項 目	特 記 事 項	章	項目	特 記 事 項	
	(平成29年 改訂版)	②技能士	※適用する 適用職種(一級、単一等級の職種作業) ・適用しない (1.5.2) とび(⊙とび作業) 鉄筋施工(⊙鉄筋組立作業) コンクリート圧送施工(⊙コンクリー	④ 1 支 持 カ 又 は地 支 持 地 盤 の 確 認	試験杭の位置、本数、及び寸法 ※図示 (構造図) による 載荷試験	(4. 2. 2) (4. 2. 3~4)	④ 打放し仕上げ	種 別 施 工 箇 所	. 5)	③ 押出成形セメント板	使用箇所 工法種別 厚さ(mn)	(8.5.4~ 長さ(mm)
I 工事概要			ト圧送工事作業) 型枠施工(①型枠工事作業) 鉄骨(①構造物鉄工作業) ブロック建 築 (・コンクリートブロック工事作業) ALGパネル施工(・ALGパネル工事作業) 防	*	試験方法及び報告書は敷地調査共通仕様書(国土交通大臣官房官庁営標 ・杭の載荷試験 () 箇所 最大荷重() t 構造図(○A 種 見掛り部すべて · B 種			・間仕切壁 ・B種・C種	図示による
-	市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事 秋田市川元松丘町51番、57番、58番		水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴ ム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 〇塩化ビニル系シート防水工事	事	(鉛直又は水平載荷試験) ・地盤の載荷試験() 箇所 最大荷重() t 試験する深さ設	計GL- () m	⑤ コンクリートの材料	・C 種 セメントの種類 (6.3	i. 1)		パネル相互の目地幅 ※長辺 8mm以上、短辺15mm以上 ・ ()
3 敷地面積_			作業 ・セメント系防水工事作業 ③シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート トーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業) 石材施工 (・石張り作業) タイル張	2 既製コンクリート杭	(平板載荷試験) 杭の種類	(4. 3. 2)		※普通ポルトランドセメント ・混合セメントA種 ・その他 (種類 、適用箇所)			出隅及び入隅のパネル接合の伸縮調整目地 ※15mm ・ ()	
4 構 造 規 模 棟 名 称	立体計車場棟 渡り廊下棟		り (・タイル張り作業) 建築大工 (・大工工事作業) 建築板金 (○内外装材板金作業) 左官 (○左官工事) 内装仕上げ施工 (・頻製下地工事作業) サッシ施工 (○ビル用サッシルエスを、 中央 (・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	地 業	・適心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)・プレストレストコンクリート杭(PRC杭)			使用骨材 アルカリシリカ反応による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量3.0kg/m²以下であることを計画配合により確認)	⑨ 防	1 アスファルト防水	アスファルトの種類 ※3種 ・4種 屋根保護防水工法 防水層の種別	(9. 2 (9. 2. 3) (9. 2
構造	鉄骨造 鉄骨造		シ施工作業) 自動ドア施工(・自動ドア施工) ガラス施工(②ガラス工事作業) カー テンウォール施工(・金属製カーテンウォール工事作業) 垄装(・建築塗装作業) 内装 仕上げ施工(・ブラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・木		・ () 杭の寸法、継手、性能等 ※図示 構造図(C一)による		(a) #10 ±26	混和材料 種類 (AE減水剤) せき板の種類 (6.8	水 エ		種 別 施工箇所 断熱材の厚さ(nn) 保護密着・A-1	立上り部の保護
階数	地上2階 地上2階		はエバルエ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		試験机 位置 ※図示 打込杭推定支持力の算定 ※図示・(継手・アーク溶接継手 ※標仕 7.2.5(a)(b) ・図示 ・無溶接継手		W ± #	(8.6 / 原さ ※12mm ・ () mm ・断熱材兼用型枠材 ()床型枠用鋼製デッキブレート ・MCR工法用シート	*		FAXTA : A-2 工 法 · A-3	
建築面積延床面積	1, 914. 51m 50. 49m 3, 859. 27m 48. 51m		・		先端形状 ・開放型 ・半開放型 ・閉ぞく型 ・ () 杭の施工方法	(4. 3. 2)		種類 適用個所			保護密着 ・A I - 1 ・A I - 2 ・A I - 3	· 飲式保護材
・垂直積雪量 : (1.0)		13 化学物質の濃度測定	次の室の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、文部科学省の定める学校環境衛生の基準		・打込み工法 ・油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー ・((4. 3. 3)			2)		#R###### ⋅ B−1	・コンクリート押え ・セメントれんが
5 建 物 用 途 _	建築基準法による用途 (08490 自動車車庫)		値以下であることを確認し、監督員に報告書を提出すること。 (1.5.9) 測定対象化合物質 (5項目)		・ブレボーリングの併用 掘削深さ現地盤ー() m オーガー・特定埋込杭工法(建築基準法に基づく埋込み工法)	-径()mm (4.3.5)		○20mm ・図示による ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法等			工 法 .8-2	
-	消防法施行令別表第1の区分 (13項イ 自動車車庫)		ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 測定個所数 全 カ所 (測定対象室は、監督員の指示による。)		工法 ・プレポーリング拡大根固め工法 ・(・セメントミルク工法	(4. 3. 4)		・図示による ・ ()			保護絶縁 断熱工法 - BI-1	
Ⅱ 建築工事仕様			(すべての測定個所において上記5項目を同時に測定する。) 室の床面積A(ml) A ≤50		アースオーガーの支持地盤への掘削深さ () m程度 杭の支持地盤への根入れ深さ () m以上		7 寒中コンクリート	適用期間 () 月 ~ () 月 (6.11 (6.14	.		■ BI-3 歴根露出防水工法 防水層の種別	(9. 2. 3~
	れていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建 」(以下「標準仕様書」という。)による。		測定数 1 2 3 4 測定方法 測定は、パッシブ型採取機器を用いる。 採取機器、及び採取要領については監督員の指示による。		休頭の処理(切断方法) ・処理しない(切断しない)	(4. 3. 7)		設計基準強度 (N/nn2) スランブ (cm) 施 エ 箇 所 ※ 18 ○ 15 · 18 捨てコン			籍 別 施工施所 断勢材の厚さ(nn)	仕上げ塗料 種類 使用量
 特記仕様書の適用等 (1) 項目は、番号に〇印 			・基準値を上回った場合は、引渡しを受けないものとする。		・処理する 処理方法(切断及び補強方法) ・図示 構造図(C- 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・(杭の精度) (4.3.3~5)	◎ コンクリート強度試験	・ 構造体コンクリート強度の推定試験(材齢28日、現場養生または標準養生) (6.9	(E)		・D-1 露出絶縁 ・D-2	
⊙印と⊗印が付いた	付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 場合は、共に適用する。	14 技術検査	中間検査 ※実施する ・実施しない (1.6.2) 回数 中間検査の時期		水平方向の位置ずれ ・ 抗径の 1 / 4 かつ100m以下 ・ (・ 1 / 100以内 ・ 評定条件又は認定条件によ・)		・ (0.9 ・ 生コンクリートの製造所 ・ 生コンクリートの製造所	. 5)		工 法 ・D-3 ・D-4	
)内表示番号は、本標準仕様書の当該項目、当該図面または当該表を示す。		第 1 回 第 2 回	3 銅 杭 地 業	鋼杭の種類 ・鋼管杭 ・H型鋼杭	(4. 4. 2)		製作工場の加工能力 (7.1 建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から認可を受けた指定性能評価機関(日本鉄骨	. 3)		露出絶縁 ・DI-1 断熱工法 ・DI-2	
章 項 目	特 記 事 項	(3)完成図書等	※完成図面(竣工図・施工図)は2つ折製本としてA1版 部、A3船小版2部を提出する。 (1.7.1) ※引波書類は、A4クリアファイルに製本して2部提出すること。		種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 ・ (杭の寸法、継手、性能等 ※図示 構造図 (C -) による) (4. 4. 2) (4. 4. 2)	Ī	評価センター及び全国鉄骨評価機構)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして、国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場			屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレイン回り及び立上り部周辺 まい位置 ・図示による ・(2の断熱材の張りじ)
① ② 適用基準等	※建築工事監督実施要領(秋田県建設交通部監修)(平成16年度版) ※建築工事施工管理要領(一般社団法人公共建築協会)(平成26年改訂版)		添付書類は受注後の協議(引き渡し書類目録)による。		試験机 位置 ※図示 打込杭推定支持力の算定 ※図示・(継手・アーク溶接継手 ※標住 7.2.5(a)(b)・図示()・無溶打		事	・Sグレード ・Hグレード ⊙Mグレード ・Rグレード ・Jグレード ・監督員が承諾した工場			歴根防水 防水層の種別	(9.2.3~
般 共 ② 工事実績情報の登録	※営繕工事写真撮影要領(平成28年版) (国土交通省大臣官房官庁営補部監修)※適用する ・適用しない (1.1.4)	(6)工事写真	工事中、完成時ともカラー写真とする。		先端形状 ・開放型 ・半開放型 ・閉ぞく型 ・ () 杭の施工方法	(4. 4. 2)	②施工管理技術者	※適用する ・適用しない (7.1)	.		・適用する 塩 ・ E - 1	・図示による) ・ ()
事3概成工期	工事期限より() 日前 (1.2.1)		着 工 前 サービス版 工事写真の撮り方 建築編 1 部 エ 事 中 サービス版 工事写真の撮り方 建築編 1 部 エ 事 中 サービス版 工事写真の撮り方 建築編 1 部 年 日本		・打込み工法 ・油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー ・((4. 4. 3)	③ 銅 材 の 種 類	(7.2) 対質 規格 等 SS 400 ()規格品 (JIS 6 3101) ・7.2.10(a)に合格するもの	: 1)	0.365	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
項	・適用する ※適用しない (1.3.3)・ 図示による (1.3.5)		完成 時 サービス版 工事写真の撮り方 建築編 1 部 キャビネ版 監督員の指示による 部 原列標派は日 サービス版 新工作 中央中央のインシスト版 1 部		・プレポーリングの併用 掘削深さ現地盤ー () m オーガー ・特定埋込机工法 (建築基準法に基づく埋込み工法) 工法 ・中堀拡大根固め工法 ・(-径()mm (4.4.4)		SS 400 (分類格品 (JIS G 3101) - 7.2.10(a)に合格するもの SN 400 ・規格品 (JIS G 3136) SN 490 ・規格品 (JIS G 3136)		2 改質アスファルト シート防水	35 PU 施工策所 断熱材の 防湿層	(9.3 仕上げ塗料 種額 使用量
⑤施工条件	・図示による (1.3.5) ・工事補足説明事項 関連工事による施工時期の調整 ・有(内容:) ・無		原議派付用 サービス版 着工前・完成時のダイジェスト版 1 部 この表のほか監督員が必要と認め、指示した箇所及び部数とする。 また、上記の写真はデジタル写真も可とし、その仕様等は監督員の指示による。		工法 ・中堀拡大根固め工法 ・ ((4. 4. 6)		S N 490 ・規格品 (JIS 6 3136) S S C 400 ○規格品 (JIS 6 3350) -7.2.10(a)に合格するもの S T K 400 ・規格品 (JIS 6 3444) -7.2.10(a)に合格するもの			厚さ(mn) 厚さ(mn) 露出密着 ・AS-T1 工 法 ・AS-T2	12項 使用量
	関連工事による第工時期の調整 ・有 (内容:) ・無 施工時期・時間の制限 ※指定しない ・ (内容:) 部位別施工順序 ※指定しない ・ 殴示による	①電子納品等	※電子納品対象工事 ·電子納品対象外工事		・処理しない(切断しない) ・処理する 処理方法(切断及び補強方法) ・図示 構造図(C- 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・(-)による		STKR400 ・規格品 (JIS G 3466) ・7.2.10(a)に合格するもの			露出絶縁 · AS-T3	
	部位別施工順子		CD-R (監督員提出用)提出部数: (1)部 受注者は、次により電子納品を行うものとする。ただし、監督職員の承諾があった場合はこ		机坝の中部の材料 ・基礎のコングリートと同調音のもの ・ (林の精度 水平方向の位置ずれ ・	(4. 4. 3~4)	④高カボルト	(7.2 ボルト種別 セットの種類 ボルトの径	. 2)		エ 法 ・AS-T4 ・AS-J1 ・設置する	\perp
	関係機関等との協議の未成立事項 イ 内容: 開発許可申請に係る協議) ・無		の限りでない。 (1) 完成図書は、「工事完成図書の電子納品等要領」(以下「要領」という。) に基づいて		杭の傾斜 ・1 / 100以内 ・評定条件又は認定条件によ	ō		※トルシア型高力ポルト ※2種 (SIOT) -		0.4.4	断熱工法 ・ASI-J1 ・設置しない	
	現場代理人 ・ 兼務を認める		作成すること。特に記載の無い事項については、電子データを提出する義務はないが、 解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定するものとする。	4 場所打ちコンクリート 杭 地 業	杭の寸法等 ※図示 構造図(C ー)による 試験杭 位置 ※図示	(4. 5. 4)		②溶験亜鉛めっき高力ポルト ※1種 (F 8T) ポルトの形状・寸法 ※図示による・()		③ 合成高分子系ルー フィングシート防水		(9.4. 仕上げ塗料
⑥施工中の安全確保	※「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(平成9年建設省告示第1536号)」に基	◎ 設備工事との取合い	(2)電子データは、「要領」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成すること。 施工範囲 注)複数箇所に●印のあるものは、各工事を適用する。		鉄筋 種類、帯筋、最小かぶり厚さ、重ね継手、定着長さ、鉄筋かごの コンクリート	D補強 ※図示 (4.5.3)	⑤普通ボルト	ポルトの縁端距離、ポルト関隔、ゲージ等 ※図示による ・ () ポルト及びナットの材料等 ※標仕 表 7.2.3 による ・ ()			接着工法 · S-F1 · S-F2	種別 使用量
及び環境保全	づき、指定された建設機械を使用する。 (1.3.10) ※ 「建設機械に関する技術指針 (平成3年建設省通知第247号)」に基づき、指定された排出		種別 区分 電気機械建築		セメント ※高炉セメントB種 ・(設計基準強度 (Fc) ・(⑥ アンカーボルト	○図示による (7.2.4) (7.10	. 3)		・S-F2 ・S-M1 機械的固定工法	
⑦交通安全管理	ガス対策型建設機械を使用する。 (1.3.10) 関係機関との協議 ・必要(関係機関:) ・必要なし (1.3.8)		梁・床・壁貫通部 スリーブ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種 構造体補正強度 ・ 3 N/mm2 ・ () 据劇工法	(4, 5, 4)		種 類 材 質 適 用 箇 所 保持及び埋込方法 ・構造用 ・SNR400 ・ ※関示による。			仮板的回走上法	
	交通誘導員 ○配置する(○監備業法第18条に規定する特定の種別の警備業務 ・任意) (3 人・日)		安 住 公 生 命		##リエ伝 ・アースドリルエ法 (※安定液使用) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張り ※行う ・行わない)	(4. 5. 4)		- 建方用 - SS 400 ·			接 相	
	・配置しない 特定の種別の警備業務は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年国家公安委員会規則第		別途機器への接続 ・ ・		・行う (測定方法、測定箇所は図示による) ・行わない			・C 種・アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度			(新	
⑧ 発生材の処理等	20号) 及び秋田県公安委員会告示第 144号(平成18年10月6日)による。 ・特定建設資材廃棄物の発生材の処理 (1.3.11)		防火戸 自動開閉装置 ● 電動シャッター・自動屏 開閉装置、二次配線・操作スイッチ ●		がの精度 ・水平方向の位置ずれ ・100mn以下 ・ ()	(4. 5. 4~5)		※標性 表 7.2.3 による ・ () ポルトの形状・寸法 ※図示による ・ ()		4 塗 膜 防 水	防水層の種別	(9.5.
	種 類 再資源化等をする施設名・住所・搬出距離(km) 建設発生土 (有)パテック 秋田市上新城道川字大沢20-2 13.0km		二次配管		・杭の傾斜 ・ 1 /100以内 ・ 評定条件又は認定条件に			ポルトの緑端距離、ポルト間隔、ゲージ等 ※図示による・ ()			種 別 施工箇所	仕上げ塗料 種類 使用量
	コンクリート塊 アスファルト塊		機械室電気室等の設備機器の基礎・設備ビット (蓋含む) 自立室制御盤・自立型アンテナの基礎	⑤ 砂利及び砂地業 ⑥ 捨てコンクリート	※再生クラッシャラン (※厚さ 60mm ・厚さ mm ・図示) ・ (※捨てコンクリート (※厚さ 50mm ・厚さ mm ・図問示) ・ () (4. 6. 3)) (4. 6. 4)	⑦ 柱底均しモルタル	(7.2.9) (7.10 種別適用箇所 柱底均しモルタル材料	1.3)		ウレタン 絶縁工法 ・X-1 塗膜防水 密着工法 ・X-2	
	建設発生木材 ・特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理 (1.3.11)		床直核口、天井直核口、浜火水槽用マンホール ※施工図 設備機器の位置、取合い等を検討できる総合図を提出し、監督員の系第を受けること。	7床下防湿層	※設ける(ボリエチレンフィルム t=0.15mm) ・設けない	(4. 6. 5)		※A 種 無収縮モルタル評価名簿による ※無収縮モルタル - 無収縮モルタルの材料、類合等			ゴムアスファルト系 ・Y-1 塗 膜 防 水 ・Y-2 種別X-1の場合の脱気装置の種類及び設置数	
	種 類 処分施設の名称・住所・搬出距離(km) 上記以外の発生材 契約時の協議による	(9 瑕 疵 点 検	※適用する ・適用しない	8地盤改良	大価クロム溶出試験 ※行う 試験方法 (図示) 検体数 (図示)			※標位 7.2.9(b) による・ ・B 種 ※無収縮モルタル・			種類 ・主材料製造所の指定による ・ (設置数 () 箇所)
	・引渡しを要するもの () (1.3.11)	② 発注者が実施する	契約事項による瑕疵担保期間満了前に瑕疵点検を行うので受注者は立ち会うこと。 当該工事が、公共事業労務費調査等の対象工事となった場合には、調査に協力しなければな	⑤ ① 鉄 筋 の 種 類	・行わない	(5. 2. 1)	-	無収縮モルタルの材料、調合等 無収縮モルタルの材料、調合等 ※標仕 7.2.9(b) による			************************************	. ,
	- 特別管理産業廃棄物 種 類 : ()	調査等に対する協力	らない。	鉄筋	規格名称 種類の記号 ※SD295A ※D16	径 (mm) 以下 · ()	⑧ 鉄 骨 製 作 精 度	※「建築工事標準仕様書6鉄骨工事(JASS 6)」付則6「鉄骨精度検査基準」による (7.3	. 3)	5 ケイ酸質系塗布防水	防水層の種別	(9. 6.
	・現場再利用発生材 (・ 秋田県建設副産物対策に係わる取扱い要領に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び	21 工事の余裕期間	・適用する (・発注者指定方式 ・任意着手方式) ※適用しない 適用する場合は別に定める「余裕期間に係る特記事項」によること。	± = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		以上 ・()	⑨ 溶 接 接 合	開先の形状			種 別 施工箇所 ※C-UI	
		②①仮設足場仮	外部足場 ※枠組足場(※手すり先行工法 ・その他) ・くさび緊結式足場 ・その他 (足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月	②溶接金網 ③鉄筋の継手	J I S規格品: 網目形状 () 寸法 (100×100) 鉄絲 継手方法	段径 (φ6) (5.2.2) (5.3.4) (5.5.2)		エンドタブの切除する部分 ・ 切除しない ・ 全て切除する ・ 図示 ()		⑥シ - リング	・C-UP シーリング材の種類及び施工箇所	(9. 7.
	※本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、 秋田県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理するものとする。	設工	24日) 」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」に よるものとする。)		適用箇所 継 手 方 法 ・柱主筋 ・ガス圧接 (D 以上) ・重ね継手 ・ ()		完全溶込み溶接部の試験 (7.6. 試験の種別 A O Q L 検査水準 備 考	11)		種類 記号 施工箇所	
⑨ 建 築 材 料 等	※本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、以下のいずれかに該当するものとする。	事②監督員事務所	設置の有無 (2.3.1) ・設ける 規模:・10㎡程度 ・20㎡程度 ・35㎡程度 ・65㎡程度 ・100㎡程度		○栄主筋 ○ガス圧接 (D19以上)・重ね継手・(・耐力壁 ・ガス圧接 (D 以上)・重ね継手・()		※超音波探傷試験 ※4.0% ・2.5% ※第6水準・ 二回抜き取り ※社内UT検査 100%			シーリング材の目地寸法	(9. 7
	のいすれかに返出するものとする。 1 JIS及びJASマーク表示のある材料 2 エコマーク設定製品 (公財)日本環境協会)		・ (x) の 放映: * 10metag、* 25metag、* 25metag,*		●基礎スラブなど ●ガス圧接 (D19以上) ・重ね継手 ・ (・その他() ・ガス圧接 (D 以上) ・重ね継手 ・ ()	① 錆 止 め 塗 料	※耐火被覆(吹付けロックウールのみ)面には、塗装を行わない (7.8.3)(18.3) 種 別 規格番号・規格名称	. 2)		・コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※幅20mm以上、深さ10mm以上 ・ ()
	2 エコマーン総定史時 (公財)日本環境協会) 秋田県認定リサイクル製品 4 建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新年版) ((一社)公共		頭品: ※44、いり、書帳、無板、コム長紙、附百羽、株女帽、女面者、不成房帳 器、その他監督員の指示するもの。 ※設けない	4 耐久性上不利な箇所	・機械式継手の場合 種類 ()	(5. 3. 5)		世 別 - JIS K 5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント)			・ガラス回りの目地 (16.14.3 [ガラス溝の寸法、形状等] による場合を影 ※幅、深さとも 5mm以上 ・ (除く))
	4 延承付付・33前機関や呼回員はEREFIE等未建築材料等が譲る時、28新半級) (以下 「評価名簿」という。) に記載の製品 5 以下の①~⑥の事項を満たす材料製造業者等が製造した材料		※工事着手時に設計図を2つ折製本としてA2縮小版 部、A3縮小版5部を提出する。	の鉄筋のかぶり厚さ	施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える			B 種 ・ JASS 18 M-111 (水系さび止めペイント) ・ JIS K 5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント)			・上記以外の箇所の目地 ※幅、深さとも10mm以上 ・ ()
	① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。	③ 工事用水及び電力	工事用水 構内既存の施設 ・利用できる (※有償 ・無償) ○利用できない 工事用電力 構内既存の施設 ・利用できる (※有償 ・無償) ○利用できない					婦止め塗装は、工場(-2 ※1)回、現場ケッチアップ1回とする。 ※亜鉛めっき銅面の精止め塗装は、標仕 表18.3.2 による			シーリング材の接着性試験 ・実施する ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	(9. 7.
	③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認定文は免許を取得していること。	④ 工事表示板の設置	位置等 整督員が指定する位置に1箇所 (2.3.1) 表示時期 工事着工時から完成時まで	⑤ 圧接完了後の試験	試験方法 外親試験 ※行う(全圧接部)	(5. 4. 9)	11 耐 火 被 覆	(7.9.2) (7.9.4-	~6)	⑦施 工 票	・実施しない 試験成積書により、監督職員の承諾を受けて省略 屋根防水工事完了後、仕様、施工業者名、完成年月日を記載した施工票を	を監督員の指示する
	・ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。・ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。		表示板の形式 建 築 エ 事 の 表 示		技取試験 ※超音波探傷試験 (第3者機関) · 引張試験			種 別 材料及び工法 備 考 ・ラス張りモルタル塗り 標準仕様書第15章 2 節		,A	位置に取り付ける。	
	なお、5の材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明 となる資料又は、外部機関が発行する証明書の写し等を監督職員に提出して承諾を受ける		工 事 名 称	⑥各部配筋	適用箇所 配筋、継手、定着等	(5. 3. 7)		モルタル塗り] による ・耐火吹付け材 建築基準法に基づく指定 ※ブライマー処理 土ちは物のを無にもより			世 仕 様 完成年月日 8 施 工 者	
	ものとする。 また、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品		工 事 期 間 平成〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇〇年〇〇月〇〇日 建 葉 主 地方独立行政法人 市立秋田総合病院 理事長 小松 眞史			• ()		または認定を受けたもの ・耐火板張り 建築基準法に基づく指定 ±±14類の本品はたまの			125㎜程度	
① 化学物質を放散する	を使用する場合は監督員の承諾を受けること。 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、		設計者 久米・村田設計共同企業体 工事監理者 ○○○○○○○ 担当 ○○ TEL000-000-0000		・梁 ・図示 (各部配筋参考図又は構造図) による ・壁 ・壁閉口部 ・図示 (各部配筋参考図又は構造図) による ・②スラブ ・②図示 (各部配筋参考図又は構造図) による	• ()		または設定を受けたもの ・耐火材巻付け 建築基準法に基づく指定 または設定を受けたもの	10	1 施 工	相面仕上げとする場合の地中その他の材料等にのみ込みとなる部分の仕上げ ・図示による ・ (f (10. 1.
型 化学物質を放散する 建 築 材 料 等	運業所内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、 次の(1)から(4)までを高たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル		工事監督者 〇〇〇〇〇〇〇〇 担当 〇 TEL000-000-0000 工事施工者 〇〇〇〇〇〇〇 担当 〇 TEL000-000-0000		・図示 (各部配筋参考図又は構造図) による ・階段 ・図示 (各部配筋参考図又は構造図) による ・梁貫通孔 ・図示 (各部配筋参考図又は構造図) による	• ()	② 溶融亜鉛めっき	亜鉛めっきの種別 (7.12.3) (14.2			・図示による ・ (屋内の床を本磨きとする場合のワックス使用 ・使用する ・使用しな	ţ.v
	(1) 占板、不良ポンコーワンツ、(物温用バイル、黒成材、乗車板間が6、MDF、バーディンル ボード、その他れ質連材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩循材、断熱材、塗料、 仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で		注1 表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。 2 地色は、マンセル記号1GY7.5/8とし黒文字(角ゴシック)で表現する。		・米貝通れ ・図示 (甘酢味助参考図又は構造図) による ・その他() ・図示 (各部配筋参考図又は構造図) による			種別 適用箇所 ※A種・B種 図示による		2 石 材	区分 石材の種類 品質 施工箇所 形状 寸法	(10.2 表面仕上の種類
	設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用		3 表示板の大きさ ※1号 (横180cm×縦 90cm) ・2号 (横240cm×縦120cm)	⑥ ① コンクリートの種類	コンクリートの種別	(6. 2. 1)	+	溶験亜鉛めっき高カポルトの摩擦面の処理 (7.12 ①ブラスト処理 ・ブラスト処理以外の特別な処理 処理方法 ()	. 4)		天然石・テラゾ	
	する。 (3) 接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジー)・ブチル及びフタル酸ジー2・エチルヘキシル等を含有しな		・3号 (横360cm×縦180cm) ・その他 (横 90cm×縦 45cm) ・ 建設リサイクル法連守として「届出 (通知) 済シール」を建設業許可標識に貼付すること。	コン	※I類・I類 特殊な性能要求におけるコンクリート(建築基準法第37条第二号に規定す		® 1 ブ ロ ッ ク	すべり耐力等の確認方法 () 材料 ・耐力壁 ※空洞ブロック16 ・ () (8.2	. 2)	3その他材料	・乾式工金物の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式	(10. 2
	い難揮発性の可型剤を除く)が添付されていない材料を使用する。 (4) (1) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒ	⑤工事概要の表示	※表示しない ・表示する (建物のイメージがわかるようパース等を活用して表示する。 サイズ1,800×900 カラーコピーラミネート加工程度)	9 U	定を受けたコンクリート) ※なし ・あり ()		СВ	・ 機壁等 ※空洞ブロック16 ・ () (8.3 ・ 衛生配管用泰積みブロック等 ※空洞ブロック08 ・ ()			・ あと施工アンカーの材質及び寸法 (・ 外壁湿式工法に使用するドレインパイプの材質 () (10. 2.
	ド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用した ものとするもの。	③ ① 埋戻し及び盛土の種別	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3.2.3)(表3.2.1)	・ ② コンクリートの品質		(6. 2. 1~4)	·	各部の配筋 ※図示による (8.2.5) (8.3		4 外壁湿式工法	石裏面処理及び裏打ち処理 ・適用する ・適用しない	(10. 3.
	設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次 の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。	土工の建設発生土の処理	建設発生土量 (事	コンクリート種類 設計基準強度 スランプ 適用 (N/mm²) にの) ・ 24 ・ 15	1箇所	C 2 A L C パネル	(8.4.2~ 使用箇所 構法種別 区分 単位荷重(N/mi) 厚さ(nn) 長さ(nn) 耐火性能	~5)	5 乾 式 工 法	石裏面処理及び裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 外壁に適用する場合の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法	(10. 5 (10. 5
	① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒ ド発散建築材料以外の材料	77	受入条件 () ○場が指示の場所に搬出する。 (搬出先は特記1.8 発生材の処理による)		※普通 · 18 · 18 · 18 · 18 · 18 · 18 · 18 · 1	壁・土間	押押	- 外壁 - A種 - B種		6 FB1(W) 44*4***	• ()
	② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料		・構内指示の場所にたい積する。 ・構内指示の場所に敷きならす。		· 18 · 21		出成	・屋根、床 ※F種 外壁パネル構法の場合のパネル幅を300m未満とする ・適用する ・適用しない		6 床及び階段・特殊部位 の 石 張 り	石材の厚さ () 石裏面処理及び裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 目地へのシーリング材 ・適用する ・適用しない	(10. 6. 2) (10. 7
11 特別な材料の工法	④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法によるもの	③山 留 め	有無 ○有り ・無し (3.3.1) 搬去 ※存置しない (3.3.3)	③ レディーミクスト	・栓車 ・2種 ・ ※工事開始に先立ち、レディーミクストコンクリート工場を選定し、監督	を 計量の 全球を 悪ける	形板	・適用する ・適用しない 出隣及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の神縮目地 目地幅 () mm 耐火目地材の充填				場合の取り付け工法 (10.7.
10 M & 17 M V T IG	とする。		### ※	コンクリート	※工事制知に元立ち、レディーミンスドコンソリード工機を逃走し、監旨 こと。	(6.4.1)	事	日地へ / mm 耐火日地がの元点 ・適用する ・適用しない			・	
進記	ΠΞ	•	h w itmaalus	ヨヘ#仕	Bff 平成30年12月14日	株式会社 久米設	₽ +	有限会社 村田弘建築設計事務所	作名	8	設計番号)
	11-6-		久米・村田設計共同	可正耒仲	*************************************			一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	—	市立秋田絲	総合病院立体駐車場建設工事	0180038

ΠΞ ·	久米・村田設	計共同企業体	Bff 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	#6	士士和田公人东院士仕联末 相	7 1 - 1 - 1 - 1	放計番号
•			^{PA} 小倉 基延 ^{AMA} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太		市立秋田総合病院立体駐車場	建設工事	0180038
•	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	²² 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	海统工事性司4. # # T	^{線尺} A1= 1/500	国面番号 4
	SEKKEI WARE ///	11/2/21/14/3/2/2/2/2/14/3/3//	二木 重一、石井 康平				建築工事特記仕様書Ⅰ	A3= 1/1000	A-4

建築工	事特記仕様書Ⅱ	項目	特尼事項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特記事項章	項目	特尼事項	
	(平成29年 改訂版)	3粘土瓦蓝	(13.4.2) 粘土瓦 瓦機木 棟補強用心材	6 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセット ※適用する ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5	(16.6.2) 2 視聴覚者用床タイル	種類 ※塩化ビニル製 ・ () (19.2.2) 形状 ※300×300 ・ ()	15 ステンレス流し台	※関示による ・ B L 商品(システム ・ ・)トラップ付	
章 項 目 11 1 タ イ ル 材 料 タイルの形状、	特記事項 (11.2.2)(11.3.2)(11.4.2)		種類 大きさ 産地 材質 寸法 材質 寸法 ・J形 ・S形		鋼板<屋外> - SUS430JIL - SUS443JI - SUS304 鋼板<屋内> - SUS430JIL - SUS443JI - SUS304	(16.6.3) (16.6.3) (16.6.4) (16.7) (16.6.4) (16.6.4)	厚さ ※2.0 ・() 高さ ※60 ・75 ・100 ・300 (19.2.2) カーベットの挿類 (19.3.3~4)	16 コ ン ロ 台	※図 示 ・BL商品(システム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	、 寸法、種類 粉率のよる医分 うわぐすり 役物 色 別志書性 類目類回類短期施制施制権 有 無 標準注文 有 無 利用 利用 用 開 用 用 日本村 情 考		** 5 ** ** ** ** ** **		表面の仕上 ※HL仕上 · () 鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ · 角出し曲げ	(16. 6. 4) 4 カーペット敷き (16. 6. 5)	77 - ヘットの種類 (19.5.3 ~ 4) 種類 施工箇所 種別 形状 厚さ 帯電性 工 法 ・織じゅうたん	17 つ り 戸 棚	※図 示 · B L 商品 (システム · · ·)	
μ Ι	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・役物瓦 () 建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ ()	7 建具の追加性能	適用箇所は建具表による (16.2.2) (16.3.2) (16.4.2) (16.5. 防音ドアセット・防音サッシ ・適用さる (遮音性の等級: Tー) ・適用し 断熱ドアセット・断熱サッシ ・適用する (断熱性の等級: Hー) ・適用し	ない	・タフテッド ・ニードルパンチ ・適用しない ・全面接着	18 水 切 り 棚	※関 示 ・1段 ・2段	
*		⊕ Ł \ \ \ \	といの材種等 (13.5.2) 材 種 鋼管製といの防露巻き		耐震ドアセット(樹脂製建具除く) ・適用する(追随性の等級:D-) ・適用し	ない	・タイル タイルカーペットの敷き方 ※布松敷き (無地) ※模様流し (ストライプ)	19 木 製 収 納 家 具	合板類、MDF、パーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量	
タイルの見本領	的な曲がりの役物は一体成形とする。 焼き ※行わない ・行う (11.2.2) 課り ※行わない ・行う		※ステンレス鋼管 (JIS G 4305) ※標仕 表13.5.4により行う ・行わない ・ステンレス鋼管 (兩樋用既製品)	8木製建具	合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・第三種	(16.7.2) (16.7.2) 5 合成樹脂塗床 (16.7.2)	(19.4.2~3) 種 別 エ 法 仕上げの種類	20 視 聴 覚 者 用	※F☆☆☆ ・第三種 屋外 ※コンクリート製 ・磁器質タイル (・100角 ・150角 ・300角)	
2 陶磁器質タイル張り モルタル塗りを	を行うコンクリート素地面 ・MCR工法 ・目荒らし工法 (11.2.7)(11.3.7)		○配管用鋼管 (SGP-白) ※標仕 表13.5.4により行う ・行わない ・硬質塩化ビニル管 (VP)		・ I型	(16. 7. 2) (16. 7. 2) (16. 7. 3)	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ	誘導ブロック	屋内 市販品 フック数 ○30 ・40 ・60 ・100 ・ ()	
壁タイル張りの タイルの利 ・内装タイノ	種別 工 法		・ 竪槌がステンレス製の場合は、ルーフドレインの接続部もステンレス製とする。		表面材 厚さ (mm) ・普通合板 ※ 2.5以上・		・厚膜型塗床材 ・	②天井見切縁	材質 ※金属製壁固定型 ・金属製携帯型 材質 ※塩ビ製 ・アルミニウム製	
外装タイノ		1 工 法	受材の取付方法 (14.1.3) ※構造体施工時の取付 ・あと施エアンカー		・天然木化粧合板 ※ 3.2以上 ・特殊加工化粧合板 ※ 2.4以上		・ 神殿型塗床材 ・ 神殿型塗床材 ・ ・ 本様型塗床材 ・ ・ 本様型塗床材 ・ ・ 本様型塗床材 ・ ・ 本様型塗床材 ・ ・ 本様型		種類 ※突付け用 ・目透し用	
	単株先付けの種類		あと施エアンカーとする場合の引抜き耐力の確認試験 ※引張試験 ・実施しない	9 建 具 用 金 物	金物の種類・見え掛り部の材質 形式 金物の種類 見え掛り部の材質	(16.8.2) 6 フローリング張り	(19.5.2~6) 種類 工法 材種 大きさ等 仕上差装	23 床 目 地 棒	ブラスチック製 厚さ5mm 文字はカッティングシート裏貼 ステンレス化粧ビス止め	
12 1 木 材 ※木材は、原則	則として県産材を使用する。	2 ステンレスの表面仕上	(14.2.1) 種 別 施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)		引 戸		# 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		取付位置は整督員の指示による 雪 お ろ し 表 示 板	
木 エ ・JAS規格 手			※ H L 仕上げ№ 2 B 仕上げ(屋内で簡易な場合)		その他 マスターキーの製作 ※製作する(3本) ・製作しない	(16. 8. 4)	接着工法 ※なら ・ 登装品		施設名	
・下地用針葉	・関示による ※2級 ※4種(15%以下)	3 アルミニウム及び アルミニウム合金	(14.2.2) 種 別 施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	10 自動ドア (開閉装置)	·SSLD-1 ·SSLD-2 ·DSLD-1 ·DSLD-2	9. 2 (b) (1))	・モザイクパーケット 1 等 ※接着工法 ・無塗装品 ・無塗装品 ・		設計積雪荷重 2000 N/m ⁱ (垂直積雪量 100 cm)	
· 造作用針葉	· • B種(18%以下)	の 表 面 処 理	· A - 1種 · A - 2種 · B - 1種 · B - 2種 · C - 1種 · C - 2種 · D種		 ・多機能便所出入口用自動ドアの開閉装置の性能値 ・SSLD-2 ・スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (16. 	9. 2 (b) (2))	複 ・ 複合フローリング ・ 割部 工法(強張り) ・ 日種 ・ ※ C種		(単位荷重 20 N/m²-cm) 管理責任者 00000000000	
· 広葉樹製材	· · · · · · · · · ·	4 鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.3) - 重鉛めつきの種別 施工箇所 (手すり、タラップ以外) - 溶胎亜鉛めつき ・ A種 ・B種 ・C種		・SWD-1 ・SWD-2 駆動方式 ※電気式 ・()	7畳 敷き	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (・KT-I ・KT-I ・KT-I ・KT-II ・KT-		設計者 00000000000	
			電気亜鉛めっき ・D種 ・E種 ・F種		センサーの種類 ※光線スイッチ ・タッチスイッチ ・マットスイッチ 全半開装置付き ※設ける(半開幅=) ・設けない	⑧ 石膏ボード、その他ボード及び合板張り	せっこうボードその他ボード類 種類・厚さ等 ※図示による (19.7.2) 合板仕上げ		施 工 者 住所: 0000000000 名称: 00000000000000000000000	
・仕上げ材	・適用する ・適用する ・直用する ・直用しない ※A種 ・適用しない ※A種(15%以下)	5 轻量鉄骨天井下地	※特定天井、天井村の単位面積当たりの質量が20kg/㎡を超える天井、水平でない天井等は除く 野縁などの種類 (14.4.2) 〈屋内〉 ※19形 ・25形 〈屋外〉 ・19形 ※25形	11 重量シャッター		(16. 11. 2)	会板の種類 規格等 接着の種類 防虫処理 表板の樹種 (・ラワン程度・・シナ程度)		完成年月日 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日	
代用樹種を使	・B種		全内		 - 壁内用防火シャッター ・防煙シャッター 耐風圧性能 JIS A 4705による強きの区分 ・50 ・80 ・120 		・普通合板 板面の品質 ※1類		1 積雪量が垂直積雪量の7割に達する場合は、 雪おろしをしてください。	
・なし 造作用集成材			・耐震性を考慮した補強 ※方法は図示による (・耐風性を考慮した補強(壁外の軒天井、ピロティー天井等)		開閉機能 ※上部電勤式(手動併用) ・上部手動式 シャッターケース(防火、防煙以外の場合) ・設ける ・設けない 煙・熱感知連動シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・二段降下方式		・		2 雪おろしは、積雪量だけでは判断せず 雪質や建物形状による吹き溜まり等を考慮のうえ、	
	樹種・寸法 等級 含水率 化粧薄板厚さ 適用箇所		※方法は國示による ・ () ・天井ふところが3mを超える場合の構強 ※方法は國示による ・ ()		スラット及びシャッターケース用銅板の材質 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS 6 330) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS 6 370)		- Auto-Nations / - 2類 - 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 - オーバーレイ - ブリント - 塗装 - 2類		適切に対処してください。 3 積雪荷重が設計積雪荷重を超えた場合は、	
・造作用集成・化 粧 ぱ	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーなどの種類 (14.5.3) ※標性 表 14.5.1による ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ** (10.5.4) **	12 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用式) 耐風圧性能 JIS A 4704による強さの区分 ・50 ・65 ・80	(16. 12. 2)	・オーバーレイ ・フリント ・塗装 ・2類		建物の損傷や倒壊の恐れがあります。	
造作用集成 ・化 粧 ぱ	・		・スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による ・ ()		シャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 ・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 331)		会板類の類付け - A種 ※B種 せっこうボードの目地工法 ・細目処理工法 ・突付工法 ・目透し工法 (19.7.3)	25 消火器収納ポックス	260m程度 ・設ける(形状 ※壁全埋込み型 ・壁半埋込み型 ・露出型)	
構造用集成	格品以外 (12.2.1)	7 金属成形板張り	材種 製法 寸法(mm) 形 状 表面処理 取付用下地 伸縮調整報手 ・アルミニウム ・押出し 板幅・ ・適用する		・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G スラット形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	3322) (16.12.4) 9 壁 紙 張 り	壁紙の材料・施工 (19.8.2~3) 壁紙の種類 防火性能 素地ごしらえの種別	20 75 75 38 34 41 11 7 7 7	(参考型番 ※図 示) ・設けない	
・ 造作用集成	樹種・寸法 品質 含水率 化粧薄板厚さ 適用箇所 図示による ※15%以下 .		・アルミニウム ・搏出し 板幅・ ・適用する・ ・プレス 板厚・ ・適用しない	13 オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 開開機能 収納形式 ガイドレール	(16. 13. 2)	・ 不燃 ・ モルタル、ブラスター面 ・ A種 ※ B種 ・ せっこうボード面 ・ A種 ※ B種	26 郵 便 受 箱	・設ける(形状 ※屋外自立型 ・壁固定型) (参考型番 ※図 示)	
・化 粧 ぱ 造作用集成			- ガルバリウム - 押出し - 板幅 ブレス 板厚 ガルズ		※スチールタイプ ※パランス式 ・スタンダード形 ※溶験重鉛めっき鋼板		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>・設けない 取付位置は監督員の指示による</td></td>	<td></td> <td>・設けない 取付位置は監督員の指示による</td>		・設けない 取付位置は監督員の指示による
・化 粧 ぱ 構造用集成		8 アルミニウム製笠木	・ロール		・バーチカル形 鰯板、アルミニウム板のセクション材の仕上は製造所仕様の着色(標準色)とする。	_	・A 佳炉山法ボリステレンフォーム ・2 佳 JIS A 9511 の規格品 _抽		① 排 * 管	排水管用材料 (21.2.1) ・遠心カ鉄筋コンクリート管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 (○VP ・VU ・RS-VU)
造作用単板積層 ・JAS規格	格品 (12. 2. 1)		表面処理 ※図示 ・A ー 1種 ・B ー 1種 ・A ー 2種 ・B ー 2種 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等	(3 ガ ラ ス	耐風圧性能 JIS A 4715 による強さの区分 ・50 ・75 ・100 ・125	(16. 14. 2)	・ A種硬質ウレタンフォーム ・ 種 ・ 種 ・ 種 ・	2 鋳鉄製マンホールふた	・視質ボリ塩化ビニル管維手 マンホールふたは簡易防臭型とし、表面に用途別の標準文字付きとする。 (21.2.1)	
厚き	表面の化粧加工 防虫処理 含水率 適用箇所 ・ 天然木化粧加工 ・ 適用する ※A種(15%以下)	9 手すり及びタラップ	· () (14. 8. 2~3)		複層ガラス JIS R 3209 による断熱性 日射熱塩へい性による区分 ※1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種		・吹付け硬質ウレタンフォーム ※A種 1 難燃性 3 級 3 数 20 JIS A 9526 による	③グレーチング	適用荷重: (T -) (21.2.1)	
・JAS規格	・なし (等級:) ・適用しない ・B種(18%以下)		材質 表面処理の種別 ・手すり ・ステンレス SUS304		ガラスの留め材 ※シーリング ・ガスケット ※訪火戸のガラスの留め材は、建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件によ	20 1 フリーアクセスフロア ユ	(20.2.2) 寸 法 高 さ 耐震性能 所定荷重 帯電防止性能 瀬えい抵抗	970-739	材質 用途 適用荷重 メインバービッチ	
厚き	- 表面の化粧加工		- 銅 製 標位 表14.2.2の () 種 ・既製品 ・タラップ ・ステンレス SUS304	17 1 カーテンウォール カ の 性 能	諸性軌値 耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性 耐温度差性 返音性 断別	(17.1.3) ニ 験性 ッ	500×500	@ # E +	T - 25 細目 T - 25 和目 T - 25 和目	
	・ 塗装加工 ・ なし (等級:) ・ 適用しない	1 セルフレベリング材塗	・既製品 種類 ※セメント系 ・せっこう系 塗厚 (nn) (15.4.2)		性能の確認方法及び判定方法 ※適切な資料により監督職員の承諾を受ける	ト 2 可動間仕切	(20.2.3) 構造形式 構成材 違音性 表面材		凍上抑制層 (22.2.2~3)(22.2.5) ○適用する(※再生クラッシャラン ・切込砂利又は切込砕石 厚さ:図示)・適用しない	
床張り用合板等 ・普通合板	· +	2 仕上塗材仕上げ	(15.5.2) (15.5.6) (表15.5.1)	ウ 2 メ タ ル ウ カーテンウォール	材料 シーリング材 断熱材 製品の寸法 見え掛り部 ガラス溝の 取付け位 かの 種 類 断熱材 許 容 差 の仕上げ 寸法・形状 寸法・野		・スタッド式密閉形 ・アルミニウム合金系 ・36 d B以上 ・焼付鋼板 (標準色) t0.5以上 ・スチール系 ・		フィルター暦 ・適用する (・ 厚さ:) ()適用しない	
₩ 5.5mm	1		規格名称 種類(呼び名) 形 状 工 法 上塗り材 薄付け ※外鉄薄塗材E ・砂壁状 ※吹付 仕上塗材 ・ ・	l n		I I S 49 NO 10 11 97	(20.2.4) 事 パネルの操作方法 表面材 圧着装置の操作方法 返音性 (20.2.4) 事		路床安定処理 ○適用する(○セメント系 ・石灰系) ・適用しない	
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 適用しない (※C-D以上 ・)		厚付け · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	エ 3 PCカーテンウォール 事	コンクリート の種類・品質	17. 3. 2~5) 事置の3 差	・製造所仕様の化粧鋼板 ・ハンドル回転式 ※36 d B 以上 (標準色) t5.0以上 ・ワンタッチ上下式 ・36 d B 未満 取り付け用あと施工アンカーの材質、寸法等は関示欠は製造所の仕様による。		盛土材料 標仕 表 3.2.1 種別※B種 ・ ()路床土の支持力比 (CBR) 試験	
・構造用合植 等級 厚 ※2級	板 (2.2.1) は は 機種 接着の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 適用箇所 ・適用する		模 層 ※訪水形模層塗材 ・ 凹凸模様 ※吹付 ・ 水系アクリルウレタン ・ ・ 水系アクリルウレタン ・ つやあり 経量骨材 ・ 吹付用軽量塗材 ※砂壁状 ※吹付	③ ① 材 料		4 トイレブース	パネル表面材 ・メラミン樹脂 ・ポリエステル樹脂 (20.2.5)		※行わない ・行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度試験	
以上 ※12			仕上塗材 ・こて塗用軽量塗材 ※平坦状 ※こて塗り 複層仕上塗材の耐候性 ※耐候形3種 ()	塗 装	施力 (最内) (最近) (現代) (現	5階段滑止め	材種 ・ステンレス (SUS304) ・ビニルタイヤ入り (幅約35mm) (20.2.6) 取り付け方法 ※接着工法 ・埋込み工法		 ※行わない ・行う(埋戻し及び座土部分) 現場CBR試験 	
・パーティク	しない しない 12 2 1) 12 2 1		屋内の壁天井の仕上塗材 ※防火認定材料 ・非防火認定材料 (15.5.2) A L C パネルの場合の下地処理 内壁目地部の形状 ※V 形目地付き ・()	エ 事 ②素地ごしらえ	各部素地ごしらえ 木 部 ※A種(不透明塗料塗) ※B種(透明塗料塗)	6 黒板・ホワイトボード (18.2.2)	種類及び色 (20.2.8) 種 類 規格名称 色 形 状	② B	※行わない 〇行う (CBR3以上を確認すること。3以下の場合は監督員と協議すること。) 路盤材料 (22.3.3)	
表裏面の状態による区分	(E. L. l) (E		所要量等の確認 ※標仕 表 15.5.4 による () () () () () () () () () (鉄網面 - A種 - B種 ※C種 亜鉛かっき面 - A種 - B種	(18. 2. 3) (18. 2. 4)	※焼付け(黒板) JIS S 6007の規格品 ※練・・ ※平面 ・ホーロー白板 JIS S 6052の規格品 ・曲面 (ホワイトボード) ・スクリーン引分け		※再生材のクラッシャラン RC-40 ・砕石のクラッシャラン C-40	
・構造用パネ		3 マスチック塗材塗り	りの使用量による) マスチック塗材塗り (15.6.2)		モルタル面 ・ A種 ※B種 コンクリート面 ・ A種 ※B種	(18.2.5) (18.2.6) 7 衡 突 防 止 表 示	※図 示 (20.2.10)	③ アスファルト舗装		
2表面仕上げ 見え掛り面のあ		4 ロックウール吹付け	・A種 ・B種 (仕上材塗りEP-G ※B種 ・A種) ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆ ・第三種 (15.8.2)	3 錆止め塗料塗り	せっこうボード面 ※A種(細目処理工法) ※B種(その他) 塗料の種別	(18.3.2) 8室名札	・市版品 形状、寸法、材質等 ()) ※図 示 (20.2.10)		加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) 素層 ※再生密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 密粒度アスファルト混合物(13F)	
・A種 (超自	種別 施工箇所又は部分 自動機械かんな掛け仕上げ)		接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・第三種 仕上げ吹付け厚さ ・ ()nm		亜鉛めっき面 ※A種(EPーG以外) ・B種(EPーG以外) ※C種(EPーG) 塗料塗りの種別 鉄鋼面 ※A種(男え掛かり) ※B種(見え開れ)	(18. 3. 3)	・市版品 形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別: () 取付形式: ()	4 3 3 5 11 1 20 5	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない · 行う (22.4.6)	
	動機械かんな掛け仕上げ) ・ンダー掛け仕上げ) 建	① アルミニウム製建具	外部に面する建具 (16.2.2) (16.2.4) 種別耐風圧性気密性水密性枠見込寸法		亜鉛めっき面 ※A種(鋼製建具面) ※B種(その他)	9 煙 突 ラ イ ニ ン グ	表示方式 · 片面 · 両面 適用安全使用温度 · 400°C · 650°C (20.2.11)	4 コンクリート舗装	舗装の構成、厚さ: () (22.5.2) (22.5.3) 早強セメント ・使用する ※使用しない	
3 防腐・防蟻処理 薬剤の加圧注入	決による防腐・防嫌処理 (12.3.1) 適用部位 保存処理性能区分		○A 種 S-4 A-3 W-4 ・B 種 S-5 A-3 W-4 ・C 種 S-6 A-4 W-5	4 合成樹脂調合 ペイント塗り	塗料の種類 ※1種 ・ () 木部合成樹脂調合ペイント塗り ・ A種 (屋外) ※B種 (屋内) 鉄銅面合成樹脂調合ペイント塗り ・ A種 ※B種	(18.4.2) (18.4.3) (18.4.4)	(20.2.12)		コンクリート版の目地の種類及び間隔 ※標仕 表 22.5.3 による ・ () (22.5.4) コンクリート版の目地の構造 ※標仕 表 22.5.1 による ・ ()	
	· K2 · K3 · K4 · K2 · K3 · K4		- 住宅用 S-3 A-4 W-4 表面処理の種別	5 クリヤラッカー塗り	種別 · A種 ※B種	(18. 5. 2)	*** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	5 カ ラ ー 舗 装	潜換金網 ※あり ・なし (22.6.2)	
※剤の塗布によ	よる防腐・防糖処理 適用部位 処理の方法 ※様仕 12.3.1 (3)(目)①~④による		<屋外> ※B-1 ・ (B-2) <屋内> ※C-1 ・ (C-2) (16.2.4) B-2種の場合・ブロンズカラー(標準色)・プロンズカラー(黒色)・ステインカラー・ブラウン	6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料塗り	種別 ・A種 ※B種	(18. 6. 2)	- 模型 ・コード式		種類構成 厚さ	
4 防 虫 処 理 防蟻処理の適用			G − 2種の場合 ・ プロンズカラー(標準色)・ブロンズカラー(黒色)・ステインカラー・ブラウン 結需水の処理方法 ※図示による ・ () 水切り板、ぜん板等 ※図示による ・ ()	7 耐候性塗料塗り	鉄鋼面 上塗り塗料の等級 ※1級・2級・3級 亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料の等級 ※1級・2級・3級	(18.7.2) (18.7.3)	機作方式 ・ワンタッチ式 ・チェーン式 (20.2.13) スクリーンの材種 ・ポリエステル ・ ()		- か飲料石油樹脂水混合物 ・常温系ニートエ法 ・常温系を布工法	
・適用する	/用 (12.3.2) - 適用部位 ※適作材 ・ () 等を使用する場合は、製材の日本農林規格による性能区分K 1 の防虫処理を行う	2 銀百 / 叶上坦三:	鉄骨下地の溶接箇所の錆止処理 ・A種 ・B種 (16.2.5)	8 つや有合成樹脂エマル	コンクリート面 種別 ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面、モルタル面等 種別 ・A種 ※B種	(18.7.4) (18.8.2) 12 カ ー テ ン	(20. 2. 14)	6透水性	舗装の構成、厚さ: (22.7.2)	
・適用しない ③ 1 長尺金属板葺		2 網戸 (防虫網戸) 3 樹脂製建具	防虫網 ※合成樹脂 ・ガラス機権入り合成樹脂 ・ステンレス (SUS316) (16.2.3) 外部に面する建具 (16.3.2)	ションペイント塗り ③ 合成樹脂エマルション	鉄銅面 種別 ・ A種 ※ B種種別 ・ A種 ※ B種	(18. 8. 4)	名称品質等 形 式	アスファルト舗装 7 ブロック系舗装	開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ※行わない (22.7.6) ・コンクリート平板舗装 平板の種類、寸法 ※株300 ・ (22.8.2~3)	
歴 根 板及びコー	□イルの種類 <u>塗 膜</u> 厚さ 屋根薬形式		種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込寸法 - A 種 S-4 A-3 W-4 - B 種 S-5 A-3 W-4 建具表による	ペイント塗り		(18. 10. 2)	・ダブル ・引分け ・プレーンひだ、片ひだ ・電動 品質は参考商品名とする。 ・ ・ ・		目地材 ※粉目地 ・モルタル目地 ・インターロッキングブロック舗装 種類、形状、け法、表面加工等 ※車路は伸行強度 5.00/mm2 の普通プロック厚さ 80mm	
び 特殊工法は監督	*2.0屋根用コイル		- 15 種 S−5 A−3 W−4 延典表による - C 種 S−6 A−4 W−5 表面色 ※標準色 ・特注色 (16.3.4)	模様 塗料 塗り		13 カーテンレール	レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90 · () (20.2.14) レールの材料 ・ステンレス製 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材		※単桁はMITSMQ D. NUVINIZ OD MINI	
	・ () 基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ () ・ アスファルトルーフィング 940	④ 銅 製 建 具	簡易気密型ドアセット ※適用する ・適用しない (16.4.2)(16.4.3) 外部に両する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5	ワニス塗り		(18. 11. 2)	仕上 ※アルマイト ・ () 形状 ※角型 ・ ()		舗石の基層及び厚さ ※コンクリート版 (※ 70mm ・ mm) ・アスファルト混合物 (※ 50mm ・ mm)	
-	・アスノアルドルーフィング 940 ・		外部に関する経典が削減は注 ※S - 4 ・S - 5 鎖板 種 別 めっきの付着量 厚 さ	12 ラッカーエナメル塗り 13 木材保護塗料塗り		(18. 12. 2) 14 点 核 口 (18. 14. 2)	施工箇所 材 種 寸 法 形 式 22	8構内砂利敷き		
2 折 板 葺	13.3.2) 形式 山高 山ビッチ 厚さ 耐力区分 材料区分 軒先面戸板		JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) ※212又はF12 ・ () ※標仕 表 16.4.2による	① 1 ビニル床シート、内 ビニル床タイル及び	種別 種類 色柄 厚さ	(19. 2. 2)	天 井 ※アルミニウム製 ※450×450 ※翻線タイプ - 600×600 ・ 目地タイプ	1植栽基盤	極載基盤整備工法 ※適用する ・適用しない (23.2.2) 有効土層	
が似の材料	形 式 山高 山ビッナ 厚さ 耐力区分 村村区分 軒大面戸板 ・重ね形 ・直ね形 ・直ね形 ・ なし		JIS G 3317 (溶験亜鉛ー5%アルミニウム ※YO8 ・ () 合金めっき網板及び網帯) ・ ()	装 ゴム床タイル張り	世 別 世 類 世柄 厚 さ ・ビニル床シート ※FS・ ※ 2.0mm・ ※ 2.0mm・	ma ma	要 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 植 込 み 用 土	- 近域性別 個外 ※A種 ・ () 之及ひ地板頭 ※B種 ・ () ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)	
	・あり(断熱材の種別: 厚さ: mm 防火性能:) ・なし	5 銅 製 軽 量 建 具	簡易気密型ドアセット ※適用する ・適用しない (16.5.2) 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板	事	・特殊機能床材() ・ゴム床タイル ・天然ゴム・合成ゴム		床 ※アルミニウム製 ・450 × 450 ・ステンレス製 ※600 × 600 ・充填用(防臭型 鍵付)	3 芝、吹付けは種	・吹付けは種 (・	
建築基準法に基	基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ ()		類板の厚さ ※標性 表 16.5.1 による ・ ()		ビニル床シート工法の熱溶接 ・適用する(施工箇所) ・適用しない	(19. 2. 3)	屋外 ・コンクリート製 ・磁器質タイル(・100角 ・150角 ・300角)		芝張り ※目地張り (平地) ※べた張り (法面)	
進記	па		久米・村田設計共同	司企業体	B 平成30年12月14日 株式会社		有限会社 村田弘建築設計事務所	市立秋田紀	総合病院立体駐車場建設工事 0180038	
		•	KUME 株式会社 久米設計 有序	 艮会社村田弘建瓴	へった。 本述 **** 高橋 創 一級建築: を設計事務所	L 立球曲号 200085号 品橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	図面名	特記仕様書 II A1= 1/500 A - 5	
			SEKKEI 体式云征 入小 Q II		二木 重一、石井 康平			姓 采 工争	7年記任休春 II	



敷地面積(m³)	19,002.23

	敷地内建物一覧表							
	棟 名 称	建築	面積(m³)	延べ面	積(m)	構造・階数	完成年	備考
	114 12 177	申請建物建築面積	既存建物建築面積	申請建物延べ面積	既存建物延べ面積	博逗 階数	元队平	偏 考
申	申請建物 1 (立体駐車場)	1, 9 1 4.51		3,859.27		S-2	_	
申請建物	申請建物 2 (渡り廊下)	5 0 . 49		4 8 . 51		S-2	_	
193								
既	病院本体		6, 1 6 3 . 53		28,707.20	SRC-1/8	S 5 9	H 1 2 一部増築
既存建物								
793								
		申請建物建築面積 小計	既存建物建築面積 小計	申請建物延べ面積 小計	既存建物延べ面積 小計			
	小 計	1,965.00	6, 1 6 3 . 53	3,907.78	28,707.20			
		建築面積	責 合計	延べ面	積 合計			
	숨 計	8, 12	2 8 . 53	32,6	3 2, 6 1 4.98			

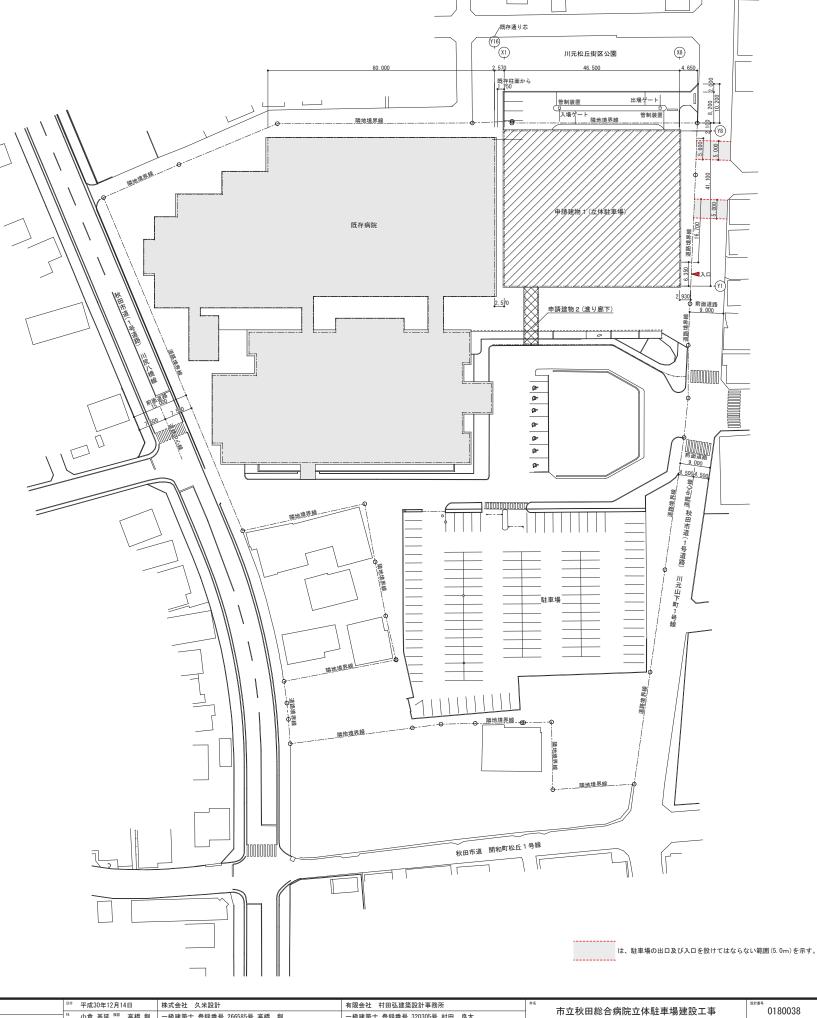
■「明示すべき事項」について、適合することが明らかである旨

■道路斜線・・・・前面道路からの最小セットパック距離2.93m+道路中心線までの水平距離4.5m=7.73m
前面道路の反対側の境界線とみなされる境界線までの距離、7.73m×2=15.46m
15.46m×1.25(勾配)=19.325m 申請建物高さは7.85mであるため道路斜線制限に「適合」する。

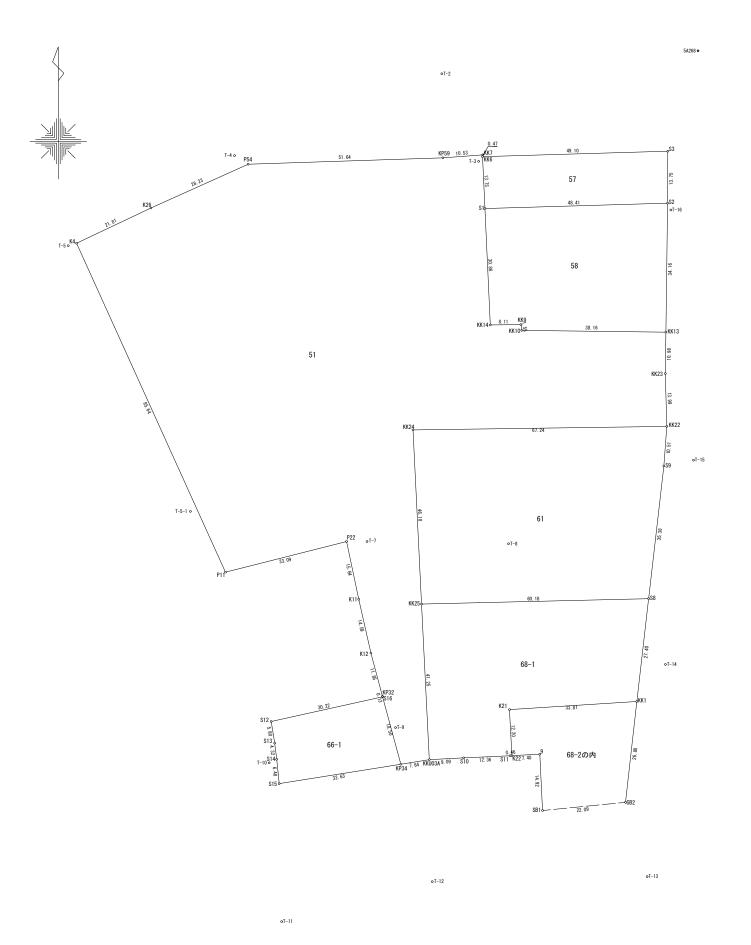
■隣地斜線・・・・申請建物の最高高さ(7.85m)が、隣地斜線制限の立上り高さである20mより低いため、隣地斜線制限に「適合」する。

■北側斜線・・・・建物の高さに制限なし。

■池州駐車場の構造及び設備の基準(1)自動車の出口及び入口(令第7条第1項第1号)。
(①、ロ 交差点の端部又は道路の曲がり角から5m以内の部分に出口及び入口を設けてはならない。
駐車場の出口及び入口を設けてはならない範囲から、入口は16.7m、出口は5.6mであるため「適合」する。







座標求積表

地番	51			
測点	Χn	Υn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距離
K4	-31618.871	-62705. 514	6048260. 352870	95. 64
P11	-31705. 994	-62666. 062	4951182. 892558	33. 09
P22	-31697. 880	-62633. 982	450213.062616	15. 64
K11	-31713. 182	-62630. 762	1849924. 817194	14. 59
K12	-31727. 417	-62627. 541	1608776. 273208	11. 85
KP32	-31738.870	-62624. 483	725128. 888657	0. 13
S16	-31738. 996	-62624. 449	1126300. 715265	18. 50
KP34	-31756.855	-62619. 611	1042052. 946651	7. 64
KKU03A	-31755. 637	-62612.071	-2655941. 439749	41.25
KK25	-31714. 436	-62614. 133	-5467841. 778358	46. 18
KK24	-31668. 311	-62616.390	-2946288. 998670	67. 24
KK22	-31667. 383	-62549. 156	-932733. 014272	13. 99
KK23	-31653.399	-62549. 554	-1561487. 066056	10. 98
KK13	-31642.419	-62549. 398	-716253. 156498	38. 16
KK10	-31641.948	-62587. 551	-124924. 751796	1. 55
KK9	-31640. 423	-62587. 801	-90376. 784644	8. 11
KK14	-31640. 504	-62595. 915	-1924386. 214845	30. 86
S1	-31609.680	-62597. 337	-2789024. 350035	13. 75
KK6	-31595. 949	-62597. 968	-888953. 743568	0. 47
KK7	-31595. 479	-62597. 946	19217. 569422	10. 53
KP59	-31596. 256	-62608. 444	154580. 248236	51. 64
P54	-31597. 948	-62660. 052	832313. 470716	28. 23
K26	-31609. 539	-62685. 798	1311574. 951554	21.81
	•	倍面積	21314. 890456	
		面積	10657. 4452280	
		地積	10657.44 m ²	

地番	57			
測点	Χn	Υn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距離
S1	-31609. 680	-62597. 337	770510. 621133	48. 41
S2	-31608. 258	-62548. 951	-949117. 782474	13. 75
S3	-31594. 506	-62548. 894	-769914. 336246	49. 10
KK6	-31595. 949	-62597. 968	949861.566432	13. 75
	•	倍面積	1340. 068845	
		面積	670. 0344225	
		地積	670. 03 m ²	

地番	58			
測点	Χn	Υn	(X n + 1 - X n - 1) Y n	距離
KK14	-31640. 504	-62595. 915	1924386. 214845	8. 11
KK9	-31640. 423	-62587. 801	90376. 784644	1.55
KK10	-31641.948	-62587. 551	124924. 751796	38. 16
KK13	-31642. 419	-62549. 398	-2107289. 218620	34. 16
S2	-31608. 258	-62548. 951	-2047790. 106789	48. 41
S1	-31609.680	-62597. 337	2018513. 728902	30. 86
	•	倍面積	3122. 154778	
		面積	1561. 0773890	
		地積	1561.07 m ²	

地番	61			
測点	Χn	Υn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距離
KK25	-31714. 436	-62614. 133	2798789. 130967	60. 18
S8	-31713.010	-62553. 973	-2287849. 008502	35. 38
S9	-31677. 862	-62549. 940	-2853966. 112380	10. 51
KK22	-31667. 383	-62549. 156	-597406. 988956	67. 24
KK24	-31668. 311	-62616. 390	2946288. 998670	46. 18
	•	倍面積	5856. 019799	
		面積	2928. 0098995	
		地積	2928.00 m ²	

地番	66-1			
測点	Χn	Υn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距離
S12	-31745. 532	-62653. 951	768450. 709015	5. 80
S13	-31751. 261	-62653. 029	627219. 473319	4. 32
S14	-31755. 543	-62652. 488	672073. 238776	6. 48
S15	-31761. 988	-62651.838	82199. 211456	32. 63
KP34	-31756. 855	-62619. 611	-1439750. 096112	18. 50
S16	-31738. 996	-62624. 449	-709096. 636027	30. 22
	•	倍面積	1095. 900427	
		面積	547. 9502135	
		地積	547. 95 m ²	

地番	68-1			
測点	Χn	Υn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距離
KKU03A	-31755. 637	-62612.071	2550064. 427688	9. 09
\$10	-31755. 164	-62602. 993	-63980. 258846	12. 36
\$11	-31754. 615	-62590. 645	-36991.071195	0.46
K22	-31754. 573	-62590. 187	-765290. 216449	12. 20
K21	-31742. 388	-62590. 840	-897615. 236440	33. 81
KK1	-31740. 232	-62557. 099	-1837802. 454422	27. 40
\$8	-31713.010	-62553. 973	-1613642. 287508	60.18
KK25	-31714. 436	-62614. 133	2669052. 647391	41. 25
	•	倍面積	3795. 550219	
		面積	1897. 7751095	
		地積	1897.77 m ²	

地番	68-2の内			
測点	Χn	Υn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距離
KK1	-31740. 232	-62557. 099	-1536089. 565945	33. 81
K21	-31742. 388	-62590. 840	897615. 236440	12. 20
K22	-31754. 573	-62590. 187	739377. 879031	7. 40
9	-31754. 201	-62582. 799	909202. 903872	14. 92
SB1	-31769. 101	-62582. 081	797420. 876102	22. 09
SB2	-31766. 943	-62560.097	-1806047. 440293	26.88
	•	倍面積	1479. 889207	
		面積	739. 9446035	
		地積	739.94 m ²	

合計:19002.2368655

開発面積: 19002.23㎡

座標一覧表

		
測点名	X座標	Y座標
T-2	-31573, 989	-62608, 748
T-3	-31597. 184	-62599.008
T-4	-31595. 663	-62663.669
T-5	-31619.532	-62707. 708
T-5-1	-31689.893	-62675. 348
T-7	-31697.874	-62628. 565
T-8	-31698. 469	-62591.093
T-9	-31747. 146	-62621.016
T-10	-31756. 472	-62654. 479
T-11	-31798. 529	-62651.178
T-12	-31787. 948	-62611. 283
T-13	-31786. 630	-62554. 363
T-14	-31730. 432	-62549. 522
T-15	-31676. 329	-62542. 080
T-16	-31610.071	-62548. 093
5A268	-31567. 903	-62540. 877

通配	ΠΞ ·	久米・村田設計共同企業体		Bff 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	*** 市立秋田総合病院立体駐車場建設	工事 0180038
	•			凡 小倉 基延 翔 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	巾並秋田総合病院並体駐車場建設	工事 0100030
	•	KUME 株式会社 久米設計		^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			敷地面積求積図・求積表	A1= 1/500 A 7
	•	SEKKEI 体式云在 人不成日		二木 重一、石井 康平			敷地面積求積図・求積表	A3= 1/1000 A= /

計画概要

一般事項											
工事名称	市立秋田総合病院立体駐車均	場建設工事									
住 所	秋田県秋田市川元松丘町4番	·30号									
敷地面積	19, 002. 23 m ²										
道路幅員	西側 15.0m、東側 9.0m										
地域地区	第(1, 2)種(低, 中高)層	第(1,2)種(低,中高)層住居専用地域・第(1,2)種住居地域・準住居地域・近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域・工業専用地域									
	駐車場整備地区・市街化調	整地域・特別工業地区・文教地	2区・無指定								
防火指定	防火地域 準防火地域 指	定なし									
積雪量	100cm (20 N /m²·cm)										
その他											
建物概要											
主要用途	自動車車庫 (一般公	·共用 • 専用)									
工事種別	新築・増築・改築・移転・	用途変更									
T-/ -#	自走式 フラット式										
形式	独立した2階建以下の自走	式自動車車庫(法61条第二号建	建築物)								
		申請部分									
去生	建築面積	1, 965. 00 m ²									
面積	延べ床面積	3, 907. 78									
	法定延面積										
建ペい率		•	•	•	•						
容積率			(EVシャフト)								
面積表	階数	申請部分	容積対象外面積	容積対象面積	駐車台数						
	R 階	78.76 m²	9. 57 m ²	69.19 m²	66 台						
	2 階	1, 914. 51 m ²	9. 57 m ²	1, 904. 94	65 台						
	1 階	1, 914. 51 m ²	9.57 m ²	1, 904. 94 m ²	55 台						
	合 計	3, 907. 78 m²	28. 71 m ²	3, 879. 07 m²	186 台						
	立体駐車場	仮設渡り廊下									
階数	地上2階	地上2階									
最高軒高さ	6, 400 mm	9, 700 mm									
最高部の高さ	7, 850 mm	9, 900 mm									
構造種別	鉄骨ラーメン造 鉄骨ラーメン造										
基礎形式	独立基礎	独立基礎									
備考											

特記事項

- 消火設備(移動式粉末消火設備 消火器(第3種) 33kg(SUS製))は、建築工事とする。 粉末消火設備の取付位置は、E-13図、E-14図参照のこと。
- ・コンクリート打放し仕上げとなる腰壁部分には、特殊混和材(シリカホワイト同等品)を、20kg/m3を配合すること。
- 1階スロープ下の盛土部分は表層改良として、セメント100kg/m3を混合すること。

建具表 (AD)	建具表 ①SD
アルミ手動片引半自動ドア 個数1個	スチール片開ドア 個数 5個
仕上 アルミ電解着色(カラー)	仕上 鋼板t1.6 SOP
ガラス 強化透明 t=5	ハンドル レバーハンドル
引き棒 L=600	
備考 付属金物一式、衝突防止シール	備考 沓摺SUS、付属金物一式
0000 有効:1000	5000

外部仕上表 · 特記仕様

屋上	床:コンクリート刷毛引き仕上げ(膨張材混入)浸透性改質防水(RCガーデックス防水用同等品)
	EV 屋根仕上げ:塩化ビニル樹脂系シート防水 t=2.0
床 (1階)	アスファルト舗装 t=50 砕石(RC-40) t=150
スロープ	コンクリート刷毛引仕上 真空丸輪工法
	デッキプレートt=1.2 亜鉛メッキ(Z12) ワイヤーメッシュ敷込100×100×6φ
外壁	立体駐車場:カラーガルバリウム鋼板t=0.35 角スパンドレル 縦張り、RC打放し、カラークリア塗装(ポルトガード同等品)、誘発目地@2500内外
	EV棟:押出成型セメント板t=60 工場塗装(ポリウレタン樹脂(ニューカラリード)アスロック社同等品、RC打放し、カラークリア塗装(ポルトガード同等品)、誘発目地@2500内外
手摺	2階開口部・スロープ内側:メッシュフェンス H=1200
柱・梁型	溶融亜鉛メッキ
転落防止	溶融亜鉛メッキ
屋内階段	スチール:溶融亜鉛メッキ 手摺スチール:溶融亜鉛メッキ
竪樋	SGP 100ϕ ルーフドレン 100 型 ドレンヒーター付 小口径雨水枡に接続し新設側溝(外溝工事)に接続
庇	アルミ製 L=2000 ステー付(アルフィン同等品)

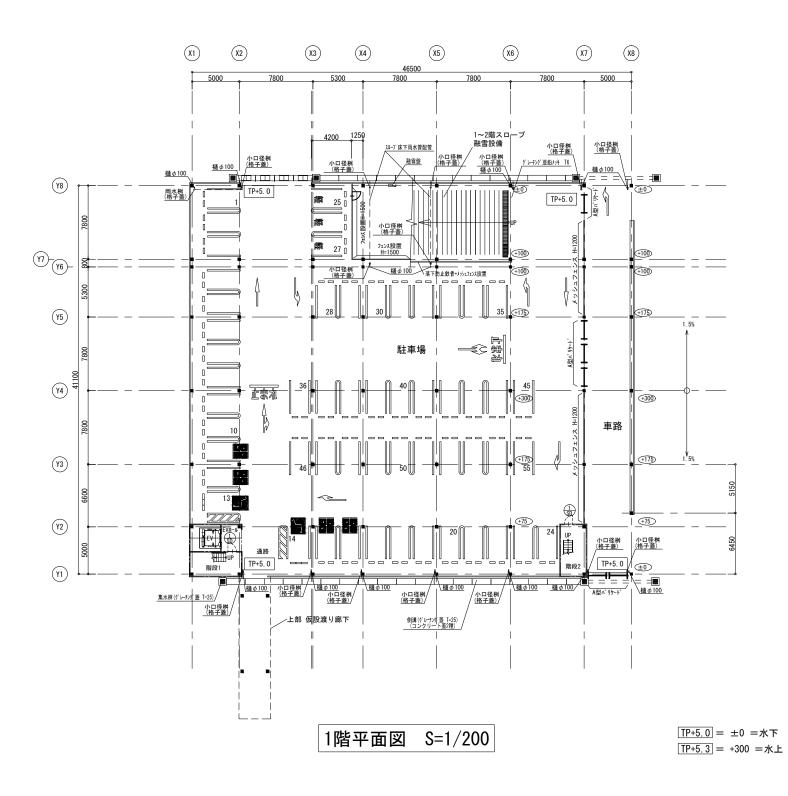
	消火設備:移動式粉末消火設備 消火器(建築工事)
	警報設備:自動火災報知設備
	避難設備:誘導標識
	昇降設備:エレベーター 1基(15人乗り) 60m/min 各階停止
	管制設備:ゲート1ヶ所(別途工事)
設備	電気設備:電灯・コンセント、ELVインターホン、防犯カメラ
	機械設備:給水設備、雨水排水設備
	融雪設備:スロープ部分(1階〜2階, 2階〜R階)、管制装置ゲート部・他(電気設備図参照)

内部仕上表

	階	室名	天井高	床	天井	壁	備考
	1階	駐車場	H=2100 以上	アスファルト舗装t=50	デッキ t = 1. 2 亜鉛メッキ	カラーガルバリウム鋼板t=0.35 角スパンドレル 縦張り	区画ライン:トラフィックペイントW=150 車止メ (コンウリート製):アンカー工法 転落防止:溶融亜鉛メッキ 柱・梁・:溶融亜鉛メッキ カ-ブミラー(アクリル製)、柱コーナーガード
	I PE	スローフ [°]	H=2300 以上	コンクリート刷毛引仕上 真空丸輪工法 ワイヤーメッシュ 100×100×6 Φ	デッキ t = 1. 2 亜鉛メッキ		転落防止:溶融亜鉛メッキ 柱・梁:溶融亜鉛メッキ
	2階	駐車場	H=2100 以上	コンクリート刷毛引仕上 ワイヤーメッシュ 100×100×6 <i>φ</i>	デッキ t = 1. 2 亜鉛メッキ	カラーガルバリウム鋼板t=0.35 角スパンドレル 縦張り	区画ライン:トラフィックペイントW=150 車止メ (コンクリート製):アンカー工法 転落防止:溶融亜鉛メッキ 柱・梁・:溶融亜鉛メッキ カープ、ミラー (アクリル製)、柱コーナーガ・ト
	R階	スローフ [°]	H=2300 以上	コンクリート刷毛引仕上 真空丸輪工法 ワイヤーメッシュ 100×100×6 φ	デッキ t = 1. 2 亜鉛メッキ		転落防止:溶融亜鉛メッキ 柱・梁:溶融亜鉛メッキ 床 EXP.J:チェッカープレートt=12、溶融亜鉛メッキ 防音用硬質ゴム
	各階	階段室 1 - 2	H=2400 以上	防塵塗装 (カラートップU同等品) コンクリート金ゴテ下地	化粧石膏ボードt=9.5 LGS下地	押出成型セメント板t=60 工場塗装 (裏側は素地)	階段: 鉄骨溶融亜鉛メッキ 柱・梁:溶融亜鉛メッキ 階段手摺:溶融亜鉛メッキ
	各階	EVホール	H=2400 以上	防塵塗装 (カラートップU同等品) コンクリート金ゴテ下地	1·2階 デッキ裏表し R階 化粧石膏ボードt=9.5 LGS下地	押出成型セメント板t=60 工場塗装	階数表示サイン
	1階	EVシャフト	_	コンクリート金ゴテ仕上 モルタル防水 t=20	デッキ	押出成型セメント板t=60 素地	

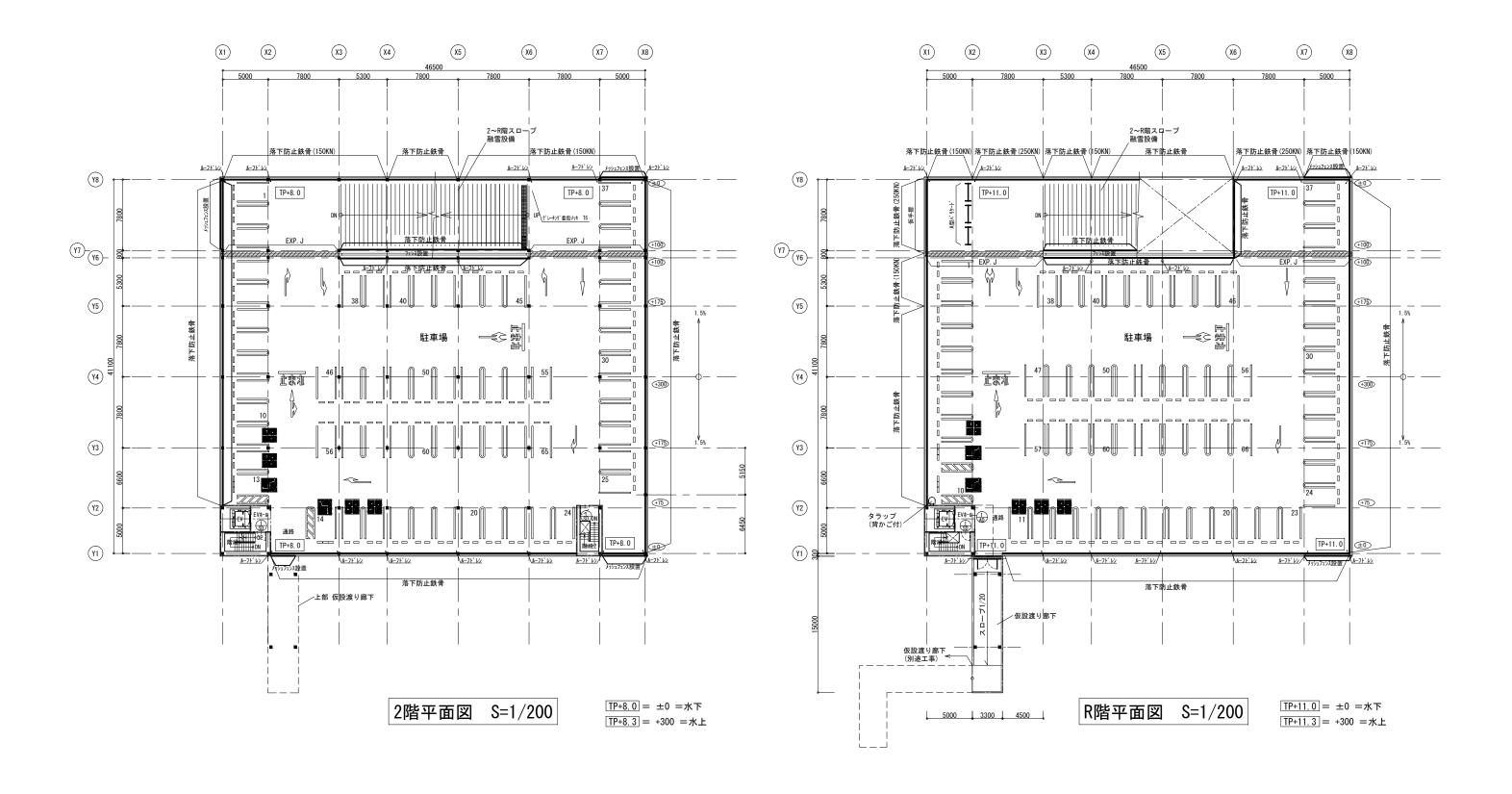
追記	打正 •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	^{件名} ナナシロの人庁的ナケトキ担待されてす		設計番号
	•		有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	──── 市立秋田総合病院立体駐車場建設		0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計		担当 川上 賢史、玄島 雄太			図面名 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	縮尺 ▲1-	図面番号
		- AEKKEI WAYAK VANDEDI		二木 重一、石井 康平			計画概要・仕上表	A3=	A-8



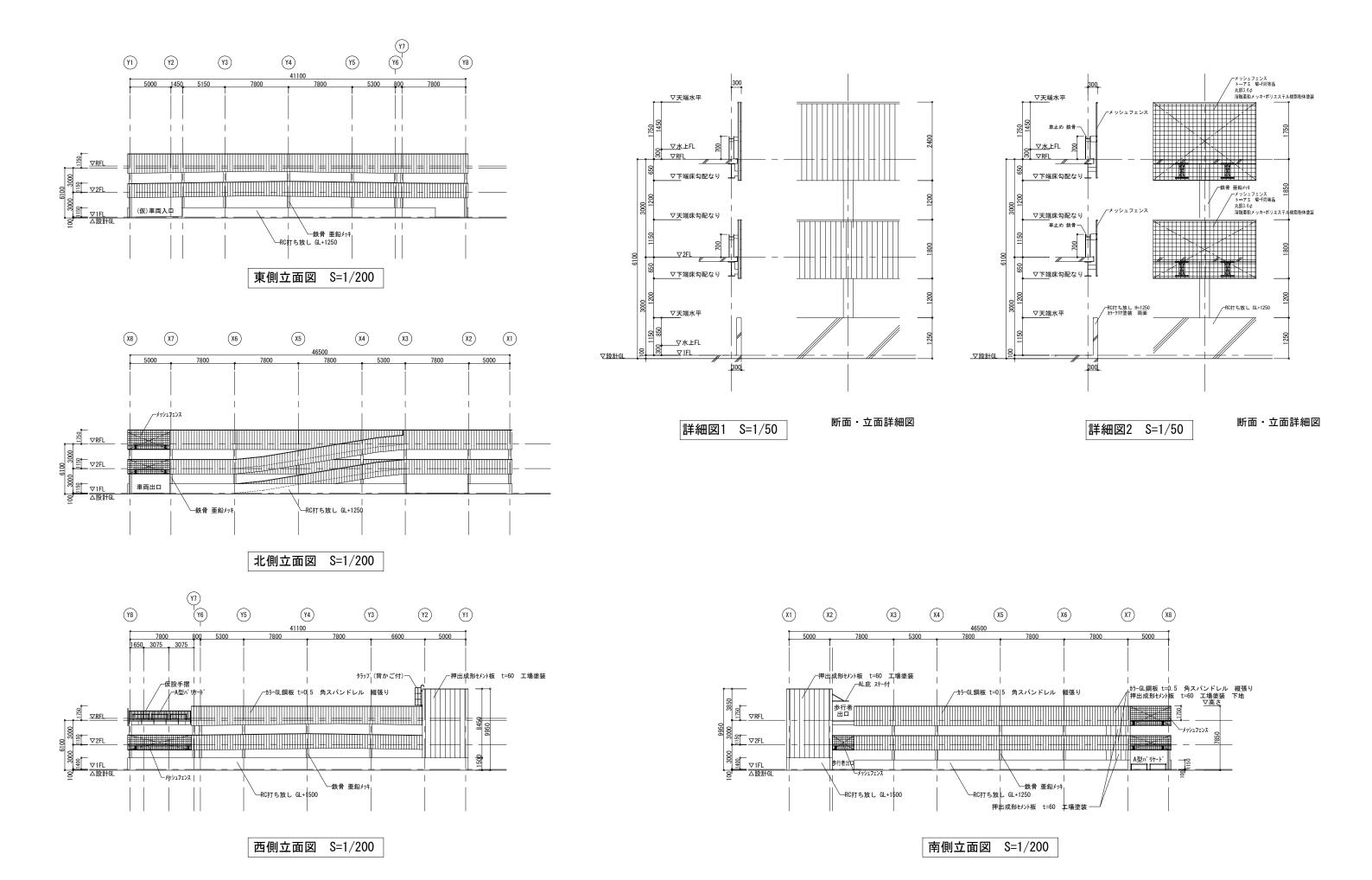


追記	訂正 •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	^{件名}	段計番号
	•				一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車	易建設工事 0180038
	· ·	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	担当 川上 賢史、玄島 雄太			図面名 17世 元 三 50	総尺 図面番号 A_Q
	•	#EKKEI 体共五位 八小口蒸口I		二木 重一、石井 康平			1階平面図	A3= 1/400 A=9

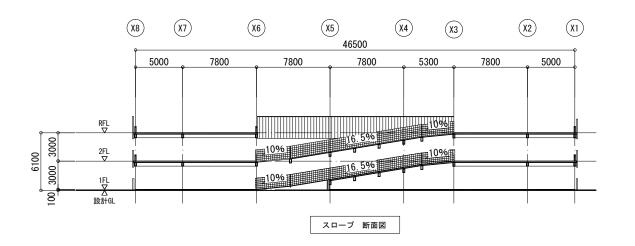


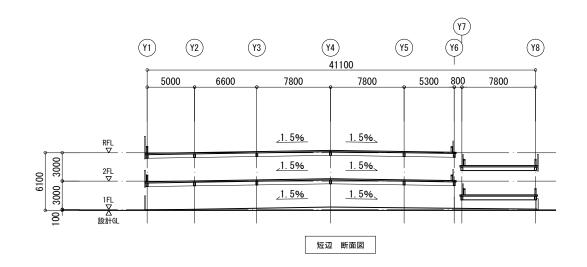


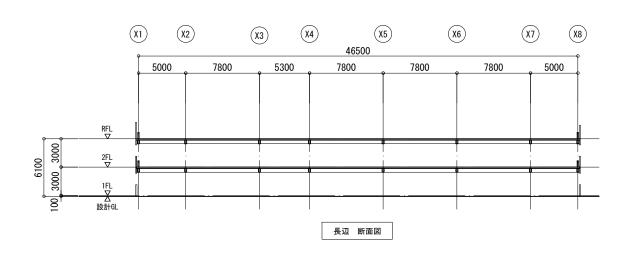
追記	訂正 •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	│ #≉ │		設計番号
	:				一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	——		0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			図面名 0 Dが比立て子 177	縮尺 Δ1= 1/20€	図面番号 4 10
		- 集員以及日 「本本本本」 > > 1 > 日本日		二木 重一、石井 康平			2·R階平面図	A3= 1/400	A-10



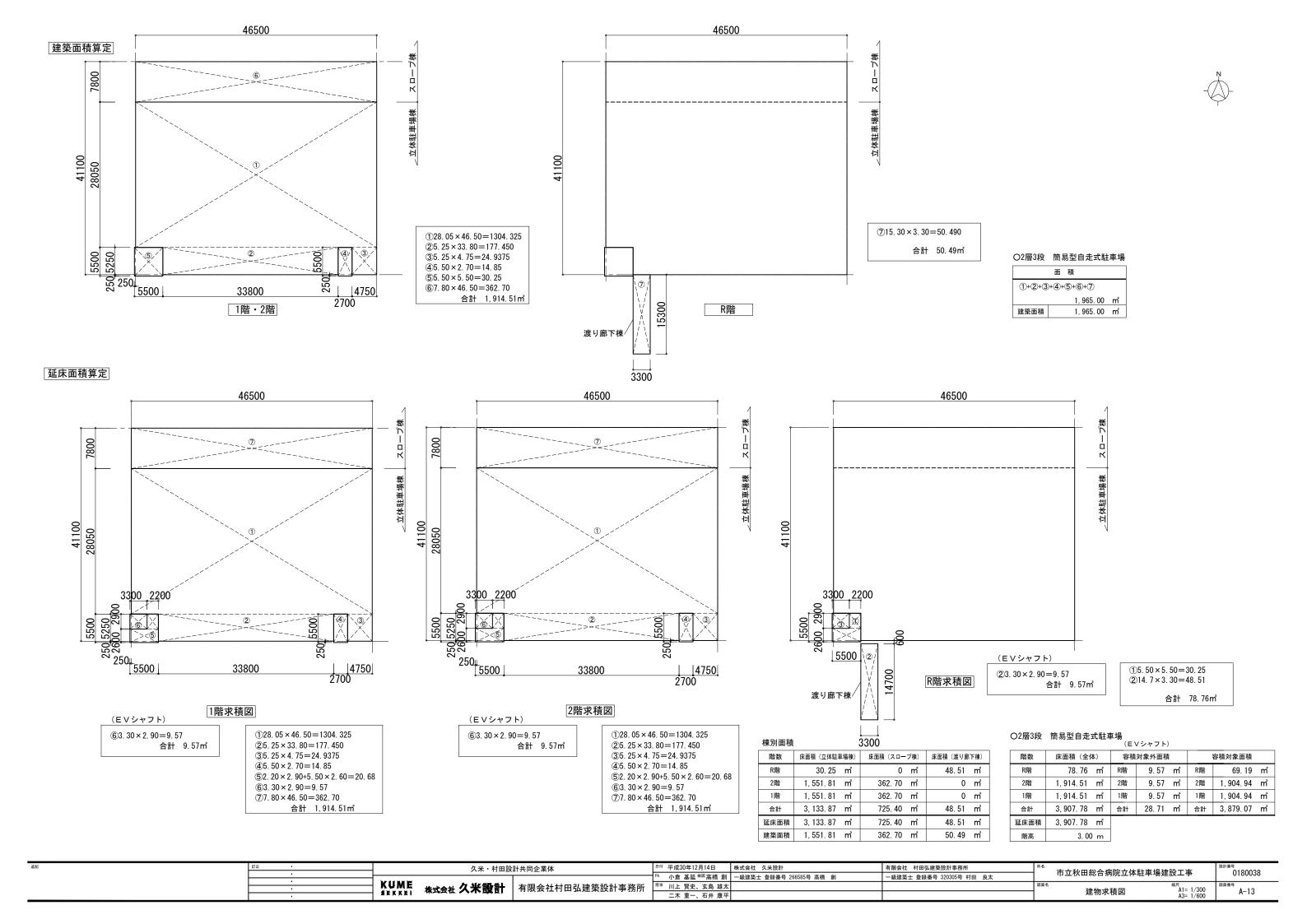
追忆	訂正	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	^{件名}	☆=□-丁-古 2100	設計番号
	•	N	PA	PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場	建設工事 0180	0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計		担当 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	総尺 A1= 1/200 A3= 1/400 図面番号 A-11	
		★EKKE! 体内五位 /1/10篇日!		二木 重一、石井 康平			立面図		(- 11



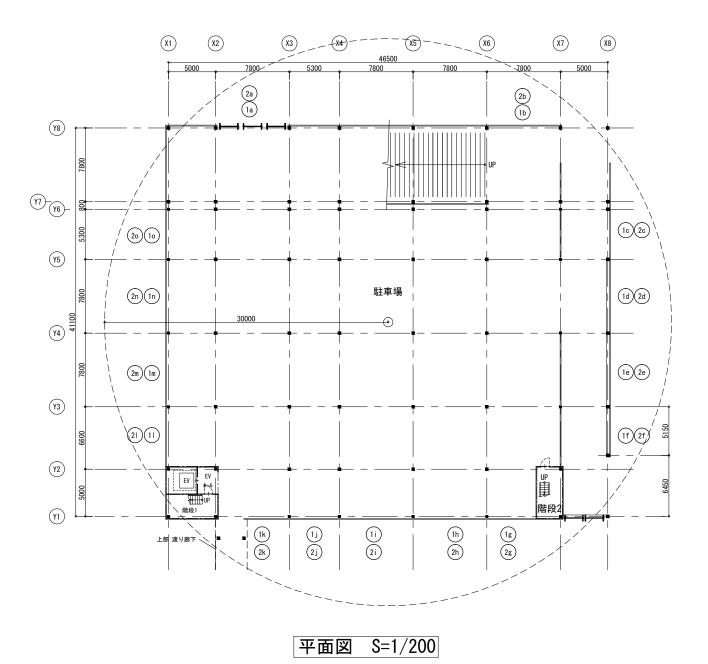


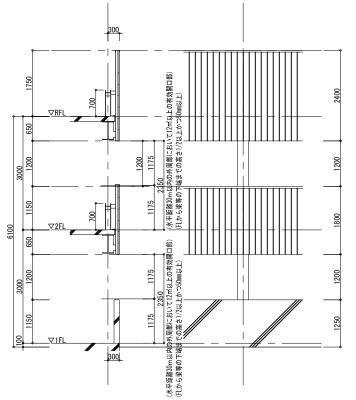


追記	₹TE •	久米・村田設計共同企業体				有限会社 村田弘建築設計事務所	──│		設計番号 0180038
	<u>.</u>	12333		PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	11 立代田秘古杨院立体就单场建設工事		0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			断面図	縮尺 A1= 1/200	図面番号
	•	果是民族是[二木 重一、石井 康平			回回区	A3= 1/400	N-12









符号	水平距離30m以内	の開口
(la)	1. 175 × 7. 50	=8.81
(1b)	1. 175 × 7. 50	=8.81
1c	1. 175×5. 00	=5.87
1d	1. 175×7. 50	=8.81
(le)	1. 175×7. 50	=8.81
(If	1. 175 × 4. 85	=5.69
(lg)	1. 175×5. 05	=5.93
(1h)	1. 175×7. 50	=8.81
(li	1. 175×7. 50	=8.81
(1j)	1. 175×5. 00	=5.87
(1k)	1. 175×7. 35	=8.63
11	0. 95 × 6. 15	=5.84
(Im)	0. 95 × 7. 50	=7. 125
(In)	0. 95 × 7. 50	=7. 125
10	0. 95 × 5. 00	=4. 750
合計	109. 690m²	

符号	水平距離30m以内の開口
(2a)	1. 175 × 7. 50 =8. 81
2b	1. 175 × 7. 50 =8. 81
2c	1. 175 × 5. 00 =5. 87
2d	1. 175×7. 50 =8. 81
2e	1. 175 × 7. 50 =8. 81
2f	1. 175 × 4. 85 =5. 69
2g	1. 175 × 5. 05 =5. 93
2h	1. 175 × 7. 50 =8. 81
2i	1. 175 × 7. 50 =8. 81
(2j)	1. 175 × 5. 00 =5. 87
2k	1. 175 × 7. 35 =8. 63
(21)	1. 175 × 6. 15 =7. 22
2m	1. 175 × 7. 50 =8. 81
2n	1. 175 × 7. 50 =8. 81
20	1. 175×5. 00 =5. 875
合計	115. 565m²

開口部詳細図 S=1/100

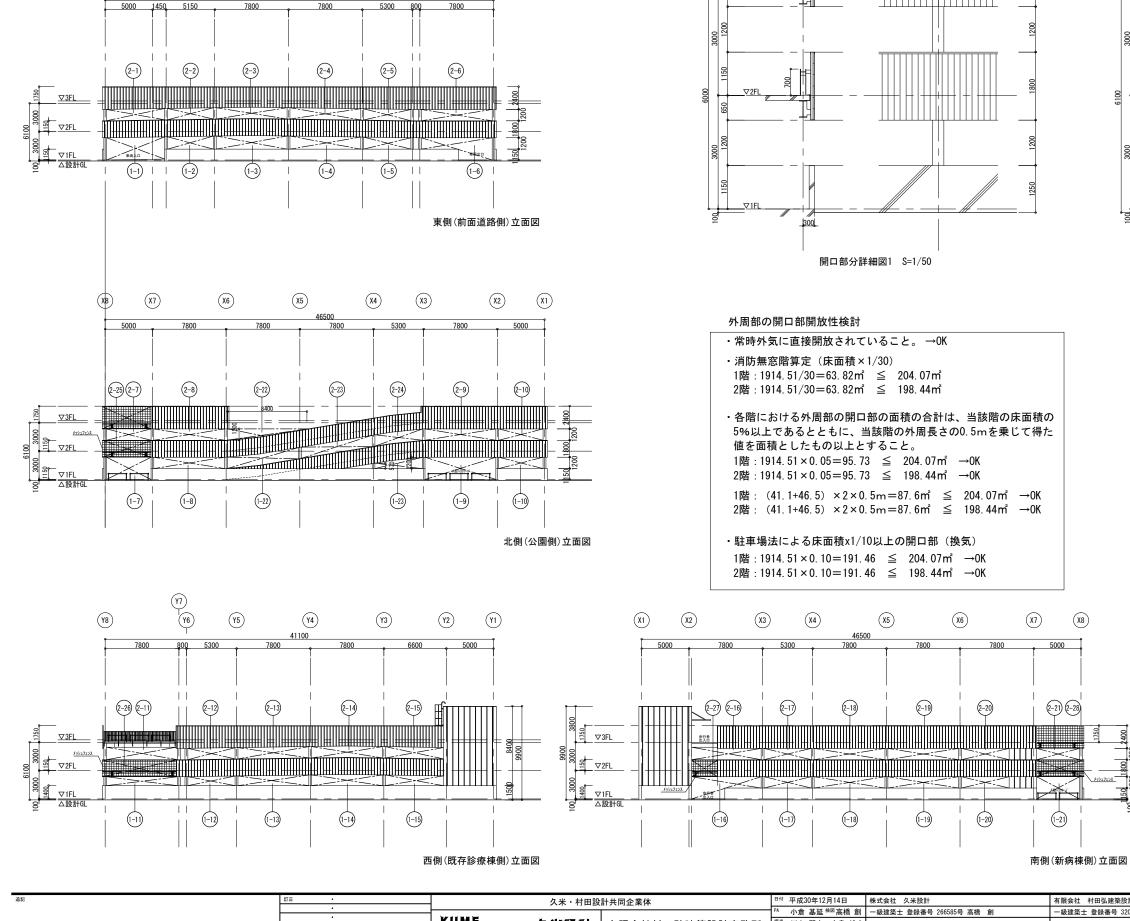
外周部の開口部開放性検討

・車室の各部分から水平距離30m以内の外周部における12m以上の有効開口部の検討 (建物中央の車室から30mの円にて記載)

1階:109.690㎡>12㎡ →0K 2階:115.565㎡>12㎡ →0K

※床面(FL)から梁等の下端までの高さ1/2以上の部分で、かつ、梁等の下端から50cm以上の高さを有する開口部に限る。

追記	NIE .	久米・村田設計共同企業体			株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	市立秋田総合病院立体駐車場建設	工事 0180038
	<u> </u>	\		PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	印立15日心日78月五年初建议-	- 0100030
	•	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			図面名 綿尺	図面番号
	•	東		二木 重一、石井 康平			法チェック表(1)	A3= 1/400 A-14



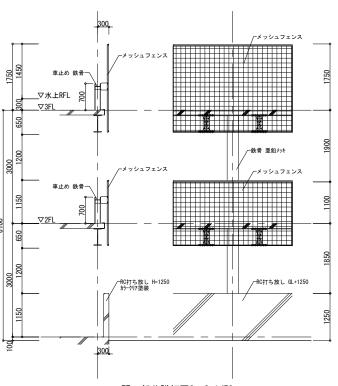
(Y8)

Y1

(Y2)

(Y3)

41100



開口部分詳細図2 S=1/50

Ė			2階
号	有効開口面積		符号
<u>-</u>)	2. 35 × 6. 15	=14.45	2-1
-2)	1. 20 × 4. 85	=5.82	2-2
3	1. 20 × 7. 50	=9.00	2-3
-1) -2 -2 -3 -3 -3 -4 -4 -5 -5 -6 -6 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	1. 20 × 7. 50	=9.00	2-4
-5)	1. 20 × 5. 00	=6.00	2-5
6	(1. 20 × 3. 95) + (2. 35 × 3. 55)	=13.08	2-6
-7)	2. 35 × 4. 70	=11.045	2-7
3	1. 20 × 7. 50	=9.00	2-8
9	2. 35 × 7. 50	=17.625	2-9
10)	1. 20 × 4. 70	=5.64	2-10
11)	0. 95 × 7. 50	=7. 125	2-11
12)	0. 95×5. 00	=4.75	2-12
13)	0. 95 × 7. 50	=7. 125	2-13
14)	0. 95 × 7. 50	=7. 125	2-14)
15)	0. 95 × 6. 15	=5.84	2-15
16)	(2. 35 × 3. 5) + (1. 2 × 3. 85)	=12.845	2-16
17)	1. 20 × 5. 00	=6.00	2-17
18)	1. 20 × 7. 50	=9.00	2-18
19	1. 20 × 7. 50	=9.00	2-19
20)	1. 20 × 5. 05	=6.06	(2-20)
21)	2. 35 × 4. 55	=10.69	(2-21)
22)	1. 20 × 7. 50	=9.00	2-22
119 122) 22) 22) 223	(0. 57+1. 20) x5. 00	=8.85	2-23
			2-24
ā†	204. 07 m²		2-25

5	(2-14)	1. 20 × 7. 50	=9.00
	2-15)	1. 20 × 6. 15	=7.38
15	2-16	(1. 32 × 2. 7) + (1. 2 × 4. 65)	=9.144
	2-17)	1. 20 × 5. 00	=6.00
	2-18)	1. 20 × 7. 50	=9.00
	2-19	1. 20 × 7. 50	=9.00
	(2-20)	1. 20 × 5. 05	=6.06
)	(2-21)	1. 20 × 4. 55	=5.46
	2-22	1. 20 × 8. 40/2	=5.04
	2-23	1. 20 × 7. 50	=9.00
	2-24)	1. 20 × 5. 00	=6.00
	2-25	1. 10×4. 70×0. 8	=4. 136
	2-26	1. 10 × 7. 35 × 0. 8	=6.468
	2-27)	1. 10×2. 70×0. 8	=2. 376
	2-28	1. 10 × 4. 55 × 0. 8	=4.004

有効開口面積

=7.38

=5.82

=9.00

=9.00

=5.64

=9.00

=5.64

=9.90

=6.00

=9.00

1.20 × 6.15

1. 20 × 4. 85

1. 20 × 7. 50

1.20×5.00

1.20×7.50

1. 20 × 4. 70

1.20 × 7.50

1. 20 × 4. 70

1.20×7.50

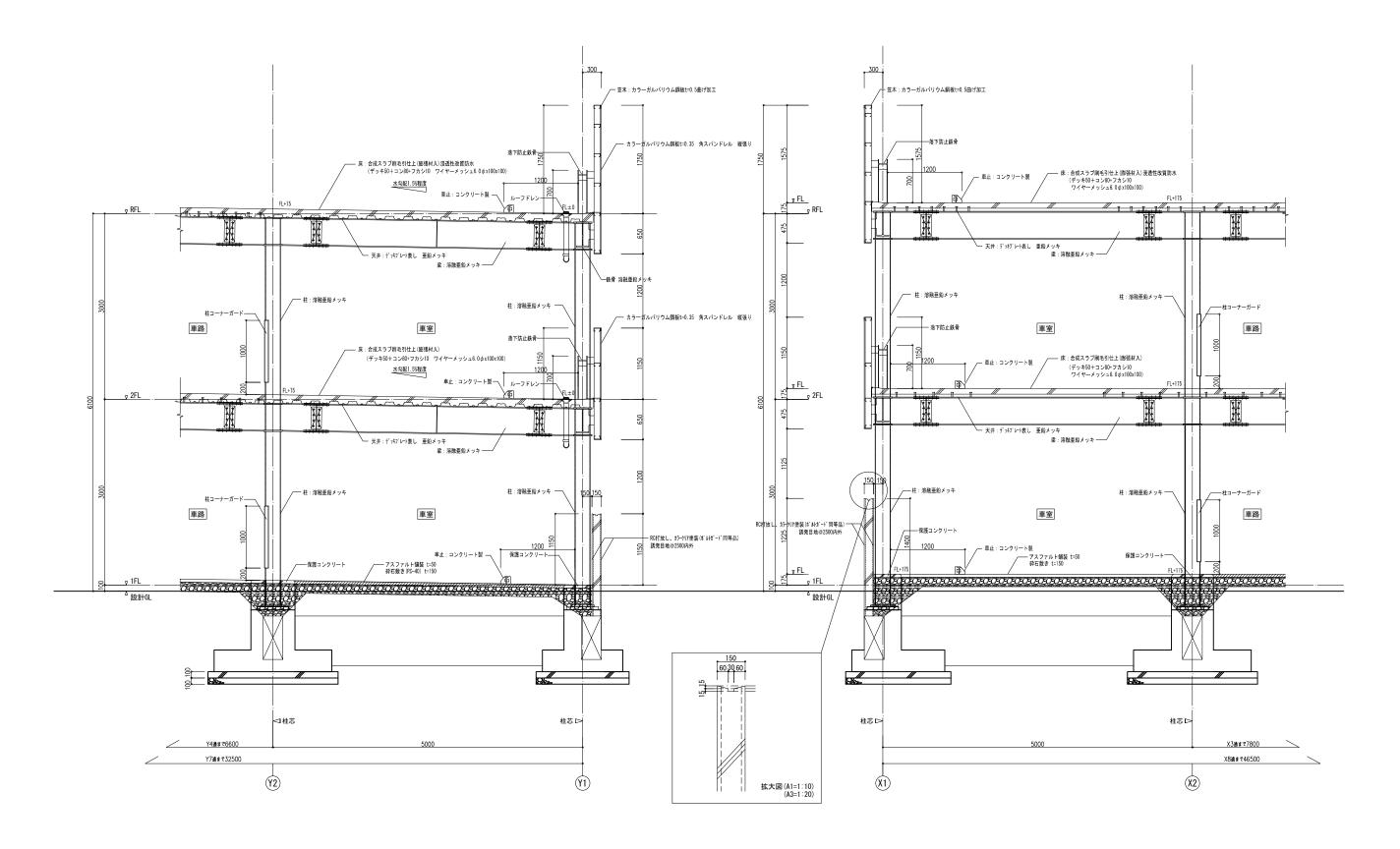
※メッシュフェンス部分は開口率80%で計算

合計 198.448㎡

追記	訂正 •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	*************************************	設計番号
	•			PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	建設工事 0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計		担当 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	縮尺 A1- 1/200 図面番号
		* TEX KEI WHATE > SINDER		二木 重一. 石井 康平			法チェック表(2)	$A_{3} = \frac{1}{200}$ A-15

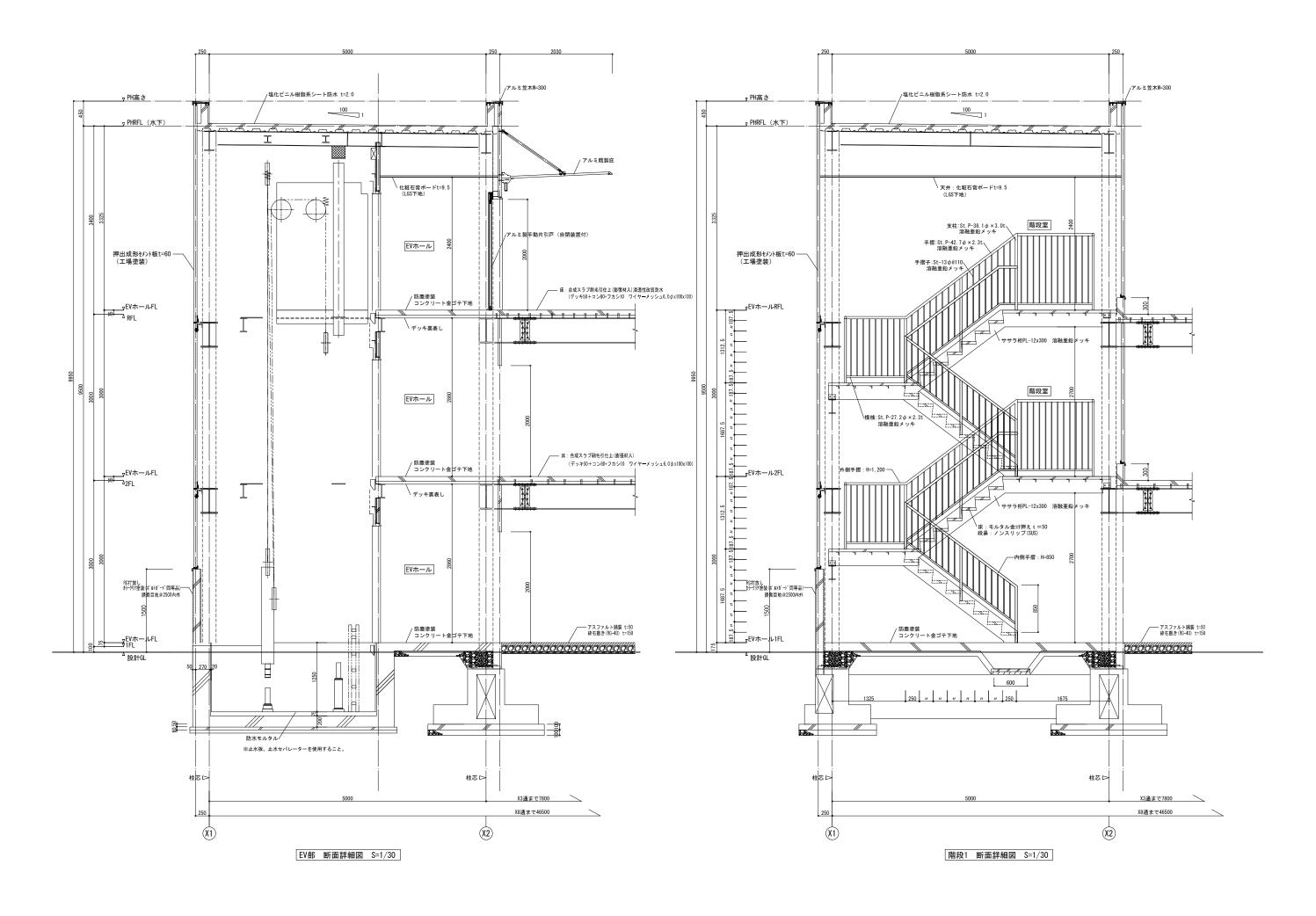
▽水上RFL &

__▽3FL

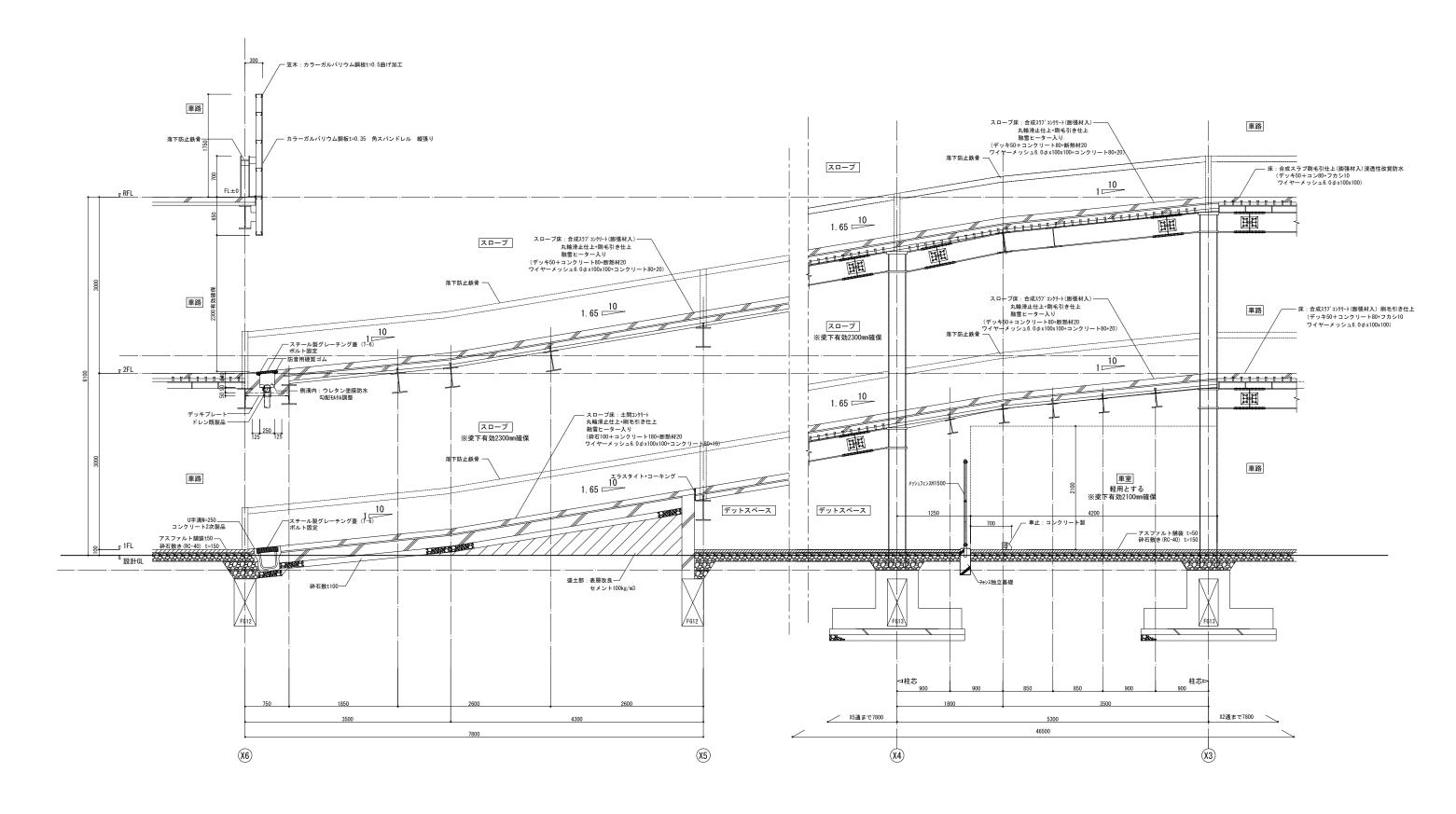


| X通り断面詳細図 S=1/30 | Y3通り断面詳細図 S=1/30 | Y3通り断面計細図 S=1/30 | Y3通り S=1/30 | Y3通り S=1/30 | Y3mu S=1/30 | Y3mu

追記	訂正 •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	一		設計番号
	•	N		PA 小倉 基延 ^{核図} 高橋 創 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創		一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太			0180038
	:	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	担当 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	縮尺 A1- 1/30	図面番号 4 1 0
	•	REKKEI WITH TO THE DESIGNATION OF THE PERSON		二木 重一、石井 康平			断面詳細図(1)	A3= 1/60	A-10

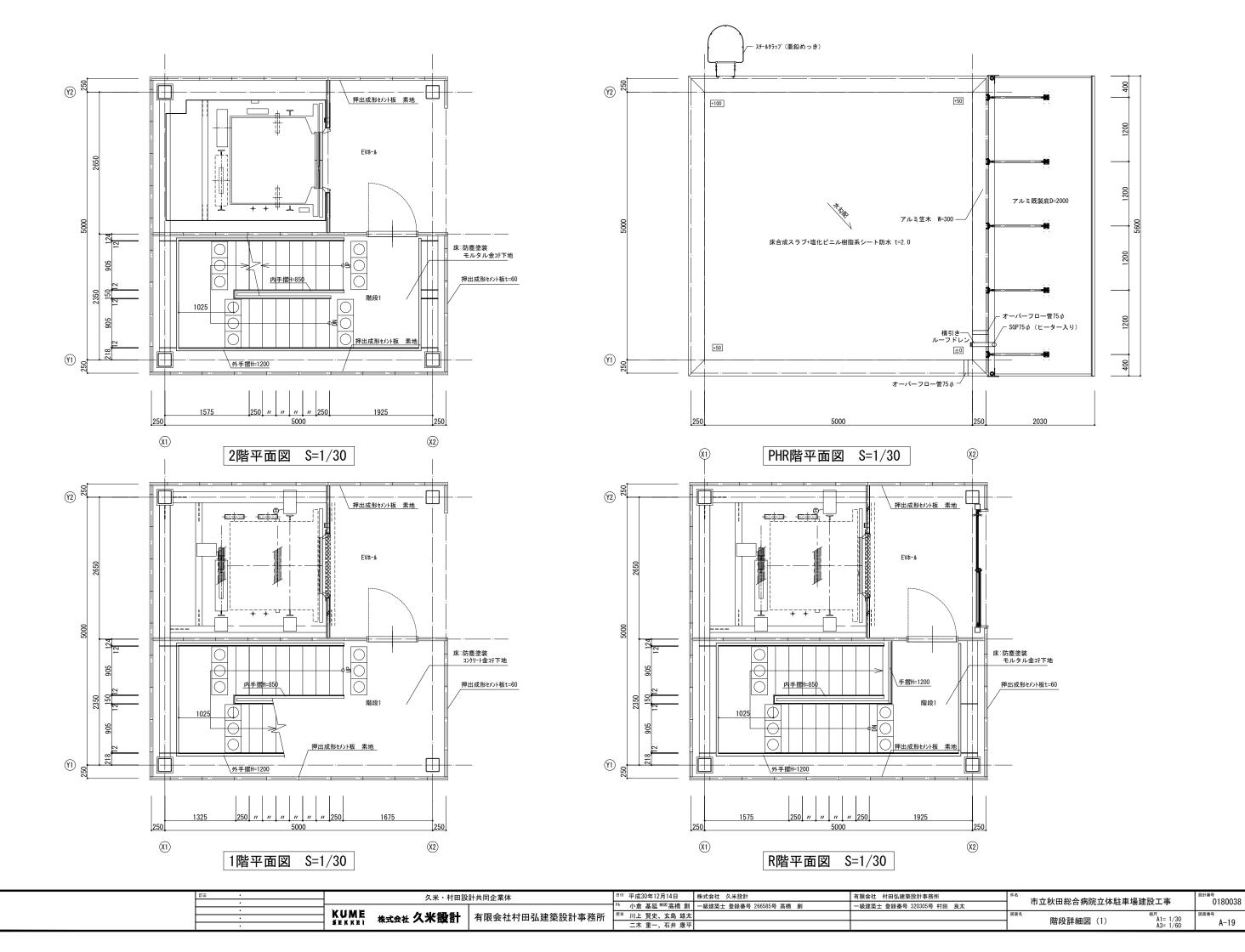


追踪	訂正 •	久米・村田設計共同企業体	^{日付} 平成30年12月14日 株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	*************************************	設計番号
	•	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計事	系所 ^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太		図面名 総尺 本言光 4m [52] (2)	図面番号 4 17
		*EKKEI MAKE ANDE	二木 重一、石井 康平		断面詳細図(2) A1= 1/30 A3= 1/60	A-17

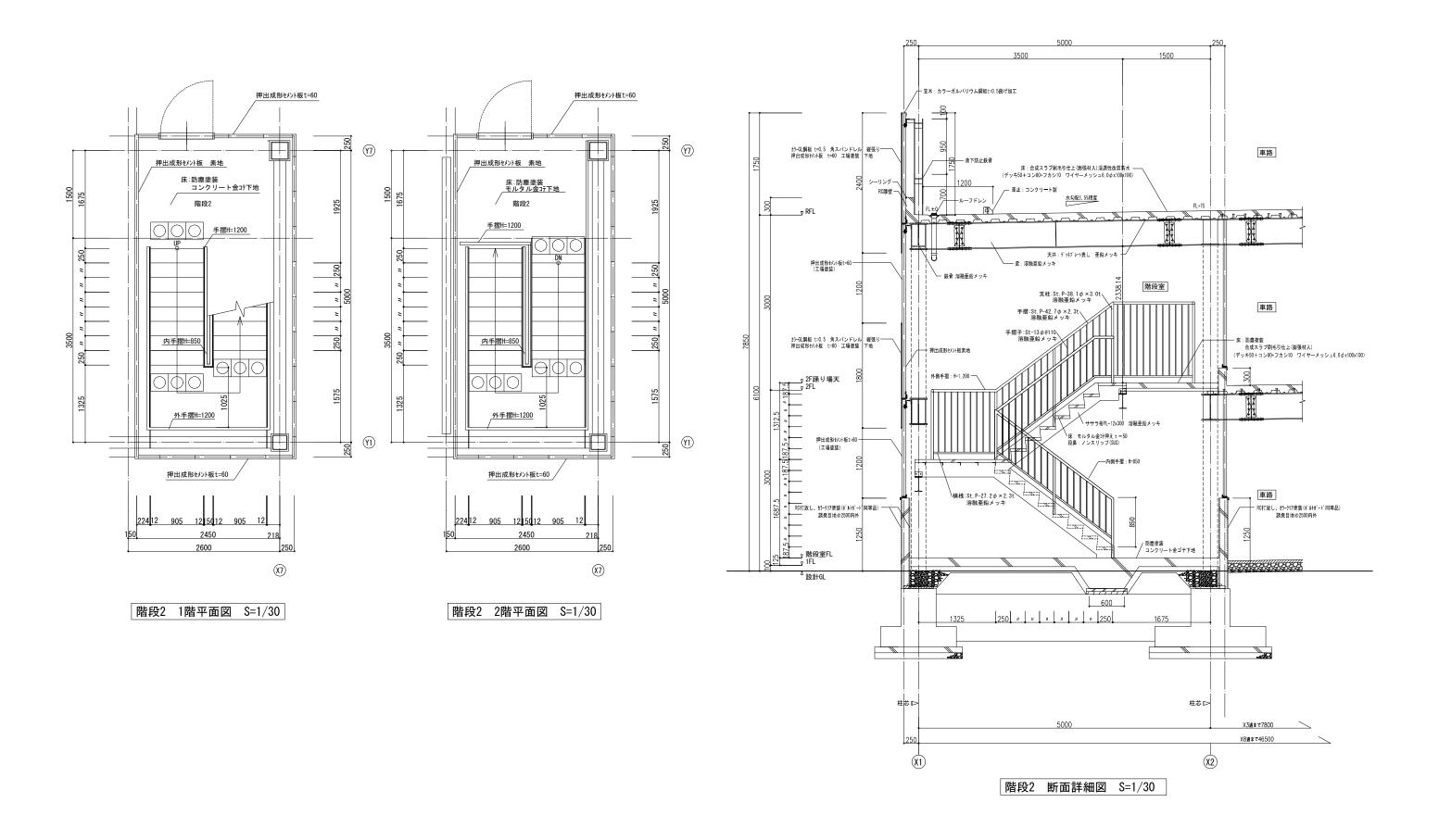


Y7通り断面詳細図 S=1/30

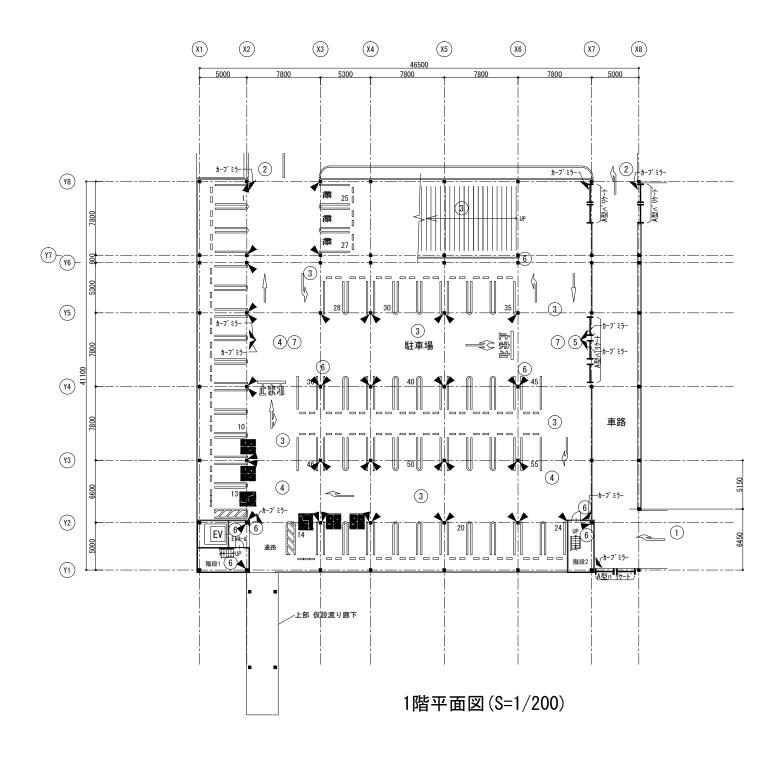
過能	8TE .	久米・村田設計共同企業体			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	有限会社 村田弘建築設計事務所			設計番号 0180038
	•	KUME #Jey 久樂設計	有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 ^{₩図} 高橋 創 ^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	図面名	4根尺	図面番号
	•	KUME 株式会社 久米設計		二木 重一、石井 康平			断面詳細図(3)	A1= 1/30 A3= 1/60	A-18



A-19



別金	打正 •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	│ ^{件8} 市立秋田総合病院立体駐車場	放計番号 0180038	
	•	N		PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	1		0100030
	KU'	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	担当 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	組尺 1/20	図面番号
	•	*EKKEI WASE AWDI		二木 重一、石井 康平			階段詳細図(2)	A3= 1/60	A-20





凡例:(別紙サイン詳細図参照)

①:1ヶ所

⑦:2ヶ所

②:2ヶ所

▲ 柱コーナーガード:46ヶ所

カーブミラー : 10ヶ所

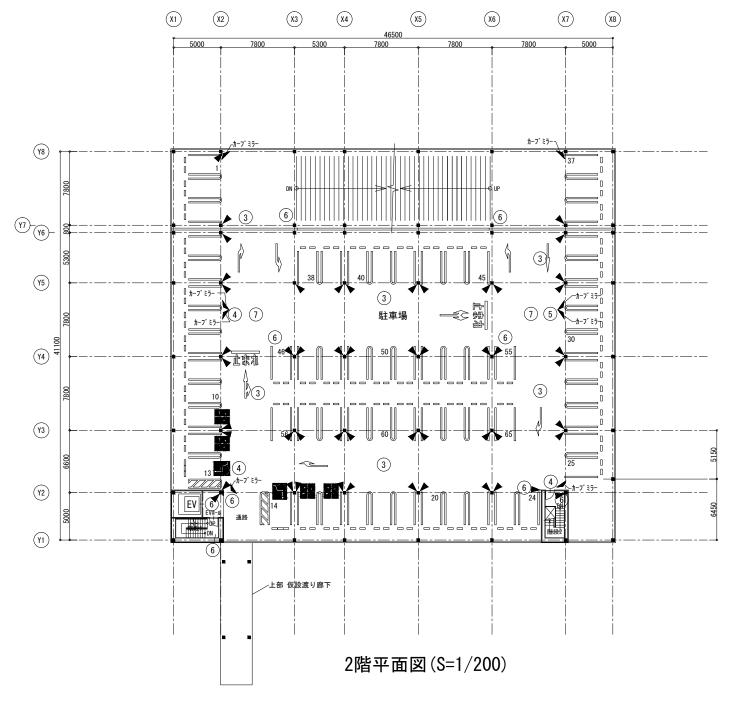
③:7ヶ所

④:3ヶ所

⑤:1ヶ所

⑥:8ヶ所

追記	NTE .				株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	# [*] 市立秋田総合病院立体駐車場建	設工事 0180038
	<u> </u>		有限会社村田弘建築設計事務所		一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	17 五 八 田 心 日 内 凡 五 体 航	X = 0100000
	•	KUME ## 女樂報計		^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			図面名 サフト・デニト・「図」(17性)	縮尺 図面番号 A 2.1
	•	#EKKEI 体共五位 入小 味口!		二木 重一、石井 康平			サインプラン図(1階)	A3= 1/400 A-21



凡例: (別紙サイン詳細図参照)

⑤:1ヶ所

③:6ヶ所

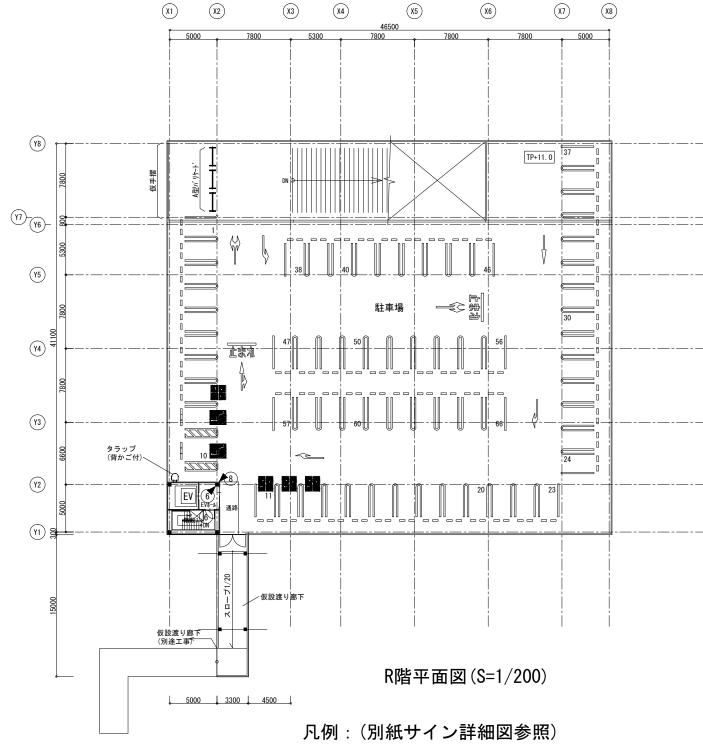
⑦:2ヶ所

④:3ヶ所

▲ 柱コーナーガード: 52ヶ所

⑥:9ヶ所

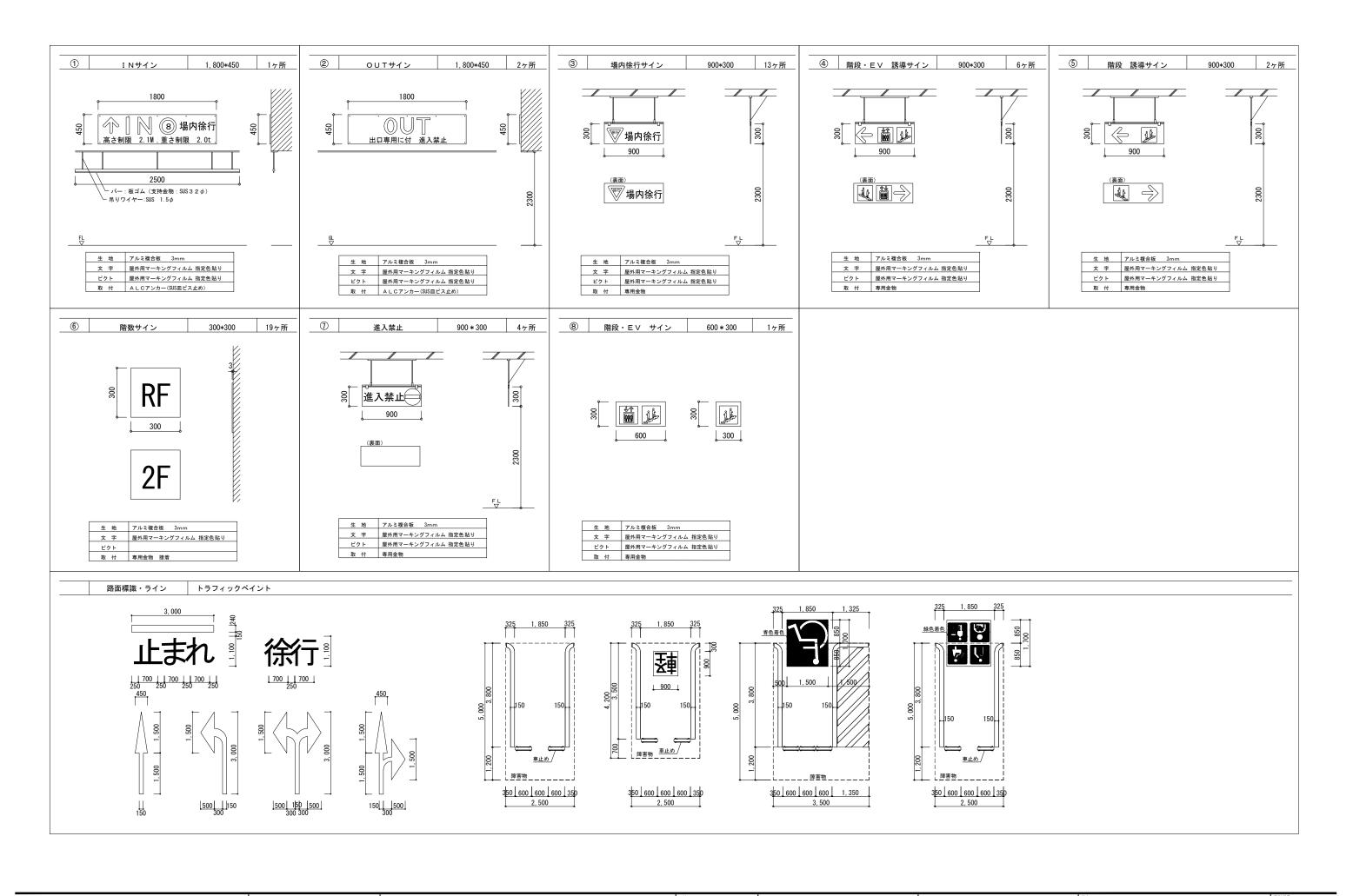
カーブミラー:8ヶ所



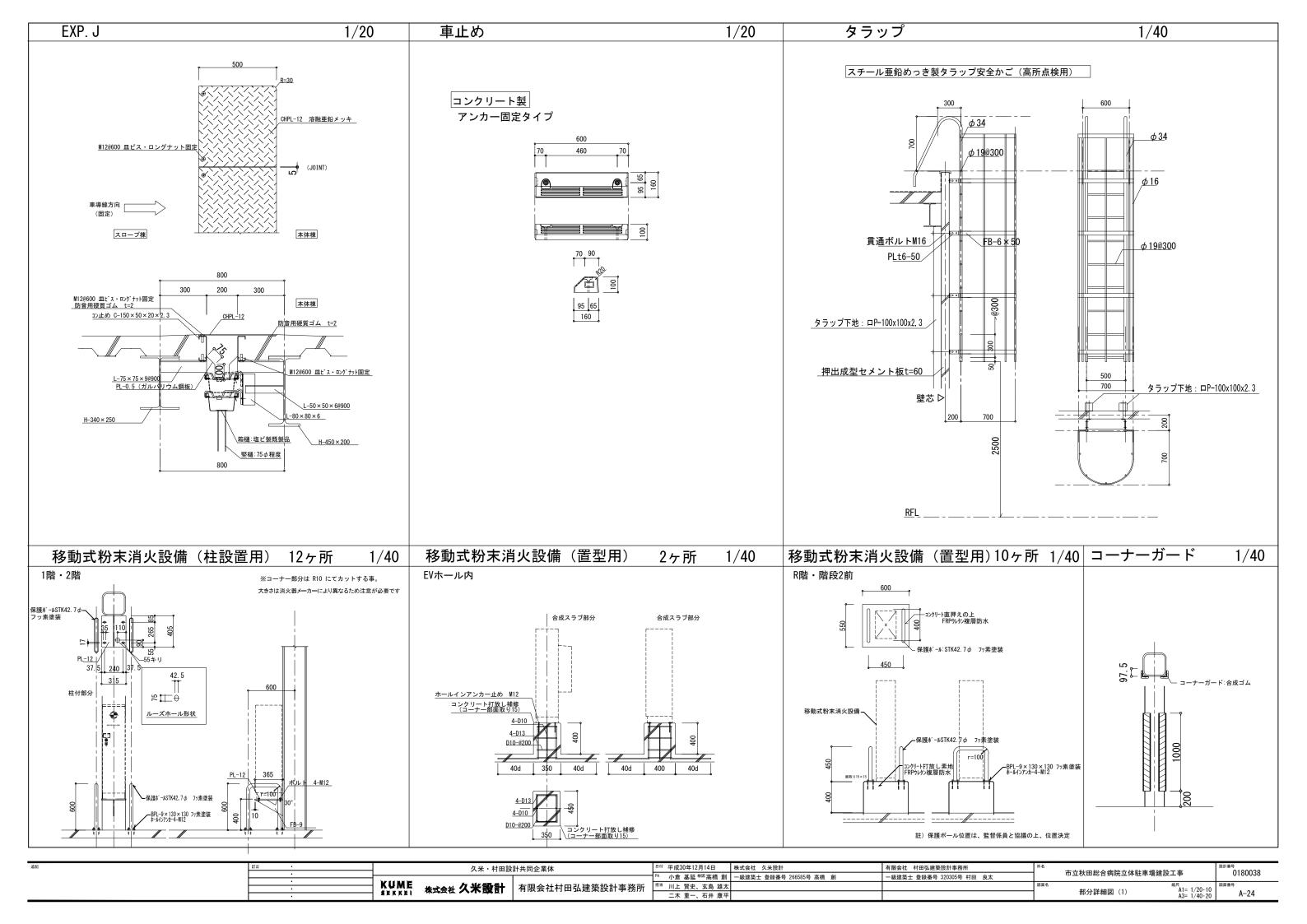
⑥:2ヶ所

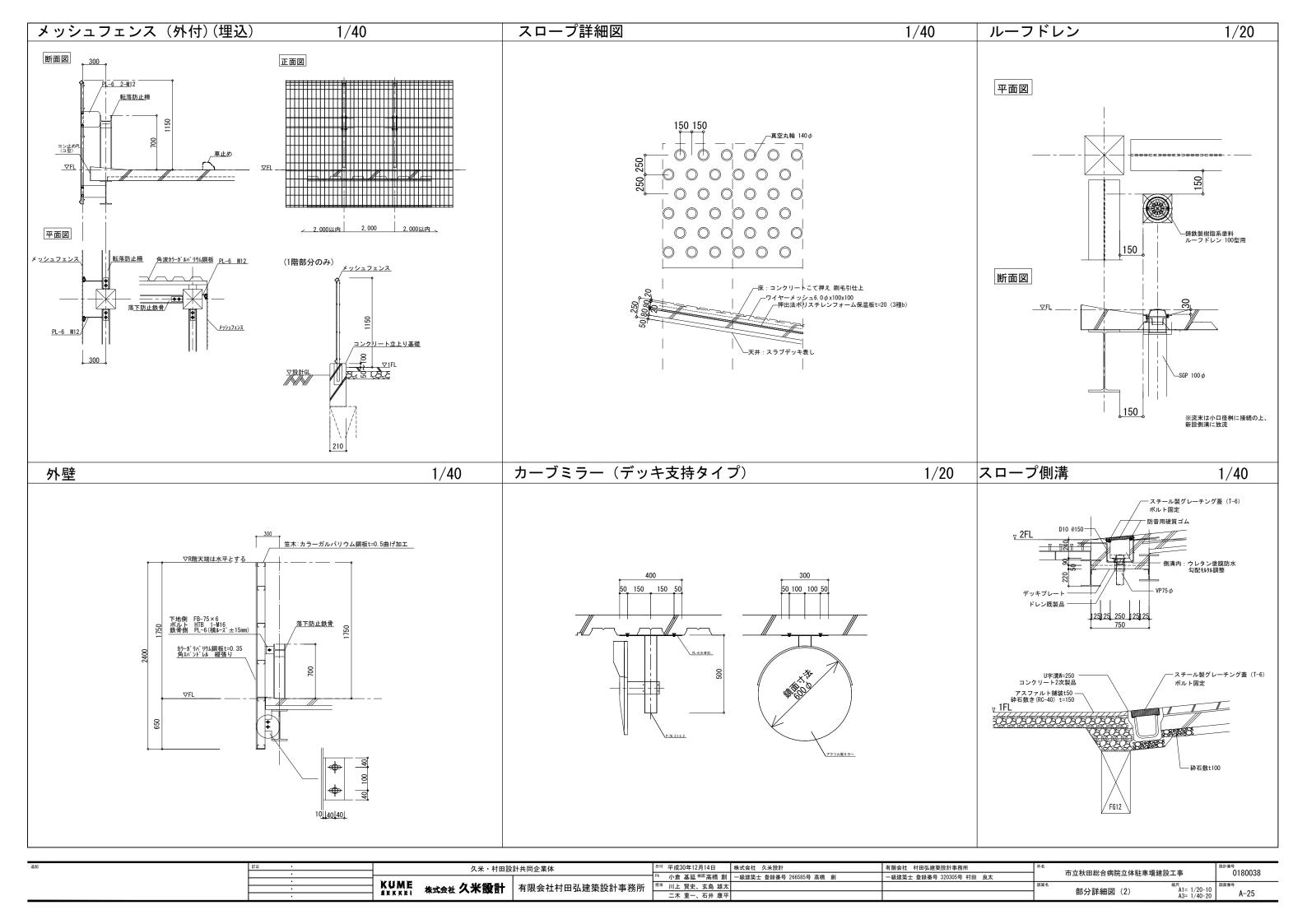
▲柱コーナーガード:2ヶ所 ⑧:1ヶ所

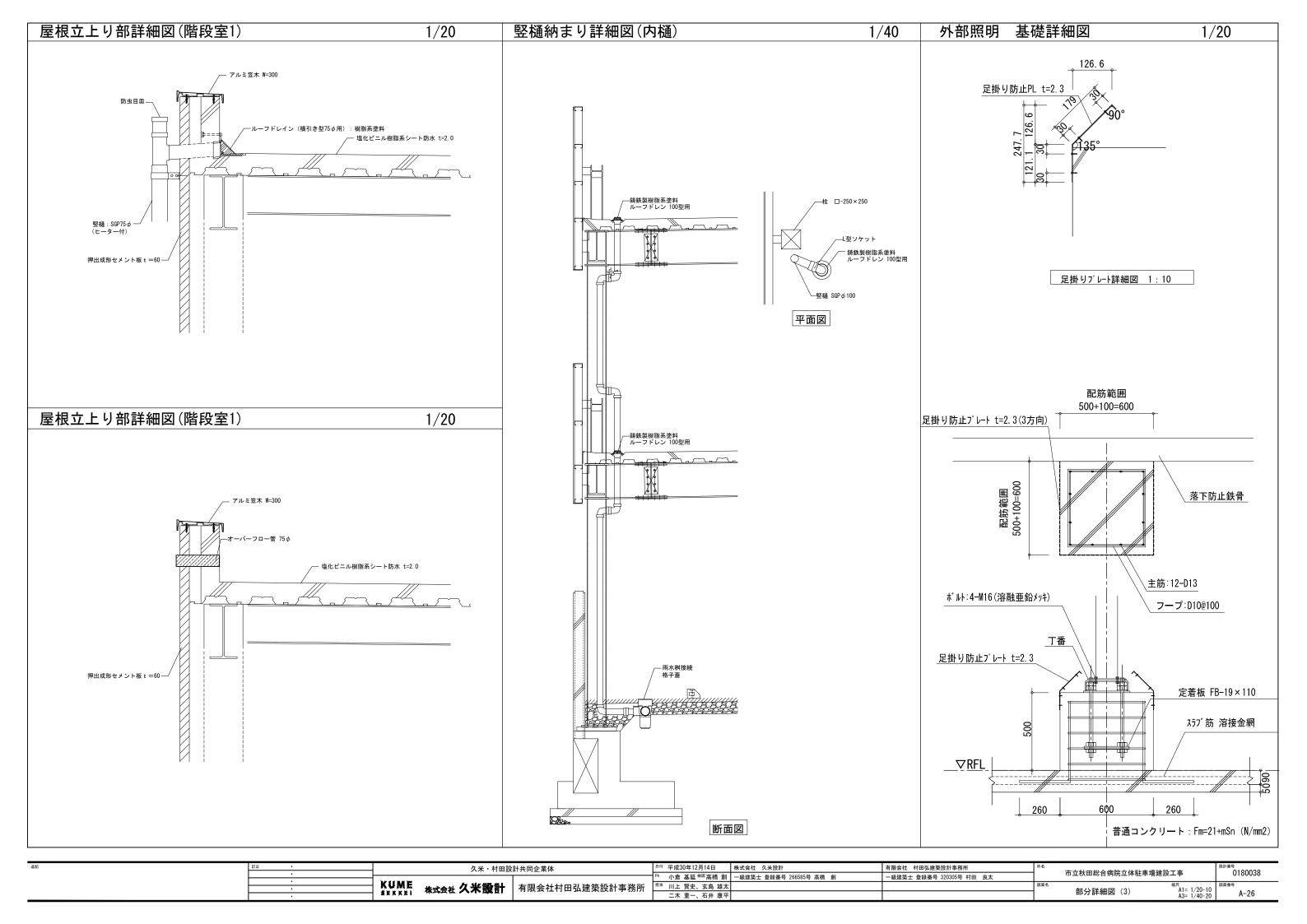


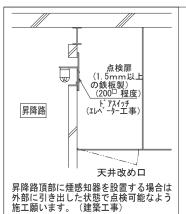


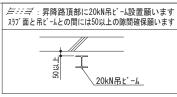
追記	ijŒ •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	│ ^{♯名} 一 市立秋田総合病院立体駐車場	旦油	^{計番号} 0180038
	•	\		PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	中立秋田総古病院立体駐車場	7建設工事	0100030
	•	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	縮尺 図面看	A 00
	•			二木 重一、石井 康平			サイン詳細図	A3= 1/50	A-23
				•	'				



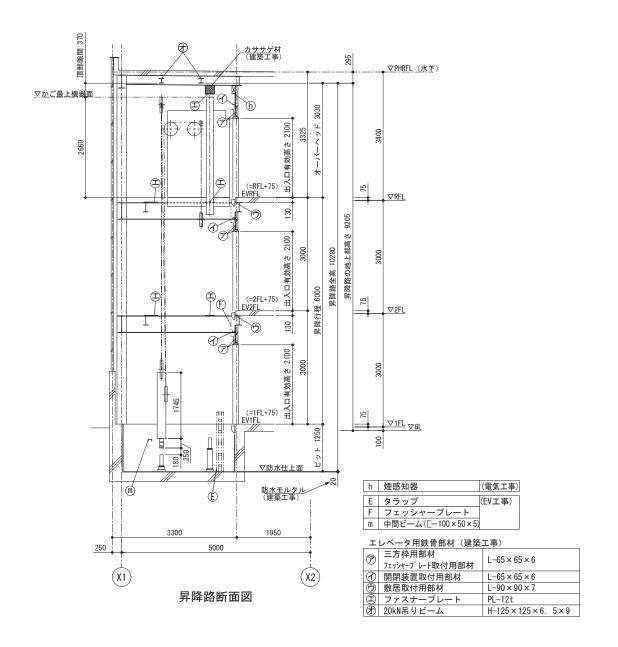








煙感知器の施工例(屋内)



仕様 一覧 エレベータ除外工事 乗用(車いす用) 建築工事関係除外工事 機械室レス インバータ制御方式(電力回生無し) . 昇降路の築造工事。 運転操作方式 乗合全自動方式 (1)カリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事) ・昇降路のコンケリート強度は 21N/mm² (FC21)以上。 ・昇降路のコンクリート壁厚は150mm 以上。 ・昇降路の壁(囲い)は、5cm²の任意の面に直角方向の外力 動力用電源 Ηz (300N)が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を 照明用電源 単相 100 V Ηz 生じない構造とする。 巻上電動機 生しない情短とする。 . 各階出入口(インジケータ、押釦用孔含む)の孔あけ工事。 . 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。 停止階及び数 1, 2, R 階 個所 個所 4. 乗場据付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上工事。 5. 屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。 (間口)1600 mm(奥行)1500 mm(高さ)2300 mm (間口) 1000 mm (高さ) 2100 2枚 両引き (電動式) (排水口・水白配・庇など) 6. ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事 出入口寸法 戸の方式 (エレベータエ事の着工前に完了のこと) 防水厚は 25mm 以下。 荷重条件 250 k g以下 7. 昇降路頂部の荷吊り用t*-4(20kN)設置工事。 8. 鉄骨構造の昇降路に於ける鉄骨材の耐火処理工事及び耐火材の飛散防止 管 地震時管制運転 ●: (P・S波) 火災時管制運転 処理工事。 9. レール支持用(ファスナープレート)の設置工事。 制停電時自動着床 10. 敷居受材設置工事。 冠水時管制運転 運 自家発時管制運転 設備工事関係除外工事 緊急地震速報連動 . エレペーター受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びに 転 長周期地震時管制運転 つなぎ込み工事。 2. 昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配 カードアポケットセンサ 光電式ドアニック 線工事。 光電式多光軸ドアセンサ ***エ争。 3. ピット点検用コンセント設置工事。 4. 昇降路頂部の煙感知器設置工事。(昇降路頂部より点検が可能な事 5. エルペータ遠隔監視用電話線(電話中継盤から監視エット設置場所ま ドアエッジセンサー で)の配管配線工事。 車いす仕様 音声案内装置 注意事項 視覚障がい者仕様(点字) . 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機 聴覚障がい者仕様 に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います (応答灯付インターホン呼びボタ また、昇降路壁にはエレバータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋 応答灯付タクタイルポタン め込まないで下さい。 2. IM - 49 電端における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2 走行お知らせ音 %以内、電圧不平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。 3. 昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えない 敷居隙間 10mm 全階 大枠 ステンレスへアライン仕上 三方枠 ようにして下さい。 4. 昇降路には有毒ガスや甚だしい塵埃等が入らないようにして下さい。 全階 全階 化粧鋼板 5. 昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けない 遮煙乗場ドア ようにして下さい。 防犯窓 ※2 6. エレバーク機器の搬入に支障のない経路を確保願います。 全階 硬質アルミ製 (必要に応じてコンウリート孔あけ、および埋戻し工事) 7. 据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願 全階 デジタル表示/押ボタン組込 全階 タクタイルボタン (発音機能付) 表示機器 押ボタン 全階 タクタイルボタン (発音版) 7ェースフ・レート 全階 ステンレスへアライン仕上 8. 工事現場におけるエレペータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願い ます。 スタンダードタイプ ステンレスへアライン仕上 基本仕様 入口柱 ステンレスへアライン仕上 最客階救出運転 戸開き不能時救出運転 慕 板 化粧鋼板 乗り過ぎ検出(警報ブザー及び音声案内) 化.粧鋼板 樹脂製(アルミ調) 各階強制停止運転 (各停運転) 幅木

かご照明の自	自動休止							
車いすん								
乗場	21. 2 1. 2 2. 2. 2. 2							
かご内室	車いす専用かご主副操作盤(インジケータ:デジタル表示)							
	背面ミラー							
	手すり							
セーフティ機能	戸開放時間の延長							
	戸閉速度の低減							
	自動着床修正装置							
	光電式多光軸ドアセンサー							

シックハウス対策(法令(建基)に基づいたシックハウス対策に対応)

昇降機耐震設計・施工指針(2016年版)対応 戸開走行保護装置(平成20年改正建築基準法施行令対応)

耐震クラス (A14)

エコロジー機能

かご天井 LED照明

7	単い9 専用来場ボダン			放送用スピーカー
室	車いす専用かご主副操作盤(インジケータ:デジタル表示)	特		22/22/11/12
_		記		故障信号 1A
	背面ミラー			監視盤用接点
	手すり	仕		
44	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	様		非常呼ボタン乱用防止カバー
能	戸開放時間の延長	130		中間ビーム(1本)
	戸閉速度の低減		監視盤	•
	自動着床修正装置	高	(1)標準対策	•
	光電式多光軸ドアセンサー	高調波	【EMIフィルタ 零相リアクトル】	【回路分類NO.31 6パルス換算係数Ki=3.4】
		対	(2)オプション対策	-
		策	【 (1) +DCリアクトル】	【回路分類No.33 6パルス換算係数Ki=1.8】

荷重条件以下に分けて積み込みください。 ※2 特定防火設備の区画では、防犯窓付の扉は設置出来ませんのでご注意下さい。 建築基準法施行令第112条第14項第二号適合

※1 4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、

t=2.0 ビニールタイル

クロスフローファン

液晶表示/操作盤組込

ステンレスへアライン仕上

タクタイルボタン (発音機能付)

32 φ ステンレスヘアライン仕上(端部亜鉛ダイカスト製)/2面

●:メンテナンス用のみ

ステンレス鏡面仕上(周囲バイブレーション仕上)

全階 乗場戸は、上記認定品とする。

換気装置

ガード保護幕 床マット

ITVカメラ

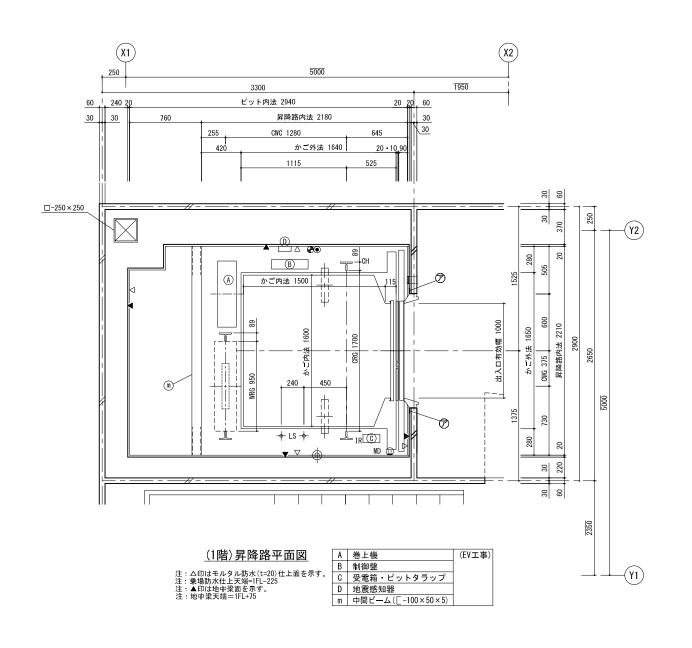
表示機器

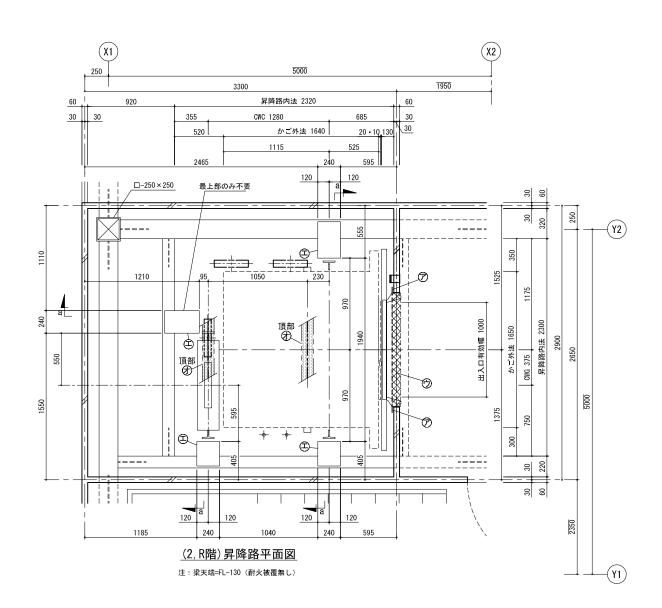
押ボタン

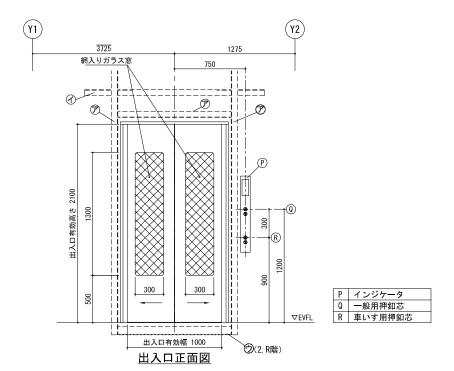
フェースプレート 手すり

認定条件通り 停電時自動着床装置と火災管制運転を合わせて設置

jáRč STIE MR · ML	久米・村田設計共同企業体	^{日付} 平成30年12月14日 株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 0180038
MR · ML		PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創 一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事 0180038
MR · ML	KUME 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計事務所	· ^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太		図画名 エレベーター詳細図 (1) 綿R A1= 1/50 図画番号 A-27
MR · ML	SEKKEI WALL YOURGE IN A SECONDARY IN	二木 重一、石井 康平		エレベーター計画図(T)



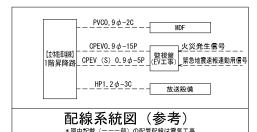


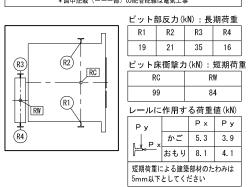


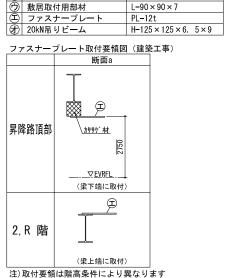


高調波対策 高開波測度流と高周波/パの影響を影減するため、できるだけ違屋側でも下記対策を お願いします。 1. 漏電遮断器等を設置する場合は「イハ・ラ対応型」とし、 感度電流値は昇降機1台あたり50mA(感度設定値100mA相当)の

- 漏洩電流として設定下さい。
 2. 昇榜機と同一電源152を使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。
 3. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・優号線は、平行に配線しないで下さい。
 かむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
- やむを得ず平行監練する場合は、「か以上離して下さい。 4. 昇降機の電源152人と弱電機器の電源152人を分離して下さい。 5. 昇降機の7-2線と3型電機器の7-2線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
- (接地極は同一で構いません。)
 6. 昇降機の昇降路や動力線の近くに対けや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。







 $L-65 \times 65 \times 6$

L-65 × 65 × 6

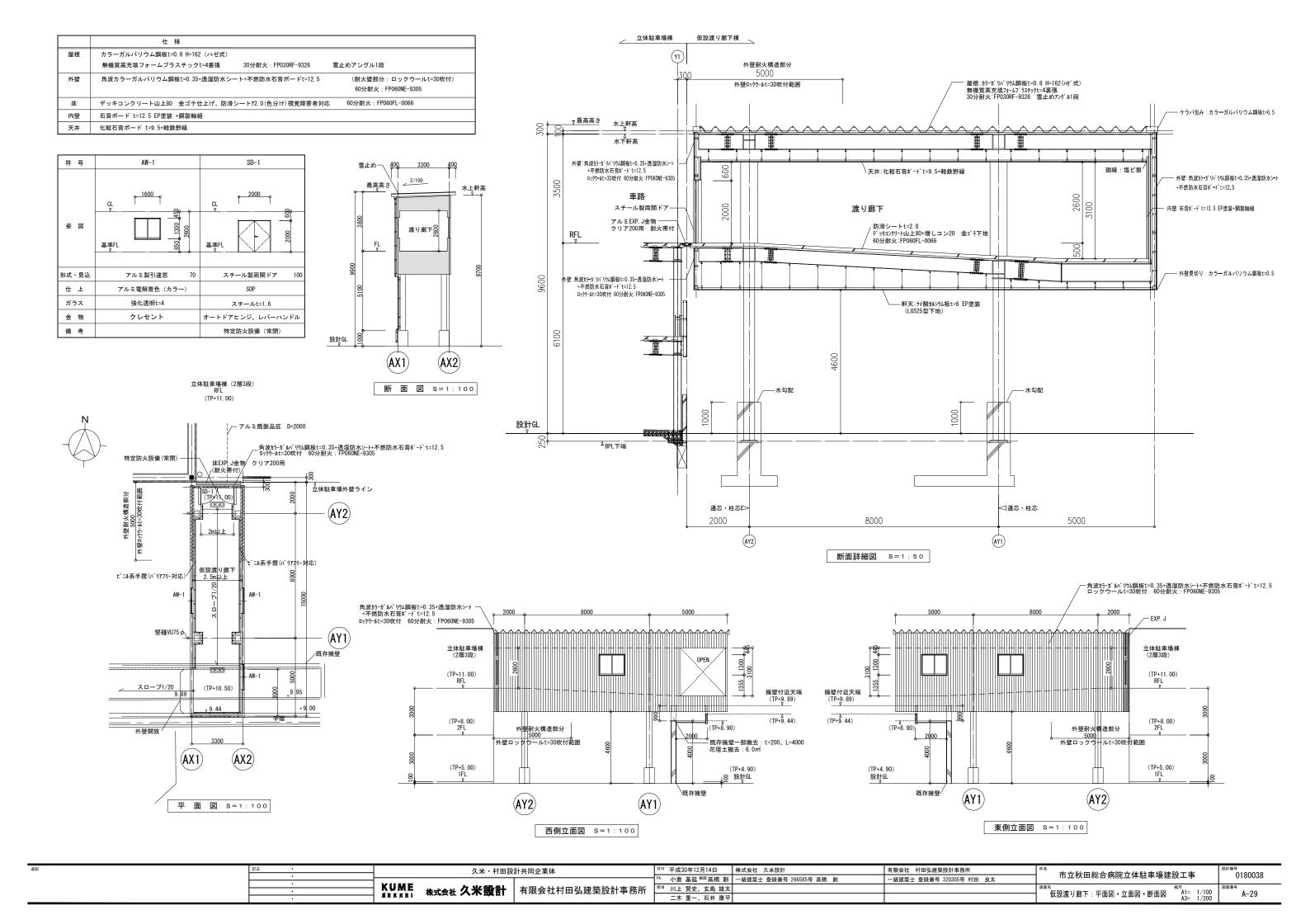
エレベータ用鉄骨部材(建築工事)

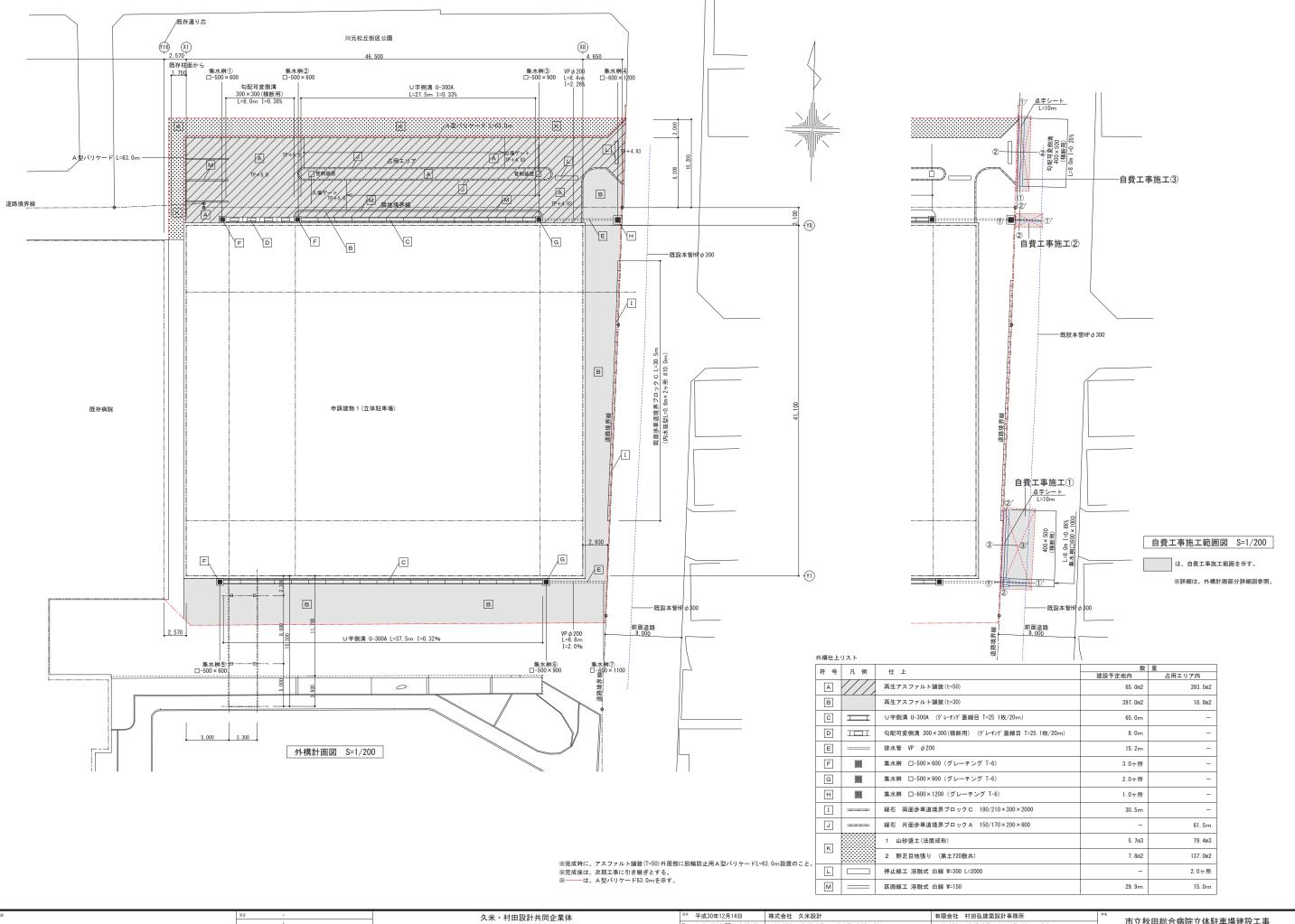
フェッシャープレート取付用部材

分 開閉装置取付用部材

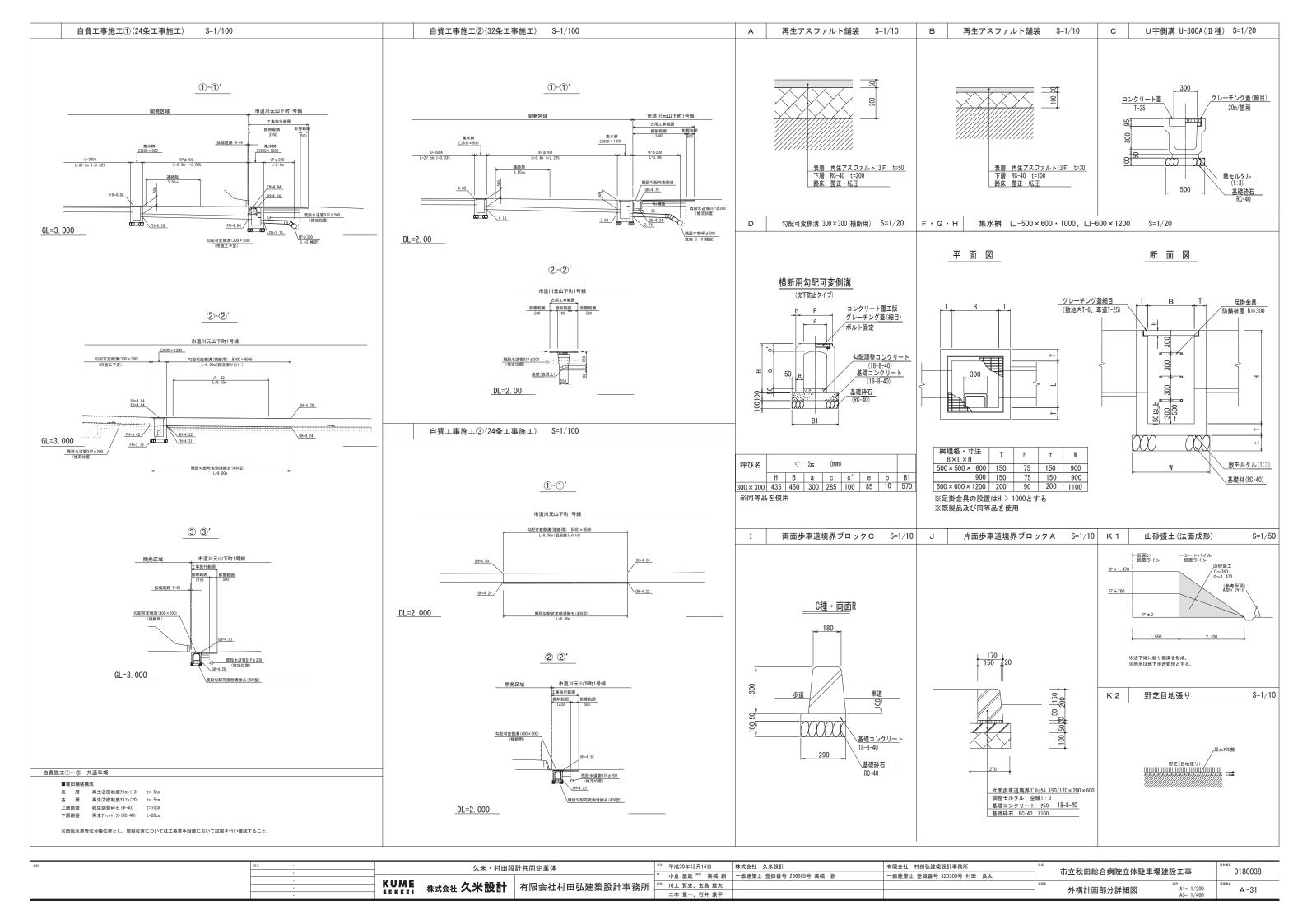
三方枠用部材

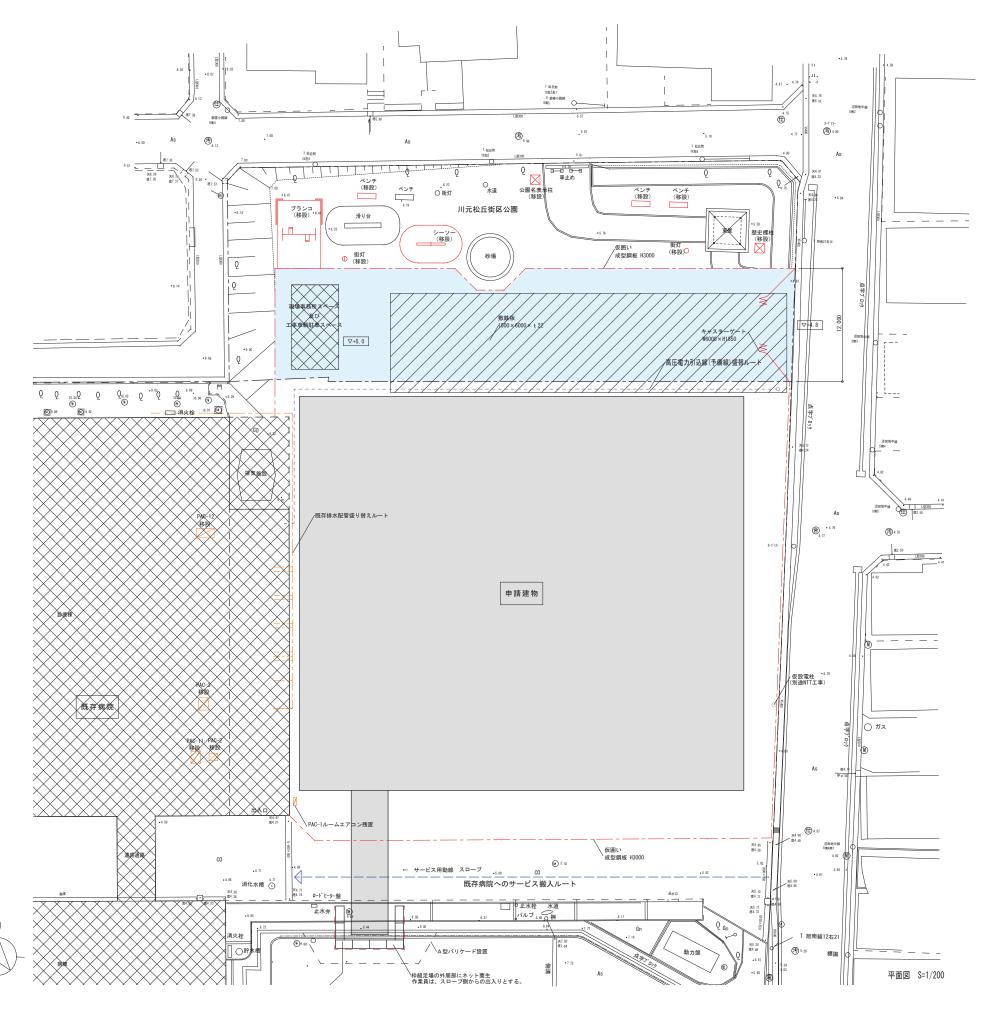
追記	訂正 •	久米・村田設計共同企業体		^{日付} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	#名 ナナバルア 40 人 ご パウナ (大下) オ 1月 7カラ	受工事 0180038
	•		■ 	PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設	(工事 0180038
	•	KUME ##A# な米設計		担当 川上 賢史、玄島 雄太			図面名 和	宿尺 1 /20 図面番号
	•	SEKKEI 休式芸在 八小 以口		二木 重一、石井 康平			エレベーター詳細図(2)	A1- 1/20 A-28





祖王	久米・村田設計共同企業体	^{Bff} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所		│ │ │ 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事		0180038
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太		川立	尹	0100030
<u> </u>	KUME 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計事務所	^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	外構計画図・仕上リスト Al=	= 1/200	図面番号 4 20
·	SEKKEI WARE NOTED IN SECONDARY TO SERVE TO SECONDARY TO S	二木 重一、石井 康平				外傳計画図・仕上リスト A3=	A3= 1/400	A-30





■特記事項

- 1. 今回工事において、川元松丘街区公園の一部を占用エリアとして利用する。 (開発許可申請において、申請及び許可済)
- 2. 工事に先立ち、別図に示す既存遊具、倉庫、車庫、既存樹木、建設発生土等を移設、 撤去及び場外搬出のうえ、工事にとりかかること。 遊具の移設先は、左記(朱書き)に示す通りとする。 移設先に支障がある場合は、監督員と協議すること。
- 処分先を特記仕様書に明示しているが、拘束するものではない。
 処分先を変更する場合、設計上の処分先と比較し安価になる場合は減額もあり得る。
- 4. 既存埋設配管の盛り替(排水管、高圧電力予備線)ルート及び既存空調室外機の移設先は本図に示す通りとする。但し、仕様については電気・機械設備図参照のこと。
- 5. 高圧電力予備線の盛り替については、立体駐車場の基礎及び外構の側溝と取り合う ことから十分な検討を行い、手戻りのないよう作業を行うこと。
- 6. 交通誘導員を出入口に配置すること。また渡り廊下の施工時にも、サービス車輌の 安全を確保するため誘導員を配置すること。 誘導員は、常時3名を配置すること。
- 7. 地下へのサービス搬入ルートは、既存病院の運営上欠かせないものであるため一日たりとも 通行止めにすることは出来ない。 そのため、仮設計画は、事前に監督員と協議を行い、十分な配慮のもと施工作業を行うこととする。
- 8. サービス搬入ルートの擁壁解体時において、外部足場を設置のうえシート養生を行い 安全を確保すること。
- 9. 上記について、支障をきたす場合は監督員と協議すること。
- 10. 現場事務所及び工事車輌の駐車スペースを敷地内に確保するが詳細については監督員 と協議すること。
- 11. 午前中、東側道路は病院利用者の車により非常に混雑するため、現場への材料搬入や 職員の出入に際し、事故等のないように安全に配慮して工事を行うこと。
- 12. 占用エリアにおいて、工事の支障となるものは、全て撤去すること。
- 13. 渡り廊下工事において、既存病院1階ロータリー部分に係る枠組足場の外周部には、シート養生を行うこと。
- 14.渡り廊下工事の作業員の出入りは、サービスヤードスロープ側からとする。
- 15. 平成32年1月から新病院本体工事が、工事着手することから、仮設計画等については、 当該工事請負業者と協議・協力の上、工事工程及び現場作業に支障ないよう工事を進めること。 互いに支障となる場合は、監督員と協議すること。。

は、占用エリアを示す。

____ は、埋設配管盛替ルートを示す。

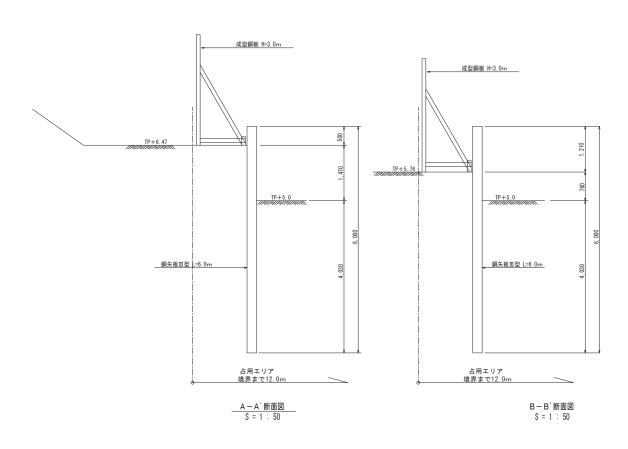
- - - - - - は、高圧電力引込線(予備線)盛替ルートを示す。盛替は、埋設配管とする。

は、空調室外機移設位置を示す。

- ・PAC-1, PAC-3, PAC-11, PAC-12は、既存棟 2 階屋上へ移設。
- PAC-1壁掛ルームエアコン室外機は、存置とする。

参考仮設リスト

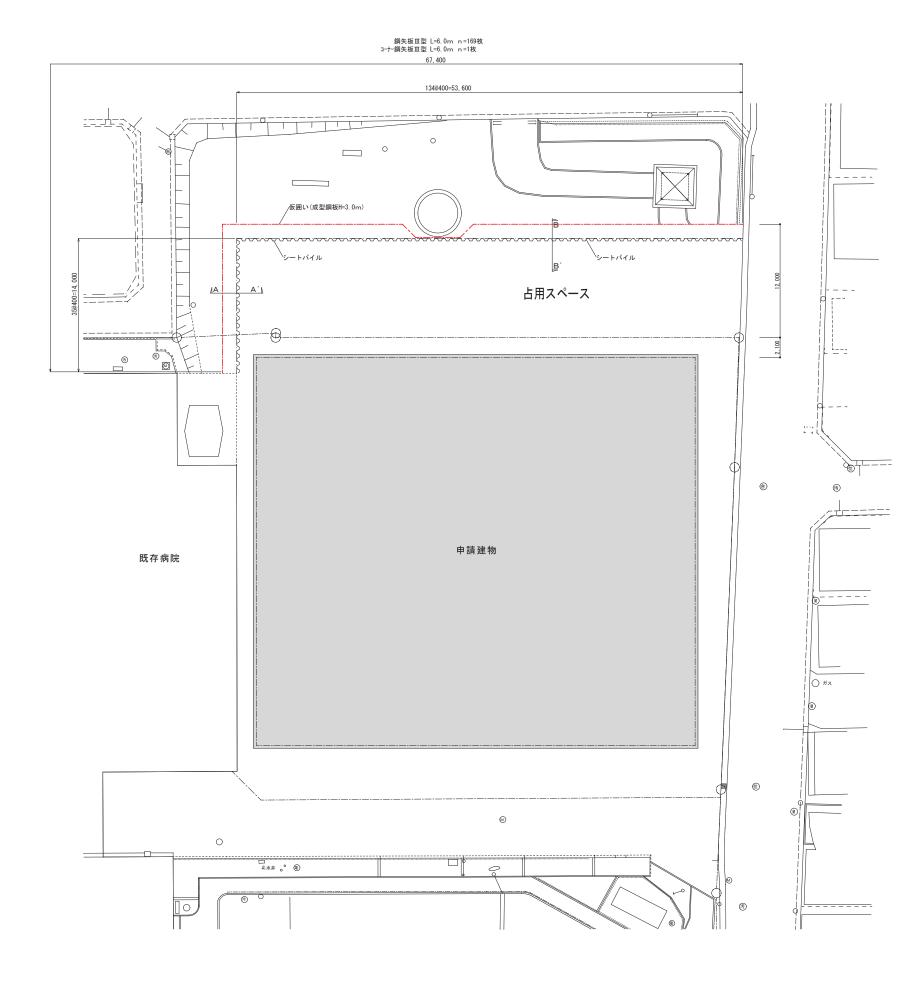
工事施設	凡例	仕 様	数量	利用期間	備考
仮囲い		成形鋼板H=3.0	182. 0m	11ヶ月	工事完了後、街区公園側の仮囲い(81.0m)は一度解体し、 山留的撤去後に再設置とする。 残りの仮囲い101.0mは工事完了後、全て撤去とする。
敷鉄板		1500 × 6000 × t22	441. 0m²	9ヶ月	工事完了後、全て撤去すること。
出入ロゲート	W	‡ャスターケ* − ト₩6000 × H1850	1.0ヶ所	11ヶ月	工事完了後、病院本体工事へ引き継ぎとすること。
シートパイル		鋼矢板Ⅲ型 L=6.0m	169枚	11ヶ月	工事完了後、全て撤去すること。
シートパイル		鋼矢板Ⅲ型 L=6.0m (コーナー)	1枚	11ヶ月	工事完了後、全て撤去すること。



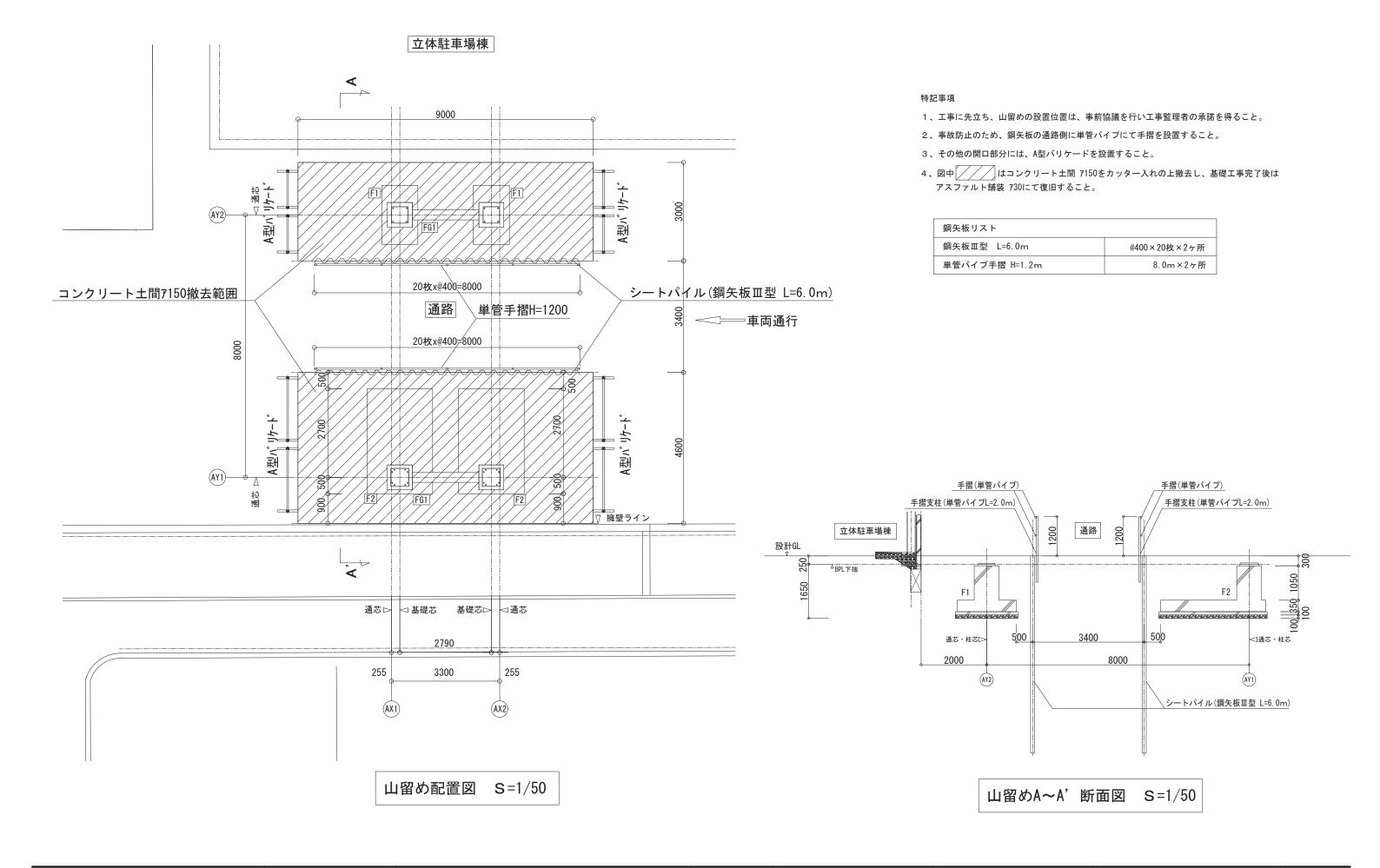
特記事項

1、工事に先立ち、山留めの設置位置は、事前協議を行い工事監理者の承諾を得ること。

鋼矢板リスト	•	
鋼矢板Ⅲ型	L=6.0m	169枚
鋼矢板Ⅲ型	L=6.0m(コーナー)	1枚



通配	ILE .	久米・村田設計共同企業体		Bff 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	***	段計番号	
	•	_		凡 小倉 基延 翔 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院 立体駐車場建設工事		0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	²⁰¹ 川上 賢史、玄島 雄太			■	組尺 ▲1= 1/200	図面番号 4 22
		SEKKEI 体式云征 八小 IXII		二木 重一、石井 康平			一参考仮設図(2)	A3= 1/400	A-33

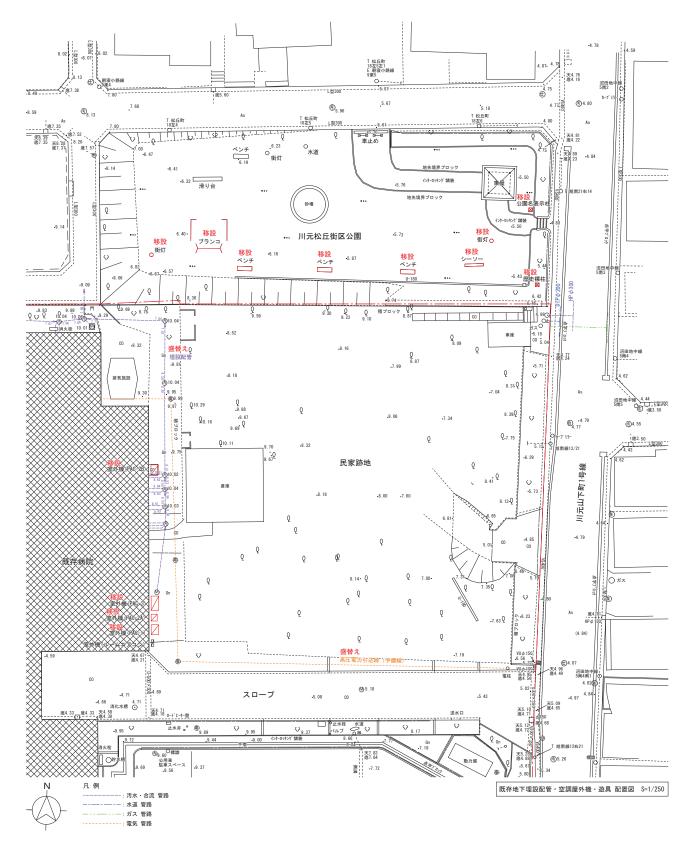


AR.	U.E.	久米・村田設計共同企業体		B# 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	***	放計番号 0100000	
	·	1	有限会社村田弘建築設計事務所	PA 小倉 基延 ^{検図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事		0180038
		KUME 株式会社 久米設計		^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			图	A1= 1/400	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
		SEKKEI WAXA > CON UNCUI		二木 重一、石井 康平			参考仮設図(A3= 1/800	A -34

正文を見る	
Commonwhite Commonwhite	
C C C C C C C C C C	
Part 1.00	
Table	
T T T T T T T T T T	
Rest	
No. 24 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
株式 1 * 1 * 1 * 1	
日本日本 1	

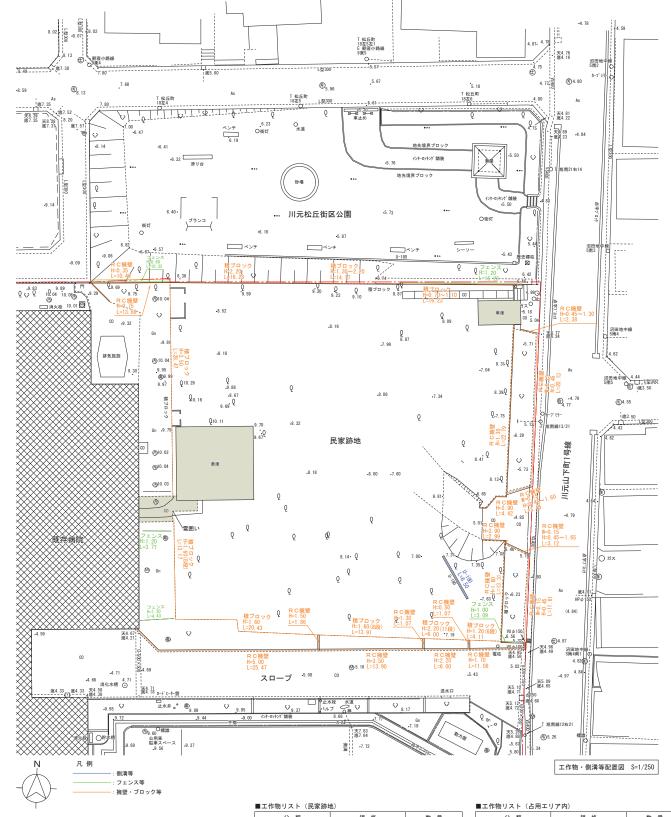
# 2 年	
□ 日本 日 日本	
日本 日 日本 日 ・ 日本 日 日 日本 日 日 日 日	
## 1 (日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
■ 2 日 (2 日 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	
の場所であまりであった。 の場所であまりであった。 の場所であまりであった。 のます である	
・	
日本の 日本	
● 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
解体工事仕様 (10-月×2人) - 配置しない 特別の開業業所は、野産員等の施定等に顕する規則(平成17年国際公安委員会規 別策の今)及び秋田県公安委員会産 のこと ・ 治療工法 ・ 一般のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一のでは、「日本の人の一の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の一の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人ので、「日本の人の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人ので、「日本の人の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の一の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の企業を受けるとした。」 ・ 「日本の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	
・設置しない	
面及び本仕権者に配載されていない事項は、国主交通名大臣官房官庁置籍整整等「建築物解体工事共通仕権者(平成 (年度) 」「建築工事交急加工技術指針」、「建設別産物適正均 推進要項」による。	
# 2 対 の 型 型 対	
銀仕権害の適用等	
特記事項は、①即のつかたものを適用する。②即のつかない場合は、※印がついたものを適用する。 ② 解体 後 の 整 地 等	
(5.5.2) 特別を導向に配数の()内表示番号は、共通世标書の当該項目、当該図面または当該表を示す。	
及び響動 標 春 ※実施する (独史回教 回) ・実施しない	
道 日 特 紀 事 道 施 年 1 (
12 事 前 調 査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
②工事にあたっては、構造物の状況や工事専場周辺の環境状況を検討した上で、騒音規制 工事の第11元をリュ、設備態度等の実施を入る大路合には、現状に復旧すること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
法、振動規制法等の関係諸法令を遵守し、必要な指置を講ずること。	
な処理を行うこと。	
特殊な建設副産物の処理	
型質員の承諾を得て適正に処分すること。	
の請負者は、監督員と随時打ち合わせを行い、工程の確認・課整及び工事の円滑な進捗を 図ること。 放田県理境保金セケー大仙市協和上淀川宇南港沢45 22 lkm 数 放田県理境保金セケー大仙市協和上淀川宇南港沢45 22 lkm 数 投 報酬 がおび 秋田市土場港租金町宇派ナシ山177 8. lkm ※別 収 ※別 収	
② 工事突結情報の登録 ※適用する (請負金額が500万円以上の場合) ・適用しない。 (1.1.4) ・数地内接存工作物、立木、電柱、電話線等 ・数地内設備位置 (絵水引き込み位置、下水料位置) 種 類 再資源化等をする施設名・住所 (xxx) の の の (SF6) ガス ・処 分	
3 工 事 写 真 工事中、元波神ともカラー写真ともカラー写真ともカラー写真ともカラー写真ともカラー写真と カラー マート (1.2.3) ・整地後レベル (mグリッド) ・整地後レベル (mグリッド) ・変光ランプ - デロタ(**57Mat) ※回 収	
分類 規格 撮影 箇所 提出節数 ・発生化学の地質質点指示するもの ※工事完成副書は電子輸品として提出すること。	
着 工 前 サービス版 ・ 解体理薬物会景 横毎 1 部 電子データは、「工事完成政事の電子輸品等要値に基づいて作成すること。	
・ 仮設物 (仮囲い、仮設便所、仮設準務所、 回 数 中間検査の時期 ・指定建設資材廃棄物 (木村) として縮減 (4.4.1(d))	
工事看板等) 第 1 回 (理由:) ・分別解体の経過状況 (作業順) 第 2 回 ・再資源化された建設廃棄物の現場での利用 (4.4.1(f))	
- 基礎解体像の最深節 - 埋戻し状況 - 埋戻し状況 - 無し	
・ 放逐、抜根状況	
- 供給設備関係の処理状況 - 完成検査時には、地中工作物施去信息のための理制機械(パックホー m3)を準備す - 2 産 東 原 東 物 ・企業権業施に延防空制度の適田 ・ 2 3 ※無	
- 公書対策状況 - 解体機械、発生材運搬車両 ② ① 仮 囲 い 仮囲い ○般ける(位置、延長等は認示) ・設けない (2.2.1) 広域認定制度の適用 「適用廃棄物種類 使 用 郁 位	
・ 発生材別分生、搬入状況及び有下し状況 仮 ・ 万能網板 (H=) ・ 振動、騒音測定状況 設 ・ 淀粉鉄板 (H=)	
完成時 サービス版 1 部 ・機能分する連接機分する連接機乗物及び最終処分場 ・機能処分する連接機乗物及び最終処分場	
機議を付用 サービス版 第 車前、完成時のダイジェスト版	
4 重気保安柱術者 ・適用する ※適用しない (1.3.3) ・バネルゲート (H= 、W=)× ヶ所	
5 施 工 条 件 関連工事による能工時期の調整 ・有 (内容:) (1.3.5) ・ヤャスターゲート (H= 、W=) × ヶ所	
○無 施工時期・時間の制限 ※指定しない ・園示による 郵位別を工順序 ※指定しない ・園示による の物 核 品 裏 斯 ・物ける ※移けない (2.3.1)	
② 監 督 貞 事 核 所 設ける ※設けない (2.3.1) 1のが程度 ・35が程度 ・55が程度 ・55が程度 ・10のが程度 ・35が程度 ・55が程度 ・10のが程度 ・4 処 理 に 注 意 す る ・処理に注意する建設廃棄物の処理 (4.5.1) 1のが程度 ・20が程度 ・35が程度 ・55が程度 ・55が表度	
現代を担当的	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
・無 ての密監官員の指示するもの (実務を認めない (常社養務疑和の要件を重ねす場合)	
(市在製品機能が実計で同にす権力)	
久米・村田設計共同企業体 株式会社 久米設計 有限会社 村田弘建築設計事務所 市立利田総会院院立体駐車提建設工事	

海经 肛底	久米・村田設計共同企業体	^{Bff} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	────────────────────────────────────	斯 0180038
<u> </u>			一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	川立	P 0180038
	【UME 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計事務所 🔤	^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			全 建築物解体工事特記仕様書 A1:	1/500 0 0 25
·	SEKKEI WALKE TOTAL	二木 重一、石井 康平			三	1/1000 A=35



■特記事項

- 1. 上記は、建設予定地現況を示す。
- . 工事に支障となる、既存病院の埋設配管・高圧電力引込線 (予備線) の盛替え、及び空調屋外機の移設を行うこと。 移設先は参考仮設図に示す位置とし、当該箇所に支障がある場合は監督員と協議すること。
- . 隣接する川元松丘街区公園の一部を占用許可を得て工事ヤードとして利用することから、図中赤書きの遊具等の 移設先は参考仮設図に示す位置とし、当該箇所に支障がある場合は監督員と協議すること。
- 4. 占用許可の範囲は、参考仮設図に示す範囲とする。



■特記事項

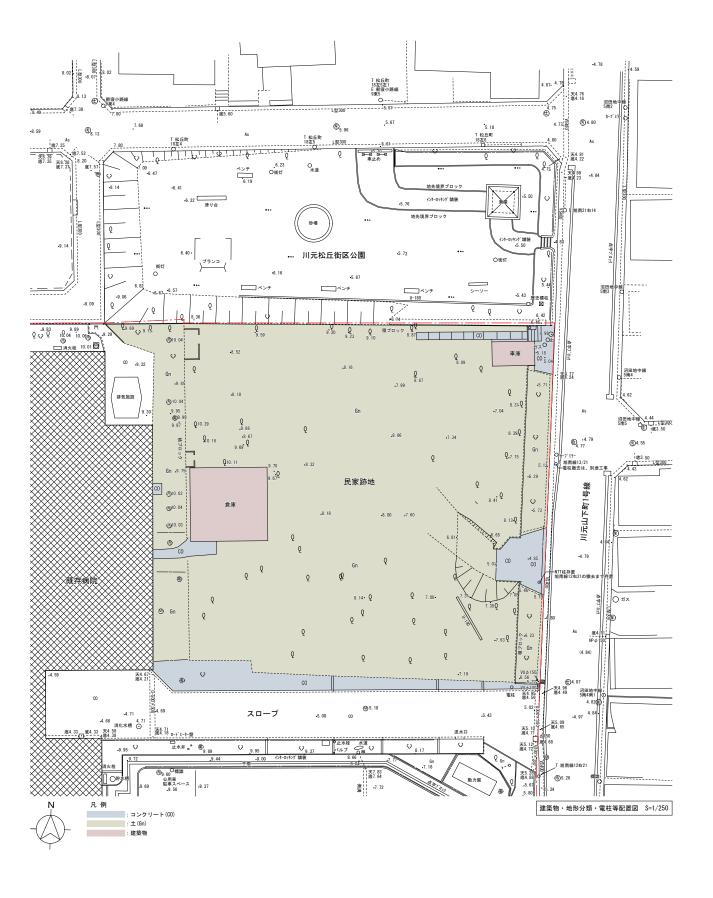
1. 上記に示す、建設予定地内の工作物及び側溝等は全て撤去すること。

2. 撤去に支障をきたす場合は、監督員と協議すること。

分 類	規格	数 量
積ブロック		191.0 m2
RC擁壁	7200	371.0 m2
フェンス	H= ∼1.00m	3.1 m
	H= 1.01~1.50m	24.4 m
コンクリートたたき		14.6 m2
コンクリート階段		2. 2 m2
U型側溝	180 × 180	6.5 m
プレファブ倉庫	10, 010 × 9, 180	1.0 棟
倉庫前雪囲い	単管組・屋根壁外心(波型)	20.0 m2
車庫	5, 400 × 3, 000	1.01 棟

U型側溝 (U-180)	180 × 180	38.00 m
集水桝	400 × 400	1.00ヶ所
間知石積み	H=600~900	20.70 m
間知石積み	H=600	14.60 m
フェンス	H=1, 000	9.50 m
インターロッキング	100×200 t=60 階段4段含む	20. 30 m2
地先境界ブロック	150 × 150 × 2000	8.40 m

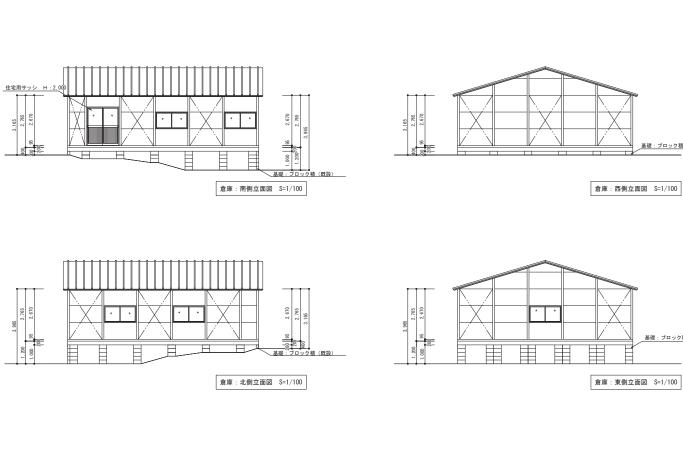
AR.	UE .	久米・村田設計共同企業体		^{B#} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	作名	土土和田外入库院主任駐車相	7井-10 一 市	段計番号					
	•	1			一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太		市立秋田総合病院立体駐車場建設工事		0180038					
		KUME _{#+ず会社} 久米設計	KUME 株式会社 久米設計 有印	《UME #式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設	KUME _{#+プーナ} 久米設計	₭說計 有限会社村田弘建築設計事務所	: ★ 久 米 設 計 有限会社村田弘建築設計事務所 ®	E 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計事務所	型 川上 賢史、玄島 雄太			図面名	既存解体撤去図(1)	総尺 ▲1= 1/250	N面番号 A 26
	•	SEKKEI WAXA > CON UNCUI	A A TO THE MERKET PRINT	二木 重一、石井 康平				成行胜体撤去凶(1)	A3= 1/500	A-30					

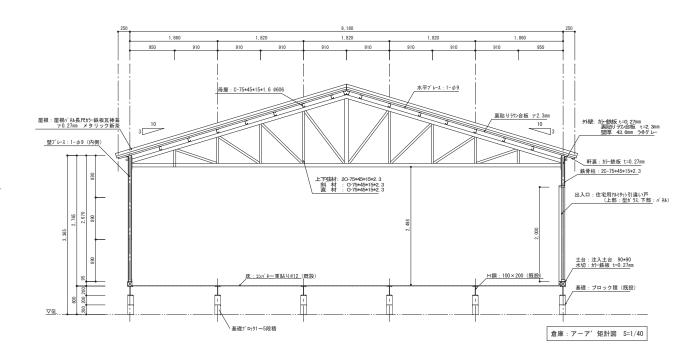


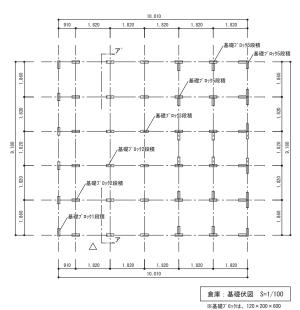
■特記事項

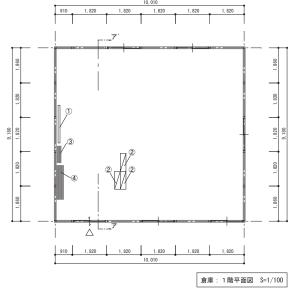
- 1. 上記に示す、建設予定地内の建築物・コンクリート土間類は全て撤去すること。
- 2. 撤去に支障をきたす場合は、監督員と協議すること。

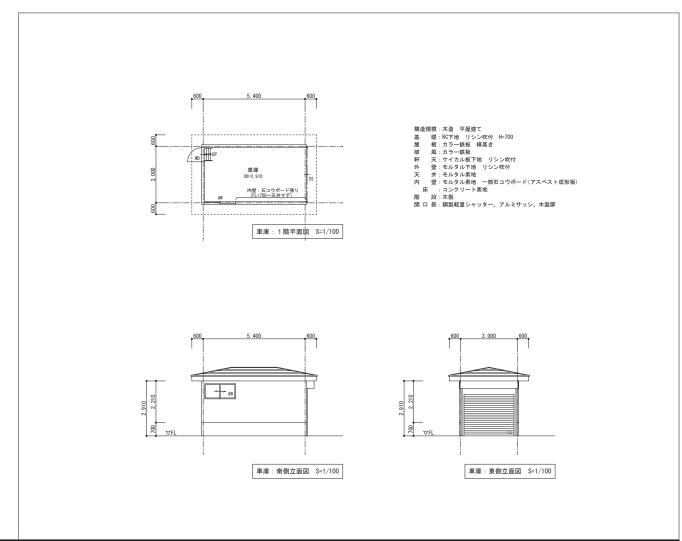
通配	ILE .	久米・村田設計共同企業体		BH 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	***	82争机一市	ATT 010000
	•	KUME #→AN 万米歌計		凡 小倉 基延 総 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事		0180038
			── KUME 株式会社 久米設計 有限会社村田弘建築設計	十 有限会社村田弘建築設計事務所	^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			四十四十七十四(6)	線尺 41- 1/250
		SEKKEI 体式云征 人不以口	株式安住 入 不 設 計	二木 重一、石井 康平			既存解体撤去図 (2)	A3= 1/500	A-37











■仕上げリスト

鉄 骨:平屋建 軽量鋼鉄骨造・プレース工法

屋 根:屋根パネル長尺カラー鉄板瓦棒葺 ァ0.27mm 裏貼りラワン合板 ァ2.3mm

外 壁: カラー鉄板 ァ0.27mm ライトグレー 裏貼りラワン合板 ァ2.3mm

基 礎:コンクリートプロック積み(120×200×400)

出入口:住宅用アルミサッシ引違い戸(上部:型カ゚ラス,下部:パネル)

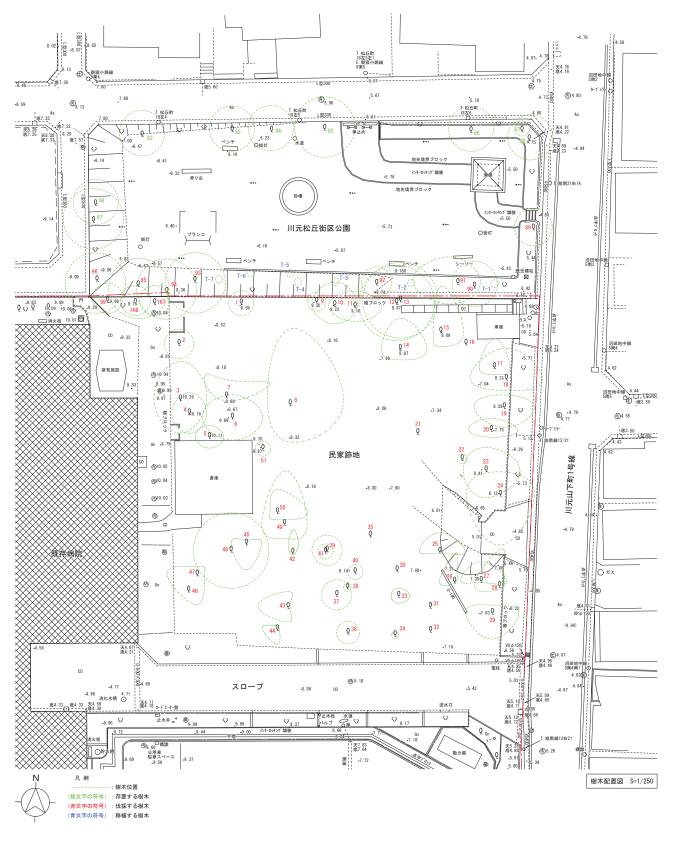
窓 : プレハプ用アルミサッシ引違い窓(型カ゚ラス)

■撤	■撤去処分家具リスト						
1	成型鋼板 2000×2000	1枚					
2	スチール製ロッカー 950W×300D×2050H(棚板6段)	3台					
3	ラワン合板 t=12 300×910	40枚					
4	ラワン合板 t=12 300×1820	135枚					



基礎:ブロック積(既設)

基礎:ブロック積(既設)



■樹木リス	۲	(民家跡地)

■樹木リスト 番号	(民家跡地)	# = (-)	*A 57 (4)	/#
	樹種	樹 高 (m)	幹 径 (φ)	備考
【伐採】	イチョウ	12. 33	0. 50	
2	1 アヨ'ノ クルミ	12. 33	0. 30	
3	クワ	10. 85	0. 50	
4	クルミ	11. 15	0. 20	
5	ウリ	9. 67	0. 17	
6	クワ	6. 14	0.40	
7	サクラ	9. 88	0. 75	
8	サクラ	9. 67	0.80	
9	サクラ	6. 16	0. 20	
10	サクラ	5. 55	0. 22	
11	カエデ	6. 83	0. 25	
12	クルミ	8. 30	0. 48	
13	クルミ	8. 08	0.35	
14	サクラ	4. 54	0. 60	
15	サクラ	6. 28	0. 40	
16	サクラ	1. 13	0. 20	枯れ木、幹のみ
17	サクラ	6. 64	0. 50	
18	カヤ	13. 53	0. 60	
19	カヤ	13. 25	0. 55	
20	サクラ	8. 50	0. 65	
21	サクラ	1.41	0.30	枯れ木、幹のみ
22	サカキ	3. 76	0. 20	
23	サクラ	10.32	0. 70	
24 25	サクラ	9. 26 6. 11	0. 50 0. 40	
26	サクラ	7. 22	0. 40	
27	サクラ	5. 90	0.30	
28	サクラ	16. 32	0.50	
29	サクラ	15. 78	0.60	
30	サクラ	8. 61	0.30	
31	サクラ	7. 24	0. 20	
32	サクラ	6. 75	0.40	
33	サクラ	8. 82	0. 15	
34	カラマツ	10. 65	0.18	
35	アオダモ	8. 71	0. 20	
36	カラマツ	16. 31	0. 50	
37	サクラ	9. 99	0. 40	
38	サクラ	9. 71	0. 20	
39	クワ	7. 51	0. 50	
40	サクラ	4. 85	0.30	
41	クルミ	6. 69	0. 25	
42	サクラ	6. 50	0. 20	
43	ヤナギ	6. 76	0. 15	
44	ヤナギ	6. 62	0. 20	
45	クロマツ	13. 08	0. 35	
46	スギ	7. 80	0. 30	
47	イチョウ	16. 48	0.30	
48	カエデ	14. 41 6. 28	0. 70 0. 28	
50	クリ ヤナギ	7. 43	0. 28	
51	サルスベリ	8. 02	0. 20	
89	ケヤキ	14. 41	0. 15	
90	ケヤキ	6. 28	0. 55	
91	ケヤキ	7. 43	0.15	
92	ケヤキ	8. 02	0.60	
93	ケヤキ	6. 69	0. 45	
94	ケヤキ	6. 69	0. 20	
95	ケヤキ	6. 76	0.35	
167	ヒバ	6. 69	0. 20	
168	ヒバ	6. 69	0. 20	
その他	樹 種	仕 様	数 量	備考
	低木類	幹周C=0.3以下	12本	
	低木類	H=1.8∼3.0	5本	
	低木類	H=1.8未満	5本	
	ヤマブキ・クマ笹	密植	125. 0m²	
	竹ヤブ	密植	310. 0m²	1

■樹木リスト (川元松丘街区公園)

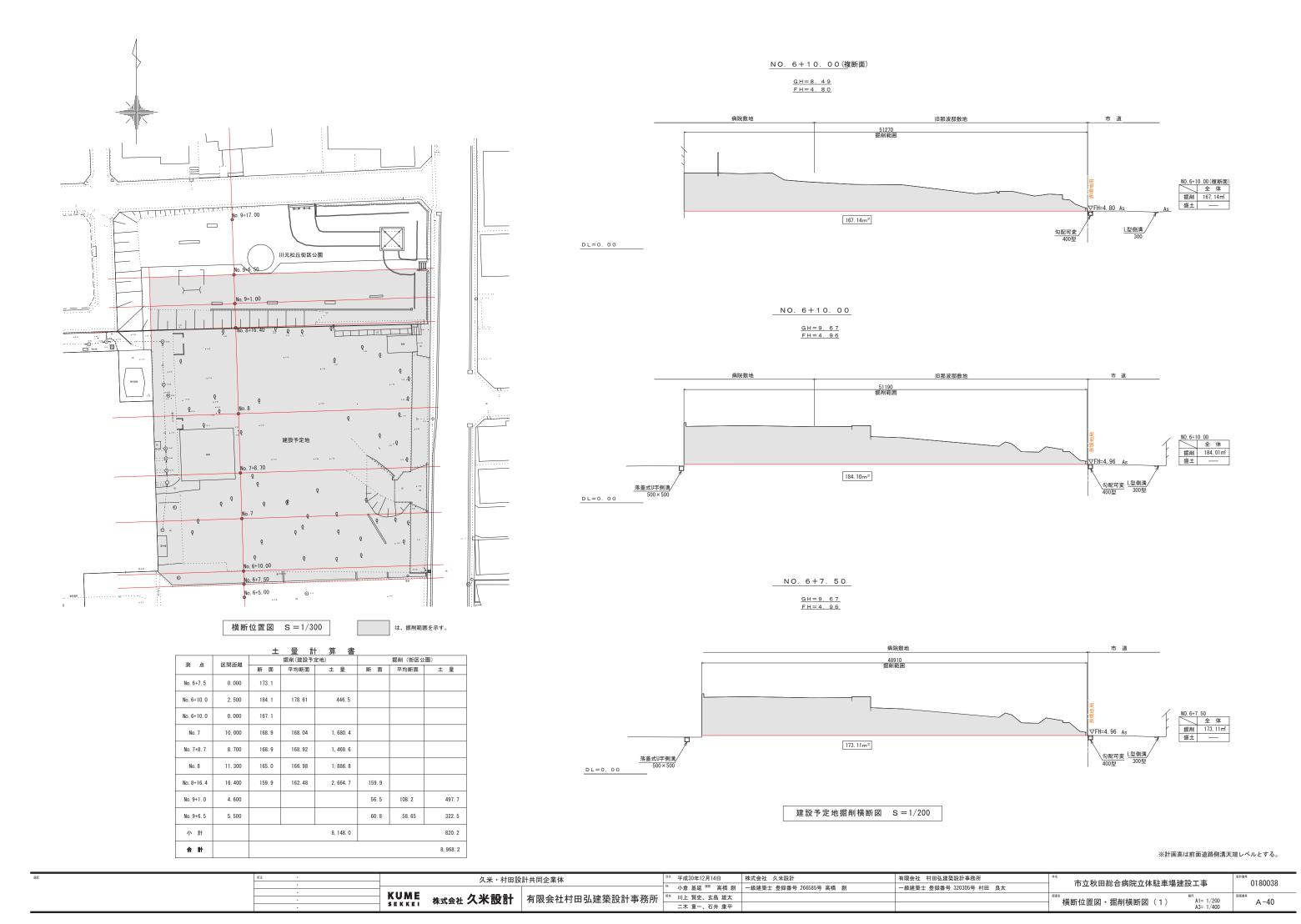
37.0	(),1) O WITT W W	## ÷ (-)	*A 67 / / \	/# +r
番号	樹 種	樹高(m)	幹 径 (φ)	備考
【存置】				
82	ケヤキ	6. 69	0. 90	
83	ケヤキ	6. 69	0. 60	
84	ケヤキ	6. 76	0.60	
85	サクラ	6. 62	0. 40	
86	ケヤキ	6. 50	0. 70	
87	クロマツ	1.00	0.10	
88	ケヤキ	6. 50	0. 60	
97	サクラ	6.00	0.30	
98	ケヤキ	15. 00	0.50	
	, , ,			
【伐採】				
89	ケヤキ	8. 00	0. 55	
90	ケヤキ	6. 28	0. 55	
91	ケヤキ	6.00	0.15	
92	ケヤキ			
		8. 02	0. 60	
93	ケヤキ	12.00	0. 45	
94	ケヤキ	12.00	0. 20	
95	ケヤキ	12. 00	0. 35	
96	ケヤキ	15. 00	0. 55	
【移植】				
T-1	(不明)	H=300		低木
T-2	サツキ	H=300		低木
T-3	サツキ	H=500		低木
T-4	アジサイ	H=1, 000		低木
T-5	アジサイ	H=500		低木
T-6	サツキ	H=500		低木
T-7	##	H=700		低木
1-7	9.9	11-700		地小
—				
—				
\vdash				
Ι Τ				
—				
1				

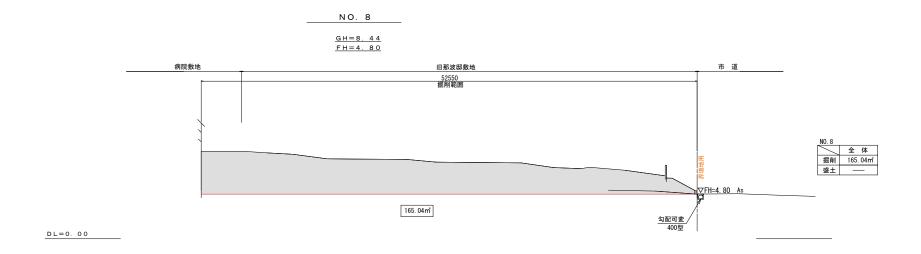
■特記事項

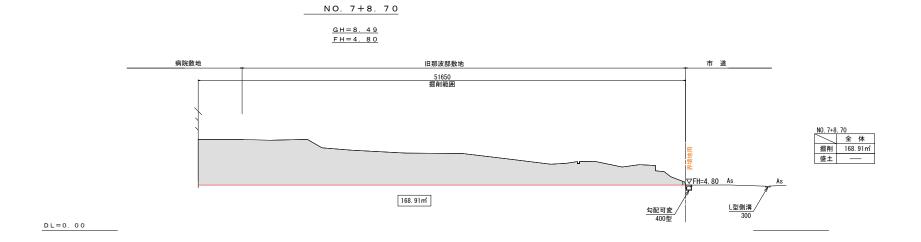
- 1. 上記に示す樹木及び植栽は、全て樹木リストに従い処理すること。
- 2. 上記以外に支障となる樹木がある場合は、監督員と協議すること。
- 3. 隣接する川元松丘街区公園内の植栽の移植先は、公園内で工事に支障のないエリアとする。
- 4. 伐採樹木No.1・2・12・13の計4本は再利用するため、伐採後良質部分を2.5m程度に切断し丸太状態にすること。
- . 敷地東側前面道路(川元山下町1号線)の電線(電柱)に防護管取付け等の養生を行い、電線との安全距離に

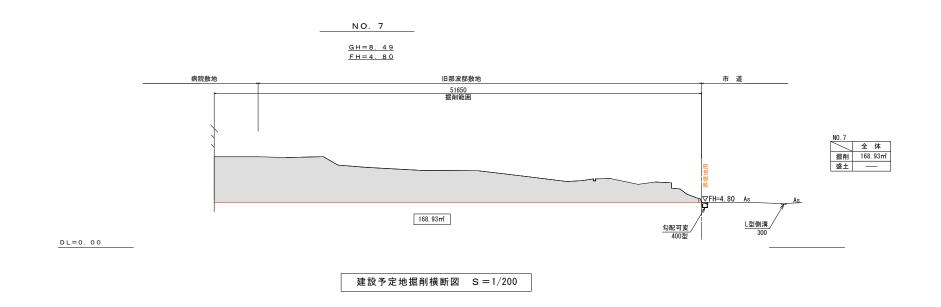
Ο.	叛地果侧削阻坦岭 (川兀山	r
	注意して工事を行うこと。	

海尼	ITE ·	久米・村田設計共同企業体		Bff 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	放計番号	
	•		JME # 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	^N 小倉 基延 ^{NS} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	一 中立秋田総合病院立体駐車場建設工事	0180038	
	•	KUME ##ex 久米設計		## 久米設計 有限会社村田弘建築設計事務所	^{担益} 川上 賢史、玄島 雄太			既存解体撤去図(4) 略R A1= 1/2	50
		SEKKEI 体式云在 八木 QQ II		二木 重一、石井 康平			风行胜极私区(4)	00 A-39	







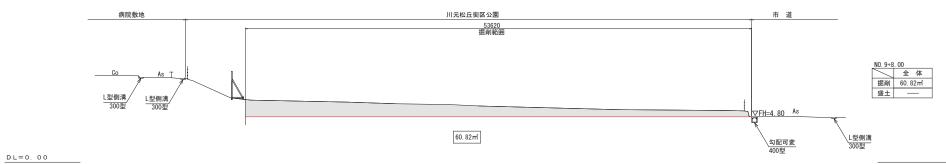


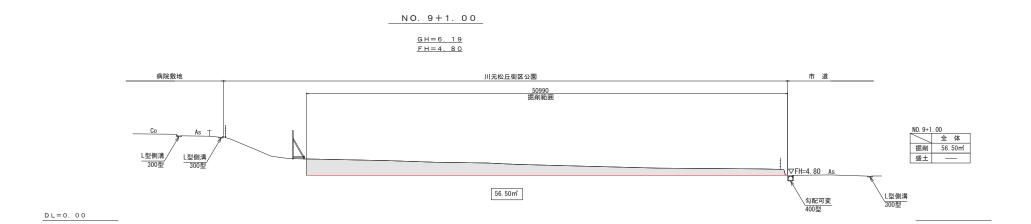
※計画高は前面道路側溝天端レベルとする。

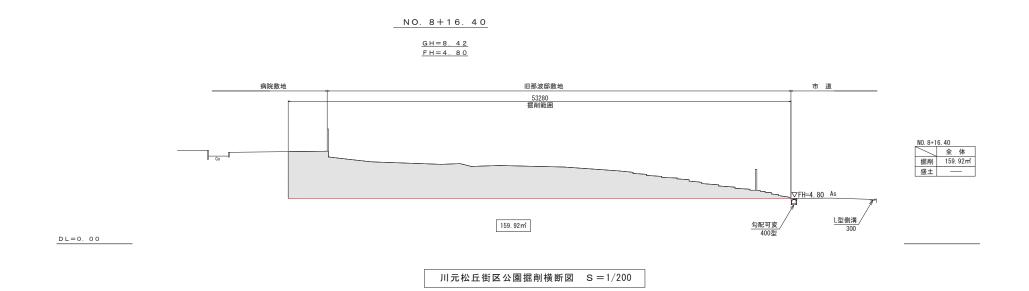
通配	11 E	久米・村田設計共同企業体		Bff 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	***		010000
	•		设計 有限会社村田弘建築設計事務所	八倉 基延 🟁 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事		0180038
	·	KUME 株式会社 久米設計		^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			掘削横断図(2)	和尺 41= 1/200	図面番号 4.1
		SEKKEI WANTE >		二木 重一、石井 康平				A3= 1/400	J A-41

NO. 9+6. 50

GH=6. 19
FH=4. 80

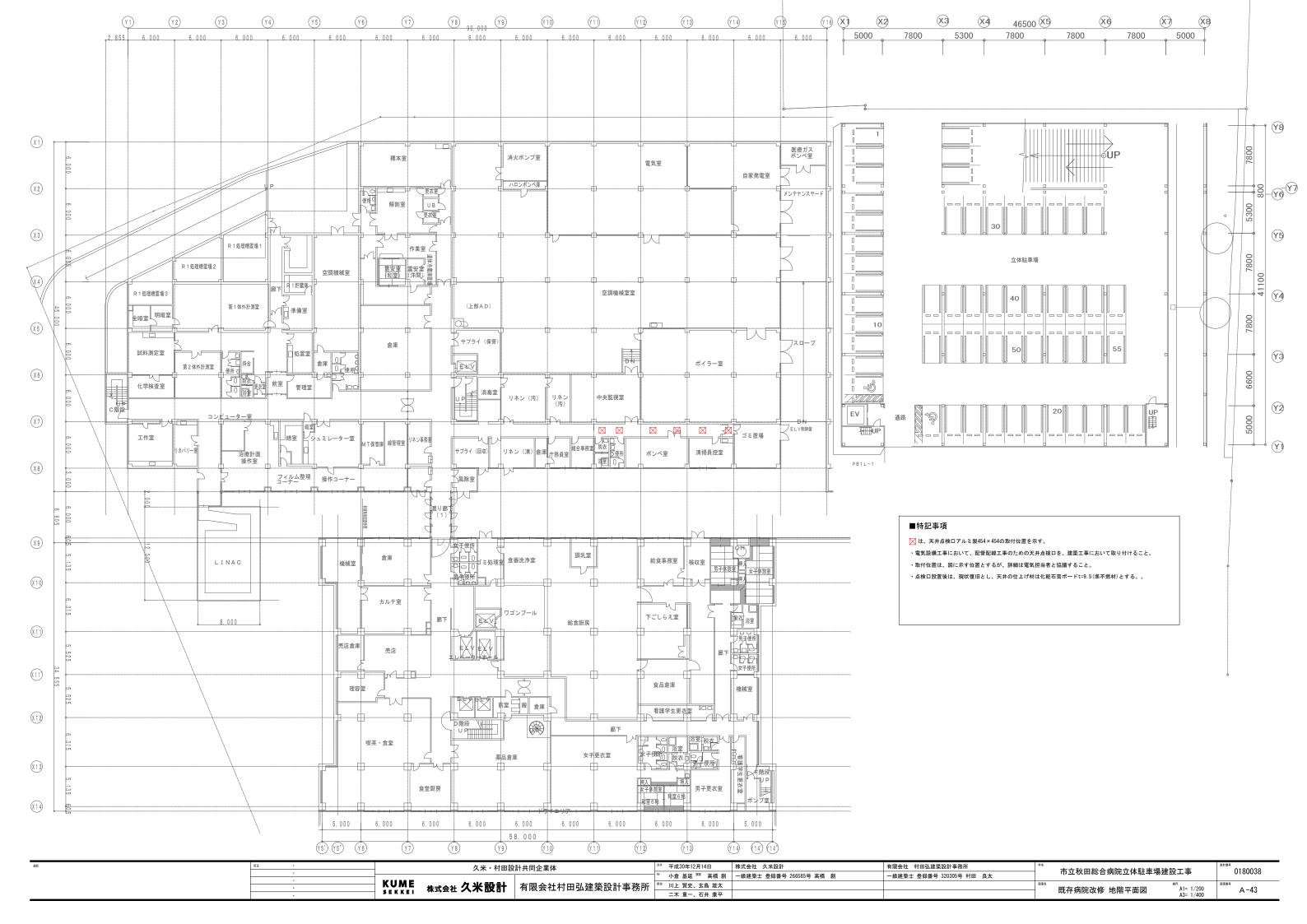


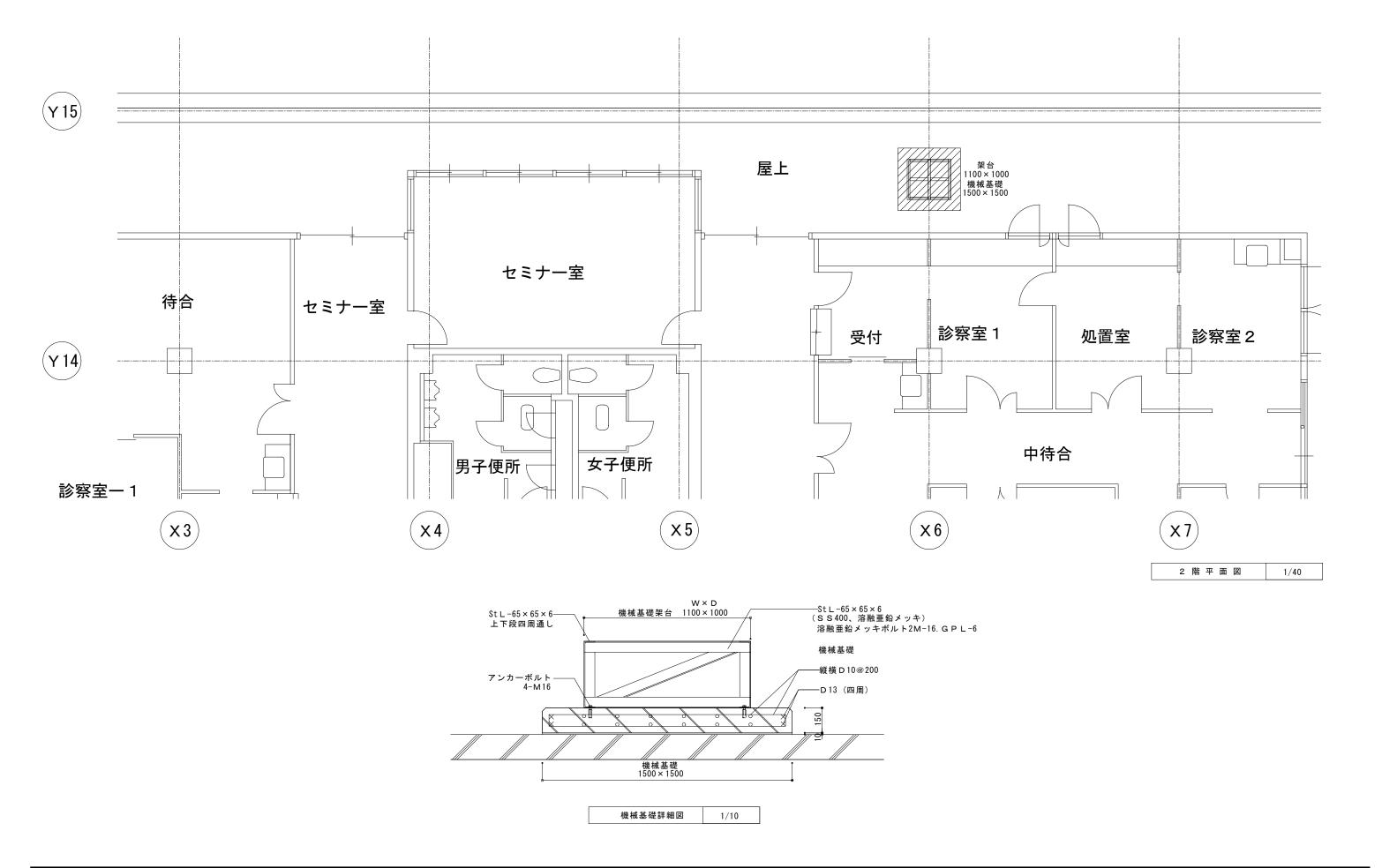




※計画高は前面道路側溝天端レベルとする。

湘足	ILE .	久米・村田設計共同企業体		^{田村} 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	***		段計番号
	•		有限会社村田弘建築設計事務所	n 小倉 基延 ^{機図} 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	市立秋田総合病院立体駐車場建設工事		0180038
	•	KIIME 6 M =0.51					国面名	線尺	図主義会
		KUME 株式会社 久米設計		^{担論} 川上 賢史、玄島 雄太			掘削横断図(3)	A1= 1/200	00 A-42
		SEKKEL WATER COLUMN		二木 重一、石井 康平				A3= 1/400	





治尼	ILE .	久米・村田設計共同企業体		BH 平成30年12月14日	株式会社 久米設計	有限会社 村田弘建築設計事務所	│ ッッ。 │ 市立秋田総合病院立体駐車場建設工事	R計畫号 0100000
	·			凡 小倉 基延 梅 高橋 創	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太	一 中立伙由総合病院立体駐車場建設工事	0180038
		KUME 株式会社 久米設計		^{担当} 川上 賢史、玄島 雄太			图8	図面番号 A A A
		EKKEI 体式云在 人不成 II		二木 重一、石井 康平			既存病院改修 空調機基礎配置図・詳細図 A1= 1/40 A3= 1/80	A-44



避難口取止による、既存病院安全確認

- ■階段から屋外への出入り口1に至る歩行距離(令125条)
- ・令120条1に規定する数値(50m)以下 ・令120条2
- 準耐火構造または不燃材で造られている居室で、 階段及び廊下の仕上げを準不燃材料出したものは、 令120条1の数値に10加えた数値
- 従って、階段からの歩行距離は60m以下。
- 避難口取止めにより、階段Aから屋外の出入り口に至る歩行距離 $56.60 m ~\leqq~60.00 m ~ \therefore 0 \ K$
- ■居室の各部分から屋外への1に至る歩行距離は 令120条1及び2の距離の2倍以下。
- 従って、居室からの歩行距離は120m以下。
- 避難口取止めにより、出入り口から一番遠い居室(スタッフルーム)から 屋外の出入り口に至る歩行距離
- 103.20m ≦ 120.00m ∴0 K
- -出入り口から一番遠い居室(スタッフルーム)の位置を示す。

